東邦大学 健康科学部 看護学科

シラバス 2017

1年次

東邦大学

教養教育科目

科目名称	**自然科学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Basics of Natural Science	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	中澤聡					
科目担当者	中澤聡					

【１】　授業概要

自然科学は、最初から今日われわれが学ぶような形で登場したわけではなく、長い時間をかけて、思想、経済、技術といった社会の様々な要素との相互作用を通じて形成されたものである。科学で用いられてきた方法や科学理論が生まれた背景・歴史的変遷を通じ、科学が真理と考えられてきたのはなぜか、科学が目指すのは何かなどについて、科学的知識が時代を通じて変化してきた様子を概観することで、科学の本質を歴史的に捉える視点を身につける。

【２】　学修目標（到達目標）

古代ギリシア人が考えた「科学的知識」の概念について説明できる。
ニュートンのバケツについて説明できる。
公理と証明に関する考え方の変化について説明できる。
客観確率と主観確率について説明できる。
（看護学科ＤＰ　１，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
毎回クイズを配布するので、その問題を読んで考えておく。予習15分程度、復習0～2時間程度。
【学習上の留意点】
当たり前だと思っていることを改めて考えてみる機会にしてください。

【４】　関連科目

健康科学概論、看護学概論、トランスレーショナルへの挑戦、看護研究入門、看護研究

【５】　評価方法

小レポート12.5%×8。
毎回講義の内容に関する小レポートの提出を課す。次回の授業でレポート内容について講評する。

【６】　教科書

プリントを配布する。

【７】　参考書

アンリ・ポアンカレ『科学の価値』、岩波文庫、1977年。 その他授業の中で随時紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業の前後には非常勤講師控え室にいます。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	科学にも歴史がある	内容：イントロダクション. 方法：講義 キーワード：科学的知識、科学的でない知識、疑似科学	中澤　聡
2	科学と論証	内容：古代ギリシアにおける科学的知識の概念 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：科学的知識と思い込み、公理、証明	中澤　聡
3	それでも地球は回る？	内容：科学革命と力学的世界観 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：天動説と地動説、運動の相対性	中澤　聡
4	幾何学と仮説	内容：「自明な真理」への疑いと非ユークリッド幾何学の成立 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：平行線公準、 非ユークリッド幾何学	中澤　聡
5	無限を測る	内容：集合論とパラドックス 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：仮無限と実無限、集合論のパラドックス	中澤　聡
6	証明はどこまでできるか	内容：ゲーデルの不完全性定理 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：数学と論理、無矛盾性，不完全性定理	中澤　聡
7	確かさと確からしさ	内容：客観確率と主観確率 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：ベルトランのパラドックス，客観確率と主観確率	中澤　聡
8	あらためて、科学とはなんだろうか？	内容：科学の現在. 方法：講義 予習：配付資料の問題を読み、考えておくこと。 キーワード：科学と技術、人工知能	中澤　聡

科目名称	**情報科学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Information Sciences	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	菊地賢一					
科目担当者	菊地賢一、金岡　晃					

【１】　授業概要

情報科学は、情報の生成、構造、処理、利用などに関する原理を考究する学問である。本科目では、情報と人との関係に関する理論、情報倫理、コンピュータの情報の仕組み、操作方法、セキュリティ管理、インターネット活用による情報の収集と共有の仕方、情報管理の方法を学ぶ。さらに、コンピュータでの情報整理のための基礎的な文書処理や数値処理の方法を習得する。本科目は、専門基礎科目である保健統計と情報処理、疫学と公衆衛生に直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

1. 情報とは何か、具体的に説明できる。
2. 情報リテラシーとは何か、具体的に説明できる。
3. 情報リテラシーを身につける。
4. セキュリティ管理の方法について3つ以上説明できる。
5. 情報倫理の課題を3つ以上具体的に説明できる。
6. コンピュータを用いて、基礎的な文書が作成できる。
7. コンピュータを用いて、基礎的な数値処理ができる。
8. コンピュータを用いて、プレゼンテーションができる。
9. 医療・看護情報の解釈・分析で重要なことを3つ以上具体的に説明できる。
10. 情報利用における自らの課題について述べることができる。

（看護学科ＤＰ　１，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
この授業は、コンピュータを操作する能力を身につけるために、予習1時間、復習1.5時間程度を費やします。
【学習上の留意点】
インターネットの発達した社会において、医療従事者として気をつけなければならないことを考えながら学習する。

【４】　関連科目

保健統計と情報処理、疫学と公衆衛生、看護研究

【５】　評価方法

課題レポート（50%）・授業内小課題（50%）
授業中の課題については、次回の授業で、特徴的な間違いなどについてコメントする。授業中の発表については、逐次講評を行う。

【６】　教科書

白井晴男監修：Microsoft Office 2007を使った情報リテラシーの基礎、近代科学社

【７】　参考書

授業中に紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

事前にメールで連絡すること。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	情報の科学(1)	・情報科学とは ・情報と人との関係に関するする理論 ・コンピュータの歴史、仕組みと操作方法 授業方法：講義 予習：テキスト1.1節を読む 復習：小課題 キーワード：情報、情報倫理、人権、個人情報保護、コンピュータ	菊地、金岡
2	情報の科学(2)	・インターネットの歴史と基礎 ・インターネットによる情報収集と共有の仕方 ・情報管理の仕方 授業方法：講義 予習：テキスト1.2節を読む 復習：小課題 キーワード：インターネット、セキュリティ管理、情報管理	菊地、金岡
3	情報の科学(3)	・情報リテラシー ・情報倫理 授業方法：講義 予習：テキスト1.3節を読む 復習：小課題 キーワード：情報リテラシー、SNS、人権、個人情報保護	菊地、金岡
4	文書作成(1)	・文書作成ソフトの基礎 ・高度な文書作成 授業方法：講義・個人ワーク 予習：テキスト3章を読む 復習：授業終了時に示す課題のレポートを作成する キーワード：文書作成、文書作成ソフト、文書作成ソフトの機能	菊地、金岡
5	数値処理	・表計算ソフトの基礎 ・数値処理の方法 授業方法：講義・個人ワーク 予習：テキスト4章を読む 復習：授業終了時に示す課題のレポートを作成する キーワード：表計算ソフト、表計算ソフトの機能、数値処理	菊地、金岡
6	文書作成(2)	・プレゼンテーションソフトの基礎 ・プレゼンテーション資料の作成 授業方法：講義・個人ワーク 予習：テキスト5章を読む 復習：授業終了時に示す課題のレポートを作成する キーワード：プレゼンテーション、プレゼンテーションソフト、プレゼンテーションソフトの機能	菊地、金岡
7	情報分析・管理の事例学習(1)	・医療や看護に関係するデータについて考察 授業方法：グループワーク 予習：医療や看護に関係するデータの準備 復習：次回の発表の準備を行う キーワード：医療看護情報、エビデンス、情報利用	菊地、金岡
8	情報分析・管理の事例学習(2)	・医療や看護に関係するデータ考察の発表 ・情報科学の展望 授業方法：発表・講義 予習：発表練習 復習：発表内容の改善 キーワード：情報解釈・分析、情報利用	菊地、金岡

科目名称	化学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Chemistry	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	横田浩充					
科目担当者	横田浩充					

【１】　授業概要

物質の構造や変化の仕組みについて理解を深める。具体的には、原子や分子の構造及び化学結合と化学反応、身体を構成している物質とそれに関する化合物、有機化合物の性質などについて学習する。本科目は、生化学、臨床栄養学などの専門基礎科目、看護学の基礎知識に直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

看護の実践に必要な化学の基礎知識習得を習得する。
化学的思考で物質の構造や変化の仕組みを理解する。
化学物質の性質や変化について理解・説明できる。
基本的な化学反応を理解・説明できる。
環境・生命と化学の関係を理解・説明できる。
（看護学科ＤＰ　５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

講義中に習熟状況の確認あるいは小テストを実施するため、教科書あるいは講義資料について予習を1時間、復習を1時間行うこと。

【４】　関連科目

生化学、臨床栄養学

【５】　評価方法

予習・復習を含めた講義に対する姿勢（20%）、定期試験（50%）、確認テスト（30%）で評価する。
確認テストは講義の理解を確認にする筆記試験とし、講義時間内で行う。定期試験、確認テスト後、解説を行う。

【６】　教科書

コ・メディカル化学 「医療・看護系のための基礎化学」　齋藤勝裕、他.（裳華房）

【７】　参考書

化学入門－日常に役立つ基礎知識－　大月穣.（東京化学同人）
看護に必要なやりなおし生物・化学　時政孝行.（照林社）
ステップアップ　大学の総合化学　齋藤勝裕.（裳華房）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

講義終了後に対応する。以後、適宜対応する。連絡方法：理学部1号館1402室、メール：hiromitsu.yokota@sci.toho-u.ac.jp

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	化学序論	内容：看護に化学が必要な理由を理解することを目的とする 化学基礎（原子、元素周期表、分子、化学結合、物質の変化、酸・塩 基、無機・有機化合物）の復習を行う 授業方法：講義 予習：化学基礎（高校）の復習と教科書　第1～4章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する	横田浩充
2	物質の状態・性質	内容：物質の基礎知識習得を目指す 物質の三態（気体・固体・液体）、物質の量と状態（原子量、分子量、 濃度）、溶液の化学（溶解度、コロイド、人工透析）について講義する 授業方法：講義 予習：教科書　第5章、6章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：物質の三態、物質の量と状態	横田浩充
3	酸・塩基と酸化・還元	内容：酸・塩基、水溶液のpH、緩衝液と緩衝作用、酸化・還元と医療の理解 を目標とし、講義を行う 授業方法：講義 予習：教科書　第7章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：酸・塩基、緩衝液、酸化・還元	横田浩充
4	有機化合物の構造と異性体・立体化学	内容：炭化水素の種類、置換基の種類、有機化合物の種類と性質、異性体と 立体異性体の理解を目標として、診療に利用されるサリドマイドを例 に講義する。 授業方法：講義 予習：教科書　第8、9章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：炭化水素、置換基、有機化合物、異性体	横田浩充
5	有機化学反応、高分子化合物	内容：有機化学反応（置換反応、付加反応とアスピリン）、高分子化合物の 種類と分子構造の理解を目標として講義する。 授業方法：講義 予習：教科書　第10、11章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：有機化学反応、高分子化合物の種類と分子構造	横田浩充
6	生命と化学反応（1）	内容：生命体の維持に不可欠な糖質・脂質、ホルモン、ビタミンについて 化学の視点から学ぶことを目的に講義する 授業方法：講義 予習：教科書　第12章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：糖質・脂質、ホルモン、ビタミン	横田浩充
7	生命と化学反応（2）	内容：生命体の維持に不可欠なアミノ酸とタンパク質、核酸について化学の 視点から学ぶことを目的に講義する 授業方法：講義 予習：教科書　第13章の予習が必要 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：アミノ酸、タンパク質、核酸	横田浩充
8	環境と化学物質	内容：環境と化学、健康と化学物質の関係について化学の視点から学ぶこと を目的に講義する 授業方法：講義 予習：配布された資料を予習しておく 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：環境と化学、健康と化学物質	横田浩充

科目名称	生物学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Biology	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	小林芳郎					
科目担当者	小林芳郎					

【１】　授業概要

動/植物の生命現象について理解を深める。具体的には、細胞の構造、エネルギーと代謝、エネルギーの獲得と放出、DNAの構造と機能、遺伝子発現とその調節、細胞の増殖、ヒトの遺伝病、生物工学について学習し、日常生活で遭遇する生物学的な諸問題に関心を持つ姿勢を養う。本科目は、人体の構造と機能など医学や専門基礎科目、看護学の基礎知識として直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

細胞の構造について理解し、説明できる。
酵素作用と代謝について理解し、説明できる。
光合成と好気呼吸について理解し、説明できる。
DNAの複製と修復について理解し、説明できる。
転写、翻訳、遺伝子発現調節について理解し、説明できる。
体細胞分裂と減数分裂について理解し、説明できる。
代表的な遺伝病と遺伝の様式について理解し、説明できる。
DNAクローニングや遺伝子組み換え生物について理解し、説明できる。
（看護学科ＤＰ　５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

1. 教科書の該当部分を読み、疑問点を整理しておいてください。約１時間。
2. ノートと教科書で理解を深め、次の授業開始時のミニテストに備えてください。約１～２時間。

【４】　関連科目

生物入門、人体の構造と機能、生化学、臨床栄養学

【５】　評価方法

授業への取り組み意欲（15%）、試験（70%）、ミニテスト（15%）から総合的に評価します。授業中のミニテストは後日返却し、次の授業で解説します。

【６】　教科書

スター　生物学　（八杉貞雄監訳）　東京化学同人（第１版；原著第４版）

【７】　参考書

スクエア最新図説生物　neo　２訂　第１学習社

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業後質問を受け付けます。連絡先：yoshiro@biomol.sc.toho-u.ac.jp

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
	細胞の構造	細胞説、細胞の大きさ、細胞を見る方法、原核細胞と真核細胞、細胞膜、細胞小器官（教科書３章）	小林芳郎
	エネルギーと代謝	酵素作用、活性の制御、代謝、生体膜と輸送（教科書４章）	小林芳郎
	エネルギーの獲得と放出	光の利用、光合成、好気呼吸、発酵（教科書５章）	小林芳郎
	DNAの構造と機能	染色体、DNAの構造、複製と修復、突然変異、クローン動物（教科書６章）	小林芳郎
	遺伝子発現とその調節	転写、翻訳、変異、遺伝子調節（教科書７章）	小林芳郎
	細胞の増殖	体細胞分裂、がん、減数分裂（教科書８章）	小林芳郎
	遺伝病	ヒトの代表的な遺伝病と遺伝様式（教科書９章７節）	小林芳郎
	生物工学	DNAクローニング、塩基配列決定、DNA鑑定、遺伝子組み換え生物、遺伝子治療（教科書１０章）	小林芳郎

科目名称	実用英語ＩＡ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Practical English Ⅰ A	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	平野正樹					
科目担当者	平野正樹、松井秀親					

【１】　授業概要

高等学校までに学んだ文法の基礎を踏まえ、さらに語彙・語法・構文知識の定着を図ることを目標とする。その上で、日常生活・社会生活において必要とされる様々な英語口語表現を学んでいく。また、医療系の専門的な文献購読を目指した読解力の向上のための演習を盛り込んでいく。

【２】　学修目標（到達目標）

学生が会話を行う上でよく使われる語彙や基本的な表現を習得し、自然に発話できるようになる。
学生が会話に必要な必要最低限の文法を理解し、使うことができる。
学生が英語特有の発音の基本を理解し、リスニングや会話に役立てることができる。
将来医療系の文献を読むための準備段階として、英語文章を構文に基づいて論理的に理解することができる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業はテキストの問題を解き、リーディングのための文章を訳読する必要があるため、予習1時間程度、復習30分程度を費やします。

【４】　関連科目

特になし

【５】　評価方法

中間試験25%、定期試験25％、日々の学習状況50%
試験は結果を返却し、問題解説を行う。

【６】　教科書

『TARGET! pre-intermediate（総合英語のターゲット演習　準中級）』（金星堂）

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日3限

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	授業の進行方法、評価基準、履修にあたっての注意事項等の説明。	平野、松井
2	Unit1	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.4の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
3	Unit1	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.4の文章（後半）を訳し、p.5の問題を解いてくる。P.3の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
4	Unit2	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.9の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
5	Unit2	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.9の文章（後半）を訳し、p.10の問題を解いてくる。P.8の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
6	Unit3	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.14の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
7	Unit3	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.14の文章（後半）を訳し、p.15の問題を解いてくる。P.13の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
8	中間試験		平野、松井
9	Unit4	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.19の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
10	Unit4	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.19の文章（後半）を訳し、p.20の問題を解いてくる。P.18の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
11	Unit5	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.24の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
12	Unit5	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.24の文章（後半）を訳し、p.25の問題を解いてくる。P.23の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
13	Unit6	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.29の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
14	Unit6	文法、リーディング、会話、医療系文献購読のための読解演習 予習：テキストp.29の文章（後半）を訳し、p.30の問題を解いてくる。P.28の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井
15	Unit7	リスニング、会話、リーディング 予習：テキストp.34の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野、松井

科目名称	実用英語ＩＢ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Practical English Ⅰ B	選択	演習	1年･秋	1単位	30時間
科目責任者	平野正樹					
科目担当者	平野正樹					

【１】　授業概要

高等学校までに学んだ文法の基礎を踏まえ、さらに語彙・語法・構文知識の定着を図ることを目標とする。その上で、日常生活・社会生活において必要とされる、様々な英語口語表現を学び、英語での表現力・発信力向上のためのライティング演習にも取り組んでいく。

【２】　学修目標（到達目標）

学生が会話を行う上でよく使われる語彙や基本的な表現を習得し、自然に発話できるようになる。
学生が会話に必要な必要最低限の文法を理解し、使うことができる。
学生が英語特有の発音の基本を理解し、リスニングや会話に役立てることができる。
学生が英語の文章の構造を意識しながら読むことによって、英語の論理構成を理解することができる。
学生が英語で発信できるように、構文に基づいた英語の文章を正確に書くことができる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業はテキストの問題を解き、リーディングのための文章を訳読する必要があるため、予習1時間程度、復習30分程度を費やします。

【４】　関連科目

特になし

【５】　評価方法

中間試験25%、定期試験25%、日々の学習状況50%
試験は結果を返却し、問題の解説を行う。

【６】　教科書

『TARGET! pre-intermediate（総合英語のターゲット演習　準中級）』（金星堂）

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日3限

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	授業の進行方法、評価基準、履修にあたっての注意事項等の説明。	平野
2	Unit8	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.39の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
3	Unit8	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.39の文章（後半）を訳し、p.40の問題を解いてくる。P.38の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
4	Unit9	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.44の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
5	Unit9	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.44の文章（後半）を訳し、p.45の問題を解いてくる。P.43の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
6	Unit10	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.4の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
7	Unit10	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.49の文章（後半）を訳し、p.50の問題を解いてくる。P.48の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
8	中間試験		平野
9	Unit11	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.54の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
10	Unit11	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.54の文章（後半）を訳し、p.55の問題を解いてくる。P.56の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
11	Unit12	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.59の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
12	Unit12	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.59の文章（後半）を訳し、p.60の問題を解いてくる。P.58の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
13	Unit13	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.64の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
14	Unit13	文法、リーディング、会話 予習：テキストp.64の文章（後半）を訳し、p.65の問題を解いてくる。P.63の文法問題を解いてくる。 復習：会話表現を確認する。	平野
15	Unit14	リスニング、会話、リーディング、ライティング 予習：テキストp.69の文章（前半）を訳してくる。 復習：会話表現を確認する。	平野

科目名称	医療英語ＩＡ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Medical English Ⅰ A	選択	演習	1年･秋	1単位	30時間
科目責任者	木下裕太					
科目担当者	木下裕太					

【１】　授業概要

医療・福祉系に関連する英語文献の講読を通して、卒業研究や卒後の臨床研究に必要とされる長文読解能力を養い、看護学･医学など医療系の英単語の語彙力を高める。ＩＡは初級レベルとし、専門分野への興味を高めるトピックから文献を選び、文章全体の意味を正確に理解できるよう精読する。

【２】　学修目標（到達目標）

単語テストにより、医療英語の語彙を増やすことができる。
テキストを通して、基礎的な医学・看護に関する文章を読解できる。
文章の英文構造を把握し、文章全体の意味を正確に説明できる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業は、テキストの読解が主になるため、予習30分程度、復習30分程度費やします。
必ず辞書（電子辞書可）を持参すること。

【４】　関連科目

医療英語Ⅱ

【５】　評価方法

定期試験60%、平常点（授業内発表など）40%
中間試験の後、ポイントや誤りの多かった箇所についてフィードバックを行います。

【６】　教科書

近藤進、Gerald R. Gordon、吉岡みのり『世界に見る医療と看護　新訂版』朝日出版社、2015年

【７】　参考書

なし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日の昼休み

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	オリエンテーション	講義　授業の進め方や評価方法の提示	木下裕太
2	Keep Your Heart　Moving (1)	内容：Unit 7（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp44-46を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
3	Keep Your Heart　Moving (2)	内容：Unit 7（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp46-48の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
4	Teens Light Up E-Cigarettes (1)	内容：Unit 8（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp50-51を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
5	Teens Light Up E-Cigarettes (2)	内容：Unit 8（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp52-54の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
6	Curing Peanut Allergies (1)	内容：Unit 9（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp58-59を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
7	Curing Peanut Allergies (2)	内容：Unit 9（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp60-61の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
8	中間試験		木下裕太
9	Cancer and Poverty (1)	内容：Unit 10（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp64-66を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
10	Cancer and Poverty (2)	内容：Unit 10（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp68-69の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
11	AED (1)	内容：Unit 11（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp72-73を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
12	AED (2)	内容：Unit 11（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp74-75の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
13	Global Warming Triggers Disease (1)	内容：Unit 12（前半） 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp78-80を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
14	Global Warming Triggers Disease (2)	内容：Unit 12（後半） 授業方法：グループワーク 予習：テキストp81-82の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太
15	総復習（期末試験に向けての解説等）	内容：まとめ 授業方法：講義、個人ワーク 予習：テキスト及びノートを読み返し英文法事項などを確認してくる	木下裕太

科目名称	医療英語ＩＢ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Medical English Ⅰ B	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	木下裕太					
科目担当者	木下裕太、松井秀親					

【１】　授業概要

医療・福祉系に関連する英語文献の講読を通して、卒業研究や卒後の臨床研究に必要とされる長文読解能力を養い、看護学･医学など医療系の英単語の語彙力を高める。ＩＢは初級レベルとし、専門分野への興味を高めるトピックから文献を選び、文章の英文構造を理解し、医療系英単語を用いた作文力を高める。

【２】　学修目標（到達目標）

単語テストにより、医療英語の語彙を増やすことができる。
テキストを通して、基礎的な医学・看護に関する文章を読解できる。
英文構造を踏まえて、医療系英単語を用いた短文を作成できる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業は、テキストの読解が主になるため、予習30分程度、復習30分程度を費やします。
必ず辞書（電子辞書可）を持参すること。

【４】　関連科目

医療英語Ⅱ

【５】　評価方法

定期試験60%、平常点（授業内発表など）40%
中間試験の後、ポイントや誤りの多かった箇所についてフィードバックを行います。

【６】　教科書

近藤進、Gerald R. Gordon、吉岡みのり『世界に見る医療と看護　新訂版』朝日出版社、2015年

【７】　参考書

なし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日の昼休み

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	オリエンテーション	講義　授業の進め方や評価方法の提示	木下裕太 松井秀親
2	Summer Weight　Gain (1)	内容：Unit 1 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp2-3を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
3	Summer Weight　Gain (2)	内容：Unit 1 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp4-6の問題を解いてくる、p6"Reading for Discussion"を読んで英文を作成してくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
4	Sugar is Danger (1)	内容：Unit 2 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp8-9を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
5	Sugar is Danger (2)	内容：Unit 2 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp10-12の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
6	Adult Diapers Outsell Baby Diapers (1)	内容：Unit 3 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp16-17を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
7	Adult Diapers Outsell Baby Diapers (2)	内容：Unit 3 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp18-20の問題を解いてくる、p20"Reading for Discussion"を読んで英文を作成してくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
8	中間試験	テキストでこれまでに扱った箇所の試験	木下裕太 松井秀親
9	Medical Robots (1)	内容：Unit 4 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp22-23を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
10	Medical Robots (2)	内容：Unit 4 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp24-26の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
11	Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide (1)	内容：Unit 5 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp30-32を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
12	Coffee Drinking Tied to Lower Risk of Suicide (2)	内容：Unit 5 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp32-34の問題を解いてくる、p34 "Reading for Discussion"を読んで英文を作成してくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
13	How Emergency Room Work (1)	内容：Unit 6 (前半) 授業方法：講義、グループワーク 予習：テキストp36-38を読む 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
14	How Emergency Room Work (2)	内容：Unit 6 (後半) 授業方法：グループワーク 予習：テキストp38-40の問題を解いてくる 復習：テキストに出てきた英単語の暗記	木下裕太 松井秀親
15	総復習 (期末試験に向けての解説等)	内容：まとめ 授業方法：講義、個人ワーク 予習：テキスト及びノートを読み返し英文法事項などを確認してくる	木下裕太 松井秀親

科目名称	ドイツ語入門	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to German	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	永井千鶴子					
科目担当者	永井千鶴子					

【１】　授業概要

ドイツ語の基本的な文法などを説明と練習を繰り返すことで学び、読む、聞く、書く、話すなどの統合的な力の基礎を養う。また、ドイツ語とともに、ドイツ語圏（ドイツ・スイス・オーストリアなど）の文化も同時に吸収する。

【２】　学修目標（到達目標）

・ドイツ語表記を見て正しい発音ができる。
・ドイツ語で簡単な自己紹介および家族紹介をすることができる。
・ドイツ語圏の情報を得て、日本とドイツ語圏の文化を比較して簡単に述べることができる。
・ドイツ語で簡単な日記や予定表を書くことができる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

・初めての言語を学習するにあたっては、予習として３０分程度の時間を使って授業時間内に紹介するサイトや情報などに定期的に目を通すことが望ましい。また復習にも１時間程度要費やしてほしい。内容としては学習したドイツ語表記の発音および会話文を、CDなどの音源を参考に必ず声に出して確認すること、学習した文法項目は自分なりにまとめておくこと、不明点があれば書き出しておくことを推奨する。

【４】　関連科目

特になし

【５】　評価方法

中間試験、期末試験(70%)＋授業中の小テストおよび積極的な授業参加などの学習状況(30%)
なお、小テストについては新出単語、動詞変化など頻繁に行うので、その場で答え合わせをし、再度記憶すべき部分を確認する。また演習中心の授業のため、会話練習、問題解答など担当者が個別にチェックを重ねて評価していく。

【６】　教科書

Erste Schritte Plus　Vorkurs (CD付)　著者：Daniela Niebisch Jutta Orth-Chambah 他　Hueber 社

【７】　参考書

特に指定しない（授業内で紹介する）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

水曜日昼休みに非常勤講師室にて面会可、またはメールにて問い合わせ

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	・今期の学習目標と成績評価説明およびドイツ語・ドイツ語圏情報の紹介。テキスト、参考となる書物、サイトなどの紹介。 ・挨拶とアルファベート	永井千鶴子
2	Lektion 1	・人と知り合いになるための会話 （挨拶、名前を名乗る、尋ねる、綴りを確認する、聞き返す） ・体調を尋ねる、答える。 ・全体を通して発音のチェックと法則の簡単な説明	永井千鶴子
3	Lektion 1～Lektion 2	・数字（1～100）番号を使って様々な練習 ・数字の聞き取り ・Lekion 1 で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
4	Lektion 2	・家族の紹介（写真やイラストを見ながら自分の家族を紹介する、～は私の兄です、彼は～歳です） ・家族を紹介する、自分の紹介文を書く ・Lektion 2 で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
5	Lektion 3	・「どこに住んでいるの？」「どこの出身？」 という文を中心にドイツ語圏の各都市、出身地（外国も含めて）のバリエーションを練習（名前、住所、出身地、年齢、電話番号など） ・疑問詞のある質問文とはい、いいえ、で答える文の練習 ・人物に関する短い文を読んで情報を読み取る	永井千鶴子
6	Lektion 3～4	・独身、既婚、子供は？などの表現練習 ・Lektion 3で何ができるようになったかを確認 ・ドイツ語で使い分ける君とあなたの説明と練習 （今までの学習文をもとに理解する） ・何語を話しますか？言語のバリエーションとどの程度話せるかを伝える	永井千鶴子
7	Lektion 4～5	・掲示板などの情報を解読してみる ・Lektion 4で何ができるようになったかを確認 ・さまざまな職業をドイツ語では？男女の区別 ・「あなたの職業は？」「何曜日に働いている？」 （曜日、週末、～曜日から～曜日まで）	永井千鶴子
8	Lektion 5	・時刻表現（日常の１２時間制と時報などの２４時間制） ・Lektion 5で何ができるようになったかを確認 ・Lektion 1～5までの簡単な中間テスト	永井千鶴子
9	Lektion 6	・暇なときは何をするの？何をするのが好き？ ・インターネットのプロフィールを読む ・今日、明日、明後日何をするの？聞き取り ・Lektion 6で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
10	Lektion 7	・食べ物、飲み物の単語学習と好きな/嫌いな食べ物、飲み物を言う「何を食べるのが好き？」 ・世界の食生活をくらべてみよう ・レシピを読む ・Lektion 7 で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
11	Lektion 8	・買い物の場面（スーパーの中で売り場を探す、尋ねる） ・値段を聞く、答える（買い物のやり取りを会話文で練習） ・Lektion 8で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
12	Lektion 9	・街中での施設名や建物の学習 ・道案内に使う単語（まっすぐ、右へ/左へ、後ろ/前、～に沿って）	永井千鶴子
13	Lektion 9	・道案内の場面（たずねる、答える、以外に声をかける、感謝するなどの必要な表現を練習） ・道案内の内容を聞き取る、読み取る ・Lektion 9で何ができるようになったかを確認	永井千鶴子
14	Lektion 10	・身体の部位をドイツ語では？（耳、手、指など複数形の必要な単語も学習） ・風邪をひいた、熱がある、せきが出る、のどが痛いなど、体の不調に関する表現を練習	永井千鶴子
15	Lektion 10	・不調に対するアドヴァイスや、医師を訪れたときの会話を練習 ・Lektion 10で何ができるようになったかを確認 今学期のまとめ	永井千鶴子

科目名称	フランス語入門	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to French	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	大道寺玲央					
科目担当者	大道寺玲央					

【１】　授業概要

フランス語を初級文法から学び、現在形で初歩的な文章をつくれる程度の力を養う。また、フランス語の世界に触れながら、各自が身をもってフランス語を学ぶ楽しさを体験する。

【２】　学修目標（到達目標）

フランス語で買い物や、簡単な自己紹介ができる（実用フランス語技能検定試験５級取得可能程度）。
フランス的な社会生活のあり方に触れ、日本とは異なる生活習慣、商習慣等を理解することができる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業では毎回、小テストが課されます。その勉強のため、一時間程度の復習が必要となります。
予習は必須ではありませんが、教科書で学習内容を事前に確認し（10分程度）、疑問点などを明らかにした上で授業に出席することが望ましいです。

【４】　関連科目

特にありません。

【５】　評価方法

小テスト40%、期末テスト60%で評価します。
その回の授業で勉強した項目のうち、最重要項目を次回の小テストの課題とし、次回授業の冒頭時にテストします。
次回小テストの課題は各回の授業の最後に告知されます。
期末テストでは、原則として小テストで出題された課題のみが出題されます。

【６】　教科書

『トライ！フランス語（F comme francais）』（藤田知子他、駿河台出版社、2009年初版発行）

【７】　参考書

『ケータイ「万能」フランス語文法』（久松健一、駿河台出版社、2000年）
辞書については初回ガイダンス時に紹介。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

水曜日12時10分～13時　５号館５階講師室

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	授業の概要紹介・アルファベットのフランス語読みの練習	大道寺玲央
2	綴り字と発音のしくみ（1）	単語を発音する際の規則の紹介と練習	大道寺玲央
3	綴り字と発音のしくみ（1）	文を発音する際の規則の紹介と練習	大道寺玲央
4	挨拶の表現	様々な挨拶表現	大道寺玲央
5	自己紹介（1）	主語人称代名詞と動詞être	大道寺玲央
6	自己紹介（2）	国籍に関する表現	大道寺玲央
7	自己紹介（3）	第一群規則動詞	大道寺玲央
8	好きなものについて	不定冠詞・定冠詞	大道寺玲央
9	兄弟・姉妹について	動詞avoirと否定文の作り方	大道寺玲央
10	人の特徴について	形容詞・所有形容詞	大道寺玲央
11	レストランにて	指示形容詞・前置詞と定冠詞の縮約	大道寺玲央
12	週末の予定について	疑問代名詞・動詞aller	大道寺玲央
13	観光地にて（1）	部分冠詞・命令文	大道寺玲央
14	観光地にて（2）	時間と天候を表す非人称構文	大道寺玲央
15	他己紹介	直接目的語・間接目的語人称代名詞	大道寺玲央

科目名称	**中国語入門**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Chinese	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	楊纓					
科目担当者	楊纓					

【１】　授業概要

中国語の発音の基礎を身につける練習を行いながら、初歩文法の習得を目指す。基本的表現の反復学習を通して、今後中国語を勉強するための土台を作る。

【２】　学修目標（到達目標）

1. 中国語のローマ字発音表記(ピンイン)を見て正しい発音ができる。
2. 簡単な中国語の文章を正しく聞き取り、その内容を述べることができる。
3. 簡単な挨拶と会話ができる。

（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

予習：テキストを事前に読んでおくこと。
復習：重要ポイントを中心に理解を確かなものにすること。
本授業は予習に1時間、復習に1.5時間程度要する。

【４】　関連科目

なし

【５】　評価方法

期末試験70%＋小テスト30%
小テスト：結果を返却する。期末テスト：試験問題の誤答内容について確認する。

【６】　教科書

杉野元子・黄漢青『大学生のための初級中国語40回』白帝社

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

水曜日、12時10分～13時

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	＜テキストP6～8＞ 中国とは？ 中国語とは？	楊纓
2	第1課	＜テキストP9～11＞ 声調 単母音	楊纓
3	第2課	＜テキストP12～14＞ 複母音 声調記号のつけ方	楊纓
4	第3課	＜テキストP15～17＞ 子音（1） 軽声 声調の変化（1）	楊纓
5	第4課	＜テキストP18～20＞ 子音（2） 声調の変化（2） 親族名称	楊纓
6	第5課	＜テキストP21～23＞ 鼻母音 声調の変化 数字0－10	楊纓
7	第6課	＜テキストP24～26＞ r化音 間違えやすい発音 人称代名詞	楊纓
8	第7課	＜テキストP27～29＞ 紛らわしい発音 数字11－99 あいさつ言葉 名前の聞き方と答え方	楊纓
9	第8課	＜テキストP30～33＞ 動詞“是”	楊纓
10	第9課	＜テキストP34～37＞ 動詞述語文 副詞“也”と“都”	楊纓
11	第10課	＜テキストP38～41＞ 指示代名詞（1）「これ、あれ、それ」 “的”	楊纓
12	第11課	＜テキストP42～45＞ 疑問詞疑問文 助動詞“想” 時点（1）「今日、今週、今月など」	楊纓
13	第12課	＜テキストP46～49＞ 形容詞述語文 反復疑問文 補充語句－季節と形容詞	楊纓
14	第13課	＜テキストP50～53＞ 連動文 所有を表す動詞“有” 量詞	楊纓
15	第14課	＜テキストP54～57＞ “几”と“多少” 数字100－ 金額の言い方	楊纓

科目名称	**健康科学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Health Sciences	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	遠藤英子					
科目担当者	遠藤英子・山﨑純一					

【１】　授業概要

健康科学に関する様々な概念や社会理論などを学び、身体面・精神（心理面）・社会面のある個人の健康、個人・家族・社会という生活体が構成する集団の健康、疾病・加齢による身体の健康、など多角的に理解し、人類とそれを取り巻く健康な社会について科学的に探究する視座を習得する。
（遠藤英子／４回）健康と科学、個人と健康、集団と健康、社会と健康など
（山﨑純一／４回）身体の健康と回復、老化など

【２】　学修目標（到達目標）

1. 東邦大学創始者である額田氏の考え方を通し人間を取り巻く環境との適応状況を踏まえ、人間の尊厳、健康について考え、述べることができる。
2. 人間の健康を守るための医学の歴史について述べることができる。
3. 人間の健康を身体的・精神的・社会的側面から科学的にとらえ統合体としての人間についての健康について述べることができる。
4. 人間の健康を予防・疾病のレベル（健康の段階）・死について捉え、述べることができる。
5. 人間を多角的に捉え、人間の尊厳を考え、「健康観」として述べることができる。

（看護学科ＤＰ　１，２，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

今までの自分の体験を通し、皆さんと意見交換を図りながら、健康を科学的に捉え、医学・看護専門科目を学修していく基盤の一つを「健康観」として、各自述べることができるところまで到達したいと思う。従って、授業には積極的に参加し自分の意見を述べることを望む。
　予習・復習に関しては、各回の授業を整理し、次の授業にはその内容を述べることができ、新たなる課題を提言することができるような、学習の仕方を期待する。それに費やす時間は各自違うので自分が納得のいくように学習を進めてほしい。その積み重ねが、自分自身の思慮の深さにつながっていくことを自覚する。

【４】　関連科目

看護学概論、基礎専門科目全般、看護学専門科目全般

【５】　評価方法

レポート評価100％
各自、「健康観」に関するテーマを自分で設定し論述する。
提出されたレポートに対してはコメントにてフィードバックする。

【６】　教科書

必要時、授業の中で、資料を配布する。

【７】　参考書

授業の中で紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

事前にメールあるいは授業終了後連絡のこと。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	自然・生命・人間	内容：東邦大学の創始者の精神を基に、人間を取り巻く環境における人間の適応および健康について考え、人間の尊厳を考える。 方法：講義 キーワード：人間、自然環境、社会環境、人間の尊厳、人間の適応、生命	山崎
2	医学の歴史	内容：人間の健康を守るための医学の歴史を知り、医学とは何かを考える。 方法：講義 キーワード：医学の歴史、自然科学と医学、医学の発達、医療	山崎
3	健康のとらえ方　①	内容：健康の定義、障害の定義を考えながら健康の価値を考える。病む人格体としての人間（suffering person）を捉える。 方法：講義 キーワード：健康の価値、suffering person	遠藤
4	健康のとらえ方　②	内容：身体的側面から見た健康の段階（レベル）を科学的に捉える。病気の予防～疾病の発症～病気の回復過程を学ぶ。 方法：講義 キーワード：　疾病予防、病気の診断、疾病の回復、健康への影響要因（飲酒・喫煙・肥満など）	山崎
5	健康のとらえ方　③	内容：身体的側面から見た老化および死を考える。 方法：講義 キーワード：個体レベルの死、社会的レベルの死、精神的レベルの死、インフォームドコンセント、生命誕生への医学の介入と倫理	山崎
6	日本国民の健康に関する現状	内容：　日本国民の健康状態を捉え、人々の生活と健康に関して検討する。 方法：講義・グループワーク キーワード：健康の関連要因（経済水準・医療政策・医療の変化など）、健康の概念の変化 飲酒・喫煙・肥満・痩せ・摂食障害・ストレス・セクシャリティー・エイズ・同性愛	遠藤
7	社会の変遷と健康観の変化	内容：前回の授業（日本国民の健康に関する現状）を考える中で、個人の健康・家族の健康・組織・地域の健康を整理し、健康の関連要因の検討をする。 方法：先回のグループワークの発表、講義 キーワード：健康の関連要因（経済水準・医療政策・医療の変化など）、健康の概念の変化 飲酒・喫煙・肥満・痩せ・摂食障害・ストレス・セクシャリティー・エイズ・同性愛	遠藤
8	人間の適応	内容：障害を持った生活者が身体的側面・精神（心理）的側面・社会的側面から現代社会の中で、自己の健康を保持するためにどのように適応しながら生活したらよいかを考える 方法：講義 キーワード：疾病回復、障害、QOL、生活支援（看護） 健康観	遠藤

科目名称	コミュニケーション論	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Communication Theory	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	近藤真樹					
科目担当者	近藤真樹・井手芳美（共同）					

【１】　授業概要

健康科学の各分野において、対象理解やチーム医療に貢献するために必要とされる、コミュニケーションの基礎理論、カンファレンスの基礎知識を理解する。また、知識のみでなく、体験を通して相互作用、人間関係、リフレクション、コーチングの構造とスキル、アサーティブネスなど学習する。

【２】　学修目標（到達目標）

①保健医療分野、特に看護分野におけるコミュニケーションの重要性を説明できる。
②基本的なコーチングスキルとその効果･可能性を具体的に説明できる。
③コミュニケーションスキルの一つであるコーチングが看護職間だけでなく、看護の対象や多職種との人間関係構築に有用であることを説明できる。
④学んだコーチングスキルを活用して、コーチングの構造を念頭に置きながら、コーチングセッションが実践できる。
⑤体験的に習得したコーチングスキルを、日々の生活の中で実践できる。
⑥基本的なコミュニケーションスキルを体験的に学び、実習などで積極的に活用できる。
⑦自分も相手も大切であるという自己表現を学び、アサーションを使ったフォロワーシップを実践できる。
（看護学科ＤＰ　２，３，４）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業は、学んだ知識･技術を習得するために毎回予習３０分程度、復習６０分程度を費やす。
事前学習は、必要時に事前課題を提示する。
事後学習は、毎回課題を出し、必ず課題に取り組んでその成果を全体で共有する。

【４】　関連科目

心理学、看護入門実習Ⅰ、看護入門実習Ⅱ

【５】　評価方法

レポートの提出70%、出席点およびグループワークにおける貢献30%で評価する。
フィードバックは、毎回提示する課題について次回授業時に特徴的な見解をコメントすると共に最終日に全体講評を行う。

【６】　教科書

・資料を授業時に配布する。

【７】　参考書

・伊藤守（2015）『コーチングの教科書』アスペクト
・伊藤守、鈴木善幸（2012）『図解コーチング流タイプ分けを知ってアプローチすると上手くいく』ディスカヴァー
・ジョセフ・オコナー、アンドレ・ラゲス著、杉井要一郎訳（2012）『コーチングのすべて』英治出版
・Thomas J.Leonard(1998)『THE　PORTABLE COACH』SCRIBNER

【８】　オフィスアワー・連絡方法

・講義の休憩中、もしくは、大学の科目担当者を介してメールにて回答

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	コミュニケーション基礎知識	担当者紹介、到達目標、授業の進め方、日程 コミュニケーションとは何か コミュニケーションの全体像 コーチングとは何か コーチングの歴史 看護におけるコーチングの効果と活用の理解 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 キーワード：コーチング・コミュニケーション	近藤、井手
2	コミュニケーション基礎知識、コミュニケーションエクササイズ	コーチングとティーチングの違い コミュニケーションスキルとは 聴く（アクティブリスニング）とは 非言語的コミュニケーションの効果 フィードバックとは 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 レポート課題の提示：授業内容に応じてその都度提示 キーワード：聴く　非言語的コミュニケーション	近藤、井手
3	コミュニケーションエクササイズ	アイスブレイク 課題の振り返り（レポート課題の提出） コーチングの構造とは コーチング実践(ペア実践) 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 キーワード：コーチングの構造	近藤、井手
4	コミュニケーションエクササイズ	承認とは 承認の種類と効果 効果的な質問とは 質問の種類と効果 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 レポート課題の提示：授業内容に応じてその都度提示 キーワード：承認、質問	近藤、井手
5	コミュニケーションエクササイズ	アイスブレイク 課題の振り返り（レポート課題の提出） タイプ分けとは 4つのタイプで自分を知る、相手を知る 4つのタイプの特徴のディスカッション 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 キーワード：コミュニケーションのタイプ	近藤、井手
6	コミュニケーションエクササイズ	カンファレンスに活用できるグループコーチング実践（グループ） 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 レポート課題の提示：授業内容に応じてその都度提示 キーワード：グループコーチング	近藤、井手
7	コミュニケーションエクササイズ	アイスブレイク 課題振り返り（レポート提出） セルフマネジメントとは パーソナルファンデーションとは アサーティブとは 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 キーワード：セルフマネジメント　アサーティブ パーソナルファンデーション	近藤、井手
8	コミュニケーション総括	本科目の総括 【授業方法】 講義、ペアワーク、グループワーク、発表 総復習（傾聴、聞く、承認などを意識しての）コーチングセッション（傾聴、承認、質問、アサーティブ、コーチングの構造など） コミュニケーション実践 レポート課題の提示：全体を通しての学びについて、気づいたこと、考えたことの感想 キーワード：コーチングセッション	近藤、井手

科目名称	**プレゼンテーション論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Presentaion Theory	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	赤尾充哉					
科目担当者	赤尾充哉					

【１】　授業概要

医療・福祉・政策の分野に貢献する人材の育成を目指し、個人対個人のやりとりのみでなく、多数に自分の考えや主張などを伝えるためのプレゼンテーションの技法を学習する。また、他者の意見を受けとり、その後自らの視点で問い直したり吟味したりする姿勢を持つなど、クリティークの基本を習得する。

【２】　学修目標（到達目標）

・伝えるべきことを明確に伝えられる
・聞き手の集中力を保ち、理解しやすくするための工夫ができる
・他者の話に対して、建設的に議論できる
（看護学科ＤＰ　３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

・この授業は、実習課題に事前に取り組まなければならないため、予習に毎回２～５時間程度を費やします。
・自分のプレゼンテーションだけでなく、他者のプレゼンテーションをよく聞き、積極的に議論ないし会話に参加すること。

【４】　関連科目

研究方法の基礎、看護研究入門、看護研究、文章表現法

【５】　評価方法

・要旨がわかりやすかったか：20%
・情報量は説得力を与えたか：20%
・演出上の魅力的な工夫をしていたか：20%
・聞きやすい話し方をしていたか：20%
・他者の報告に対する質疑に参加していたか：20%
・課題についての講評を直接コメントする。

【６】　教科書

特になし

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

メールでの連絡に限る

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	プレゼンテーション概説	プレゼンテーションのどこがポイントかを理解する。 【授業方法】 予習：必要としない。 復習：授業内容を振り返って理解する。 キーワード： アウトライン、情報、演出	赤尾
2	アウトラインの形成	伝えたい情報を簡潔に伝えるためのアウトラインを作る。 【授業方法】 予習：あらかじめテーマについて調査する。 復習：あらすじをパワーポイントにまとめる。 キーワード：ストーリーの構成	赤尾
3	情報の盛り込み	情報を収集し、説得力をもたらす形で資料に盛り込む。 【授業方法】 予習：情報を収集する。 復習：情報の配置を再検討する。 キーワード：資料の役割	赤尾
4	演出面の工夫	場面に応じた演出法を学ぶ。 【授業方法】 予習：特になし 復習：必要な演出を盛り込む。 キーワード：話し方、ストーリーの引用、アニメーションとサウンド	赤尾
5	プレゼンテーション実施(1)	プレゼンテーションを実施する。 【授業方法】 予習：プレゼンテーションの練習 復習：指摘されたことを振り返る。 キーワード： 要旨の伝え方、情報の見せ方、演出上の工夫、聞きやすい話し方、他者の報告に対する質疑	赤尾
6	プレゼンテーション実施	プレゼンテーションを実施する。 【授業方法】 予習：プレゼンテーションの練習 復習：指摘されたことを振り返る。 キーワード： 要旨の伝え方、情報の見せ方、演出上の工夫、聞きやすい話し方、他者の報告に対する質疑	赤尾
7	プレゼンテーション実施(3)	プレゼンテーションを実施する。 【授業方法】 予習：プレゼンテーションの練習 復習：指摘されたことを振り返る。 キーワード： 要旨の伝え方、情報の見せ方、演出上の工夫、聞きやすい話し方、他者の報告に対する質疑	赤尾
8	プレゼンテーション実施(4)	プレゼンテーションを実施する。 【授業方法】 予習：プレゼンテーションの練習 復習：指摘されたことを振り返る。 キーワード： 要旨の伝え方、情報の見せ方、演出上の工夫、聞きやすい話し方、他者の報告に対する質疑	赤尾

科目名称	**スポーツ健康科学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Health and Sports Science	選択	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	湯田秀行					
科目担当者	湯田秀行					

【１】　授業概要

スポーツ健康科学は、健康とスポーツについて探求する学問である。人間の健康を維持･増進するためのスポーツのあり方、健康とスポーツに関わる基本的な理論･概念、身体に負担のかからない運動や効果的なトレーニングの方法、社会的意義などを学ぶ。さらに、身近な運動を人体の構造や生理学的観点から分析し、日常生活における運動について考察する。

【２】　学修目標（到達目標）

1. スポーツの意味や価値について説明できる。
2. スポーツマンシップについて説明できる。
3. 運動と健康との関連性について説明できる。
4. 適度な運動について、心拍数を用いて説明できる。
5. 運動をすることの必要性について、具体例を3つ以上説明できる。
6. 身体が動くメカニズムについて具体的な専門用語を用いて説明できる。
7. 適度な運動について具体的な数字や専門用語を用いて説明できる。
8. 人間が生活する上で必要な栄養について具体的な数字や専門用語を用いて説明できる。
9. 健康の維持・増進に関わる運動の重要性を説明することができる。

（看護学科ＤＰ　１，３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

準備学習：
授業のテーマに沿ってスポーツや健康についての文献や書物などを事前に調べておく。（予習120分）
授業で学んだことのうち一つでもよいので他の誰か（複数の人）に話す。（復習60分）
学習上の留意点：授業内に出される質問に積極的に答えるようにするとよい。

【４】　関連科目

スポーツ健康科学実技、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、臨床栄養学

【５】　評価方法

定期試験50%、授業内小テスト20%、発言回数+ミニッツ・ペーパー30%による総合評価。
毎回課されるレポートを授業内で返却するとともに、その課題についての解説を行う。

【６】　教科書

毎時間、作成したパワーポイント教材を使用する。
資料は必要に応じて授業時に配布する。

【７】　参考書

「スポーツマンシップを考える」、「スポーツマンシップ立国論」　広瀬一郎　小学館
筋肉の構造・役割と筋出力のメカニズム　湯浅景元　山海堂
運動生理学20講　勝田　茂　朝倉書店

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日　13時～15時　左記以外はアポイントを取ってください。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	オリエンテーション、スポーツ健康科学の理論(1)	授業のオリエンテーション・スポーツ健康科学とは・スポーツの概念の変遷・スポーツと健康との関 講義 予習：スポーツと健康についての文献に目を通す。 復習：　授業内容の書かれたシラバスに目を通し、講義に対する見通しを明確にする。 キーワード：スポーツ、健康	湯田
2	スポーツ健康科学の理論(2)	「コーチ・カーター」を鑑賞・スポーツマンシップ・スポーツが持つ教育的価値 映画鑑賞　・講義 予習：スポーツマンシップに関する文献検索 復習：自分が感じたことまたは考えたことを周囲の人に伝える。 キーワード：教育、スポーツ、スポーツマンシップ、人生	湯田
3	スポーツ健康科学の理論(3)	スポーツと体育との関係性・スポーツの持つ意味や価値について考察 講義 予習：　スポーツと運動、スポーツと体育の違いについて 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：スポーツ、運動、体育	湯田
4	運動の科学(1)	運動が身体に与える影響を考察 講義 予習：運動と健康の関連性について事前調査をする。 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：運動、健康	湯田
5	運動の科学(2)	身体が動くメカニズムを分析 学習用VTR・講義 予習：身体を動かすには何が必要なのかを調べておく。 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：筋肉・筋収縮・機序	湯田
6	運動の科学(3)	靴が人間の健康や姿勢に果たす役割を考察 講義 予習：事前に配布する靴に対するアンケートに答える。 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：靴、姿勢、健康、運動、環境破壊	湯田
7	運動の科学(4)	適度な運動とは何か・運動の強度を示す具体的な指標の活用・効果的なトレーニングの方法 講義 予習：運動処方とは何かを事前に調べておく。 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：運動処方、運動強度、心拍数、酸素摂摂取量、RMR、METS、トレーニング	湯田
8	スポーツ栄養学	スポーツ栄養学とは・健康な身体を作るための食事・今後の食生活の改善・健康の維持･増進と、運動の重要性 講義 予習：人間に必要とされる栄養素とは？ 復習：本時間において学んだことを周囲の人に話す。 キーワード：健康な身体、運動、休息、栄養、身体によい食べ物、エンザイム	湯田

科目名称	スポーツ健康科学実技：テニス	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Health and Sports Science Exercise	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	湯田秀行					
科目担当者	湯田秀行					

【１】　授業概要

スポーツ健康科学は、健康とスポーツについて探究する学問である。本科目は、スポーツ健康科学の基本的な理論･概念、身体に負担のかからない運動や効果的なトレーニングの方法、社会的意義などについて体験を通して学ぶ。さらに、運動による身体の変化を分析し、人間の身体についての理解を深める。
授業の序盤においては、テニスのルールを理解しながら基本的な技術の習得に主眼を置く。授業の中盤以降は習得した技術を場面に応じて使えるようにすることを狙いとする。さらに授業の終盤においては、学生が主体となりチーム戦などを運営しながらゲームを中心に技術をブラッシュアップしていく。最終的に様々な技術や戦術を駆使しながらそれぞれの種目の特性を理解し、楽しむことができるようになることを目指す。

【２】　学修目標（到達目標）

1.テニスのルールを説明することができる。
2.基本的技術（フォアハンドストローク、バックハンドストローク、サービス、ボレーなど）を身につけることができる。
3.試合運営（審判・得点・時間）をすることができる。
4.他学部・他学科の学生間で積極的にコミュニケーションを図ることができる。
5.自分のプレーを振り返り、課題点や克服できた点を説明できる。
6.運動が人々の健康生活に及ぼす影響について説明できる。
（看護学科ＤＰ　２，３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

準備学習：この授業は、予習としてテニスのルールや基本的なストローク、また試合におけるフォーメーションや戦術について文献や映像を見て理解やイメージを持つことに0.5時間程度、また、復習としてその時間におけるプレーなどの達成度と課題の両面を振り返る作業に0.5時間程度を費やします。
学習上の留意点：スポーツではケガを負ったり、負わせたりする潜在的な危険性があることを承諾すること。（危険引き受けの法理）

【４】　関連科目

スポーツ健康科学、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、臨床栄養学

【５】　評価方法

授業参加度(積極的な活動)：60%、技術向上度・達成度：20%、態度・理解力・協調性など：20%を基本に総合的に評価する。
毎回の授業開始時において前回までのプレーの改善点や目的に関する講評や提示を行う。

【６】　教科書

資料は必要に応じて授業時に配布する。

【７】　参考書

テニス指導教本Ⅰ　日本テニス協会　大修館
JTA TENNIS RULE BOOK 2016

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日　13時～15時　左記以外についてはアポイントを取ってください。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	種目選択や履修カードの作成を行った後、履修上の注意点や授業計画についての説明を行う。（実技は行わない。） 講義 予習：自分の受講したい種目を決定する。 復習：授業内容の書かれたシラバスに目を通し、実技に対する見通しを明確にする。 キーワード：種目選択、履修カード	湯田、中沢、澁川
2	テニス　基礎的なストロークその①	テニスの歴史やルールの理解・用具（ラケット、ガット）の解説・試しのゲーム 実技：基礎的なストローク（フォアハンドとバックハンド）および簡易ゲーム 予習：テニスのルールや基本的なストロークの打ち方を文献や書物などから理解しておく。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ルール・安全対策	湯田
3	テニス　基礎的なストロークその②	実技：基礎的なストローク（フォアハンドとバックハンド）および簡易ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：基本ストロークの打ち方	湯田
4	テニス　基礎的なストロークその③	実技：基礎的なストローク（フォアハンドとバックハンド）およびダブルスゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：基本ストロークの打ち方およびダブルスゲームの進め方	湯田
5	テニス　サーブその①	実技：サービスの打ち方とルールを理解しダブルスに生かす。 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：サーブの打ち方およびダブルスゲームの進め方	湯田
6	テニス　サーブその②	実技：サービスの打ち方とルールを理解しダブルスに生かす。 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：サーブの打ち方およびダブルスゲームの進め方	湯田
7	テニス　ボレーその①	実技：基礎練習（フォア、バック）、ボレー、基礎練習を生かした簡易ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ボレー	湯田
8	テニス　ボレーその②	実技：基礎練習（フォア、バック）、ボレー、基礎練習を生かした簡易ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ボレー	湯田
9	テニス　ボレー（ポーチ）	実技：ボレー(ポーチ)、ハイボレー、ローボレー基礎練習を活かした簡易ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ボレー（ポーチ）	湯田
10	テニス　スマッシュ	実技：基礎練習・スマッシュ・ダブルスゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：スマッシュ	湯田
11	テニス　リーグ戦その①	実技：リーグ戦その１（チーム戦） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦	湯田
12	テニス　リーグ戦その②	実技：リーグ戦その２（チーム戦） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦	湯田
13	テニス　リーグ戦ファイナルその①	実技：リーグ戦ファイナルその１（学生の自主運営） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦（自主運営）	湯田

14	テニス　リーグ戦ファイナルその②	実技：リーグ戦ファイナルその１（学生の自主運営） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦（自主運営）	湯田
15	まとめ	授業評価アンケートの実施 課題レポートの提出：「運動が健康生活に及ぼす影響について」 実技・講義 予習および復習として：授業全体を通して振り返りの作業をする。 到達目標と照らし合わせ自己評価をする。 キーワード：振り返り、自己評価	湯田

科目名称	**スポーツ健康科学実技：卓球**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Health and Sports Science Exercise	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	湯田秀行					
科目担当者	中沢克江					

【１】　授業概要

スポーツ健康科学は、健康とスポーツについて探究する学問である。本科目は、スポーツ健康科学の基本的な理論･概念、身体に負担のかからない運動や効果的なトレーニングの方法、社会的意義などについて体験を通して学ぶ。さらに、運動による身体の変化を分析し、人間の身体についての理解を深める。
授業の序盤においては、それぞれの種目のルールを理解しながら基本的な技術の習得に主眼を置く。授業の中盤以降は習得した技術を場面に応じて使えるようにすることを狙いとする。さらに授業の終盤においては、学生が主体となりチーム戦などを運営しながらゲームを中心に技術をブラッシュアップしていく。最終的に様々な技術や戦術を駆使しながらそれぞれの種目の特性を理解し、楽しむことができるようになることを目指す。（卓球、テニス、バスケットボール）また、スポーツ・クライミングでは、クライミングに必要な基礎知識を学びながら自身の身体の機能や動きの理解を深めることを目指す。
選択種目は、卓球、テニス、バスケットボール、スポーツ・クライミングなどを予定している。

【２】　学修目標（到達目標）

1. 卓球の特徴を理解する。
2. 基本的技術を習得する。
3. 卓球のルールやマナーを理解できる。
4. 試合運営（審判・得点・時間）をすることができる。
5. 他学部・他学科の学生間で積極的にコミュニケーションを図ることができる。
6. 自分のプレーを振り返り、課題点や克服できた点を説明できる。
7. 運動が人々の健康生活に及ぼす影響について理解し、説明できる。

（看護学科ＤＰ　２，３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

卓球のマナーとルールをある程度理解しておくこと。(予習60分)
その時間におけるプレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。(復習60分)
学習上の留意点：スポーツではケガを負ったり、負わせたりする潜在的な危険性があることを承諾すること。（危険引き受けの法理）

【４】　関連科目

スポーツ健康科学、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、臨床栄養学

【５】　評価方法

授業参加度(積極的な活動)：60%、技術向上度・達成度：20%、態度・理解力・協調性など：20%を基本に総合的に評価する。
フィードバック方法：授業後にその日の講評をする。

【６】　教科書

資料は必要に応じて授業時に配布する。

【７】　参考書

文献は必要に応じて授業時に紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

火曜日　13時～15時

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	種目選択や履修カードの作成を行った後、履修上の注意点や授業計画についての説明を行う。（実技は行わない。） 講義 予習：自分の受講したい種目を決定する。 復習：授業内容の書かれたシラバスに目を通し、実技に対する見通しを明確にする。 キーワード：種目選択、履修カード	湯田、中沢、澁川
2	基本技術練習	用具の解説、基本練習、ルールの理解、ゲーム 実技 予習：自分の受講する種目のルールを文献や書物などから理解しておく。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ルール・安全対策	中沢
3	基本技術練習、ゲーム：シングルス	基礎練習、基礎練習を活かしたゲーム 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ルール、審判	中沢
4	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：シングルス	基礎練習、応用練習、基礎練習を活かしたゲーム 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ルール、審判	中沢
5	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第1回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
6	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第1回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
7	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第1回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
8	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第２回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
9	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第２回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
10	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第２回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
11	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第３回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
12	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第３回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢

13	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：第３回ダブルスリーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
14	基本技術練習、応用技術練習、ゲーム：ダブルス	基礎練習、応用練習、ゲーム：団体リーグ戦 実技 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：コミュニケーション、ルール、審判	中沢
15	まとめ	授業評価アンケートの実施 課題レポートの提出：「運動が健康生活に及ぼす影響について」 実技・講義 予習および復習として：授業全体を通して振り返りの作業をする。 到達目標と照らし合わせ自己評価をする。 キーワード：振り返り、自己評価	湯田、中沢、澁川

科目名称	スポーツ健康科学実技：ＳＣ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Health and Sports Science Exercise	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	湯田秀行					
科目担当者	澁川賢一					

【１】　授業概要

スポーツ健康科学は、健康とスポーツについて探究する学問である。本科目は、スポーツ健康科学の基本的な理論･概念、身体に負担のかからない運動や効果的なトレーニングの方法、社会的意義などについて体験を通して学ぶ。さらに、運動による身体の変化を分析し、人間の身体についての理解を深める。
授業の前半部分は、ストレッチングやバランスボールによるリラクゼーションエクササイズを中心に行なう。また、授業の後半部分では筋力トレーニングやランニングなどの運動エクササイズを、心拍計や身体活動量計などの機器による客観的なデータを用いながら体験していく。健康を維持増進していくための運動負荷や日常的コンディショニングの工夫を、自らのライフスタイルに合わせて取り組めるような実践的な内容を行う。

【２】　学修目標（到達目標）

1. ストレッチングやセルフマッサージの理論的背景を理解し、適切な手法で実施をすることができる。
2. 健康づくりの運動を行う際に、自分自身の健康状態や運動習慣に合わせた適切な運動負荷を設定できる。
3. 筋力トレーニングや様々な運動手法を、安全面への配慮とともに実施することができる。
4. 健康づくりに用いられる様々な機器やソフトウェアについての知識を得ることで、自分自身の健康づくりに必要な情報を選択することができる。
5. 健康づくりに必要な「運動、栄養、休養」の３要素のバランスを理解し、健康的なライフスタイルを考案することができる。
6. スポーツを通じた仲間づくりや、運動による爽快感などを体感することで、生涯にわたるスポーツとの関わりへの関心を高めることができる。

（看護学科ＤＰ　２，３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

準備学習：起床時の心拍数など自分自身の体調を主観的・客観的に評価する（予習）
　　授業で体験し獲得した技術を日常生活で実践し評価をする（復習）
この授業は、毎回の予習に30分、復習に30分程度を費やします。

【４】　関連科目

スポーツ健康科学、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、臨床栄養学

【５】　評価方法

授業参加度(積極的な活動)：60%、技術向上度・達成度：20%、態度・理解力・協調性など：20%を基本に評価する。
フィードバック方法：本授業の最終回において、全体の講評を行う。

【６】　教科書

資料は必要に応じて授業時に配布する。

【７】　参考書

文献は必要に応じて授業時に紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

月曜日　16時～17時　左記以外についてはアポイントを取ってください。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	講義：種目選択や履修カードの作成を行った後、履修上の注意点や授業計画についての説明を行う（実技は行わない） 予習：自分の受講したい種目を決定する 復習：授業内容の書かれたシラバスに目を通し、実技に対する見通しを明確にする キーワード：種目選択、履修カード	湯田、中沢、澁川
2	体力測定①ストレッチング	実技：体力測定：柔軟性や身体組成、筋力を測定する 予習：体力の分類を調査し、体力測定項目の理解を深めておく（30分） 復習：測定結果と自らの生活習慣を振り返り課題を明確にしていく（30分） キーワード：体力測定	澁川
3	体力測定②ストレッチング	実技：FMS（Functional Movement Screen）テスト 予習：体力の分類の理解と柔軟性についての理解を深めておく（30分） 復習：身体表現の様々な評価方法を振り返る（30分） キーワード：運動習慣、運動学習、筋肉の柔軟性	澁川
4	バランスコンディショニング①ストレッチング	実技：バランスボールを用いたコンディショニングの実践 予習：体のバランスについての理解を深めておく（30分） 復習：日常生活動作における体のバランスを振り返る（（30分） キーワード：バランス、左右差、安定と不安定	澁川
5	バランスコンディショニング②ストレッチング	実技：ストレッチポールを用いたコンディショニングの実践 予習：体のバランスについての理解を深めておく（30分） 復習：日常生活動作における体のバランスを振り返る（30分） キーワード：バランス、左右差、安定と不安定	澁川
6	セルフリラクゼーション①	実技：テニスボールやストレッチポールを用いたリラクゼーション 予習：日常の生活習慣での体の使い方を振り返る（30分） 復習：日常生活でのリラクゼーションの実践（30分） キーワード：リラクゼーション、呼吸	澁川
7	セルフリラクゼーション②	実技：テニスボールやストレッチポールを用いたリラクゼーション 予習：　日常の生活習慣での体の使い方を振り返る（30分） 復習：日常生活でのリラクゼーションの実践（30分） キーワード：リラクゼーション、呼吸	澁川
8	体幹トレーニング①	実技：自分の体重を用いたエクササイズの実践 予習：器具を用いないエクササイズの理解を深めておく　（30分） 復習：日常生活の中でのエクササイズの実践（30分） キーワード：体幹、バランス、	澁川
9	体幹トレーニング②	実技：自分の体重を用いたエクササイズの実践 予習：器具を用いないエクササイズの理解を深めておく　（30分） 復習：日常生活の中でのエクササイズの実践（30分） キーワード：体幹、バランス、	澁川
10	マシンエクササイズ	実技：トレーニングマシンを用いたサーキットトレーニングの実践 予習：筋肉の収縮様式の理解を深めておく（30分） 復習：マシントレーニング後の体の反応を評価する（30分） キーワード：マシントレーニング、運動負荷、超回復	澁川
11	エアロビックエクササイズ①（有酸素運動）	実技：ダンスやランニングなどの有酸素運動を実践し、身体活動量を計測する 予習：安静時心拍数と最高心拍数の理解を深めておく　（30分） 復習：安静時や運動後などの日常生活における心拍数の活用（30分） キーワード：身体活動量、有酸素運動	澁川
12	エアロビックエクササイズ②（有酸素運動）	実技：ダンスやランニングなどの有酸素運動を実践し、身体活動量を計測する 予習：安静時心拍数と最高心拍数の理解を深めておく　（30分） 復習：安静時や運動後などの日常生活における心拍数の活用（30分） キーワード：身体活動量、有酸素運動	澁川
13	レクリエーショナルスポーツ	実技：レクリエーショナルスポーツの実践、身体活動量の計測 予習：安静時心拍数と最高心拍数の理解を深めておく　（30分） 復習：安静時や運動後などの日常生活における心拍数の活用（30分） キーワード：身体活動量、有酸素運動	澁川
14	セルフリラクゼーション③	実技：ヨガまたはピラティスを通じて、体と心のつながりを体感する 予習：ここまでの授業を振り返り、自分の体の特徴を理解しておく（30分） 復習：日常生活でのコンディショニングへの活用（30分） キーワード：リラクゼーション、呼吸、自律神経	澁川
15	まとめ	授業評価アンケートの実施 課題レポートの提出：「運動が健康生活に及ぼす影響について」 実技・講義 予習および復習として：授業全体を通して振り返りの作業をする。 到達目標と照らし合わせ自己評価をする。 キーワード：振り返り、自己評価	湯田、中沢、澁川

科目名称	スポーツ健康科学実技：バスケットボール	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Health and Sports Science Exercise	選択	演習	1年･春	1単位	30時間
科目責任者	湯田秀行					
科目担当者	江川　潤					

【１】　授業概要

スポーツ健康科学は、健康とスポーツについて探究する学問である。本科目は、スポーツ健康科学の基本的な理論･概念、身体に負担のかからない運動や効果的なトレーニングの方法、社会的意義などについて体験を通して学ぶ。さらに、運動による身体の変化を分析し、人間の身体についての理解を深める。
バスケットボールの授業はSportの原点であるPlayを理解し充実させるために、授業導入時はボールハンドリングの実施などを含め基礎的なスキル習得を目指していく。中盤以降は基本スキルに基づいた応用的な動きを表現し、授業終盤は試合を中心に組み立てていく。試合運営に必要となる得点の計算、表示方法、審判のジャッジメントを理解し、出来る限り学生が主体となって進めていけるようになることを目指す。

【２】　学修目標（到達目標）

1.バスケットボールのルールを説明することができる。
2.基礎的技術（ボールハンドリング、各種ドリブル、状況に応じたパス＆ラン、レイアップシュート、セットシュート）を身につけることができる。
3.試合運営（審判・得点・時間）をすることができる。
4.他学部・他学科の学生間で積極的にコミュニケーションを図ることができる。
5.自分のプレーを振り返り、課題点や克服できた点を説明できる。
6.運動が人々の健康生活に及ぼす影響について説明できる。
（看護学科ＤＰ　２，３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

準備学習：この授業は、予習としてバスケットボールのルールや基本的な動き、ハンドリングまた試合におけるオフェンスの戦術、またディフェンス（マンツーマンDF、ゾーンDF）について文献や映像を見て理解やイメージを持つことに0.5時間程度、また、復習としてその時間におけるプレーなどの達成度と課題の両面を振り返る作業に0.5時間程度を費やします。
学習上の留意点：スポーツではケガを負ったり、負わせたりする潜在的な危険性があることを承諾すること。（危険引き受けの法理）

【４】　関連科目

スポーツ健康科学、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ、臨床栄養学

【５】　評価方法

授業参加度(積極的な活動)：60%、技術向上度・達成度：20%、態度・理解力・協調性など：20%を基本に総合的に評価する。
毎回の授業開始時において前回までのプレーの改善点や目的に関する講評や提示を行う。

【６】　教科書

授業に必要な際は、こちらで準備します。

【７】　参考書

授業に必要な際は、こちらで準備します。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

火曜日12:00～12:45　理学部Ｖ号館5階　非常勤講師室。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	種目選択や履修カードの作成を行った後、履修上の注意点や授業計画についての説明を行う。（実技は行わない。） 講義 予習：自分の受講したい種目を決定する。 復習：授業内容の書かれたシラバスに目を通し、実技に対する見通しを明確にする。 キーワード：種目選択、履修カード	湯田、中沢、 澁川、江川
2	バスケットボール 基礎トレーニング(1)	実技：①ボールハンドリング（膝下、腰、首回りのロール） ②ドリブル（フロントチェンジ、スタターステップ、バックチェンジ、ロールターン、レッグスルーなど） 予習：バスケットボールのルールやハンドリングを文献や書物などから理解しておく。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ルール・安全対策、ハンドリング、各種ドリブルワーク	江川
3	バスケットボール 基礎トレーニング(2)	実技：①前回の復習②パス（チェストバス、バウンズパス、アンダーパス、ワンハンドパスなど）③シュート（レイアップシュート、バックシュート、ボスハンドシュート、ワンハンドシュート） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：各種ドリブルワーク及びパスワーク	江川
4	バスケットボール 基礎トレーニング(3)	実技：①前回の復習②パス＆ラン：バリエーショントレーニング（トライアングルパス、スクエアパス、ラグビーパス）③オフェンスの動き：2メン、3メン 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：パスワーク及び各種パスワークからの応用	江川
5	バスケットボール 応用した動き(1)	実技：①前回の復習 オフェンスの動き②スクリーンプレイ (Pick&Roll、2対2、3対3）③ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：応用パスワークとランなどの動き、スクリーンプレイ	江川
6	バスケットボール 応用した動き(2)	実技：①前回の復習 オフェンスの動き②スクリーンプレイ（前回の動き、バックドア、スクリーンアウェイ）③ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：スクリーンプレイ	江川
7	バスケットボール チームトレーニング(1)	実技：①前回の復習 オフェンスの動き②フォーメーション③ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：スクリーンプレイを活かしたオフェンス	江川
8	バスケットボール チームトレーニング(2)	実技：①前回の復習 ディフェンスの動き②マンツーマンディフェンス及びゾーンディフェンス（２－３、３－２など）③ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ディフェンスの理解	江川
9	バスケットボール チームトレーニング(3)	実技：①前回の復習 ディフェンスの動き②スクリーンプレイに対応したディフェンス（ファイトオーバー、スイッチ）③ゲーム 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。	江川
10	バスケットボール チームトレーニング(4)	実技：①前回の復習 ②オールコート５対５、チーム編成 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：ゲームの理解	江川
11	バスケットボール リーグ戦(1)	実技：ゲーム（リーグ戦-1） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦	江川

12	バスケットボール リーグ戦(2)	実技：ゲーム（リーグ戦-２） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦	江川
13	バスケットボール リーグ戦(3)	実技：ゲーム（リーグ戦　ファイナル-１） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦（自主運営）	江川
14	バスケットボール リーグ戦(4)	実技：ゲーム（リーグ戦　ファイナル-2） 予習：前回の課題を克服するための方法を考えるとともに本時間における目標を設定する。 復習：プレーなどの達成度と課題の両面を振り返る。 キーワード：リーグ戦（自主運営）	江川
15	まとめ	授業評価アンケートの実施 課題レポートの提出：「運動が健康生活に及ぼす影響について」 実技・講義 予習および復習として：授業全体を通して振り返りの作業をする。 到達目標と照らし合わせ自己評価をする。 キーワード：振り返り、自己評価	湯田、中沢、 澁川、江川

科目名称	心理学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Psychology	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	鳥山理恵					
科目担当者	鳥山理恵					

【１】　授業概要

人間の心理や行動の基礎にある原理を学び、自己理解と他者理解を通して人間の心の多様性、脆弱性、強靭さ等の人間理解を深める。具体的には、個人・集団心理の基礎（精神の仕組み・理論・発達心理など）、心理学的方法論（臨床心理学・行動分析学など）の理解を深める。本科目は、臨床心理学など医学や専門基礎科目、看護学の人間理解、患者理解等の基礎知識として直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

8回の授業を通し、心理学における課題解決の過程と結果を、論理的に文章として記述することができる。
授業各回の到達目標としては以下の事項を想定している：
第1回：心理学の研究手法について、具体例を挙げて説明することができる。
第2回：私たちが目で物を見たり耳で音を聞いたりする際にどのような心理的メカニズムが関わっているのかを理解できる。
第3回：動物を対象とした心理学の研究手法について、具体例を挙げて説明することができる。
第4回：人の記憶を支える3つのプロセスについて簡単に説明することができる。
第5回：人が感情を感じる背後にある心理的メカニズムについて簡単に説明することができる。
第6回：幼児の発達過程の4つの段階について、それぞれの段階の特徴を簡単に述べることができる。
第7回：社会心理学の研究手法について、具体例を挙げて説明することができる。
第8回：「こころの文化差」を明らかにするための研究手法について、具体例を挙げて説明することができる。
（看護学科ＤＰ　２，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業はスライドを使った講義形式となり、事前にWeb上で閲覧可能な授業資料を使っての予習に30分程度、復習に1時間程度を費やします。

【４】　関連科目

特になし

【５】　評価方法

定期試験（70%）、授業中に実施する小レポート2題（20%）、日々の学習状況（10%）
授業中に実施のレポートについては、次回の授業で具体例を挙げて、特徴的な見解や誤解についてコメントをする。

【６】　教科書

教科書は使用せず、Web上で閲覧可能な授業資料を使用する。

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業前後の休み時間

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	心理学の歴史と研究法	心理学の歴史と、心理学の研究法について学ぶ。 キーワード：心理学の基礎、実験方法	鳥山理恵
2	感覚・知覚	感覚や知覚といった基礎的な情報処理の様式について学ぶ。 キーワード：感覚、知覚	鳥山理恵
3	学習	学習の理論や動物での実験について学ぶ。 キーワード：学習、条件づけ	鳥山理恵
4	認知と記憶	人の認知や記憶のメカニズムについて学ぶ。 キーワード：認知、記憶	鳥山理恵
5	感情	人の感情のメカニズムについて学ぶ。 キーワード：感情、表情	鳥山理恵
6	発達	発達心理学の基礎について学ぶ。 キーワード：発達段階、赤ちゃん研究	鳥山理恵
7	集団心理	集団心理の基礎について学ぶ。 キーワード：社会心理、集団行動	鳥山理恵
8	文化	こころの文化差について学ぶ。 キーワード：文化心理、比較文化研究	鳥山理恵

科目名称	**教育学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Pedagogy	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	八木美保子					
科目担当者	八木美保子					

【１】　授業概要

教育の哲学、歴史、理論、教育制度など、教育学の基礎を学習する。また、自己教育力や生涯学習などの教育全般について理解を深める。本科目は、看護学の健康教育、患者教育等の基礎知識として直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

①教育学の構成、探究されているテーマや方法について説明できる。
②教育学において探究されてきた「教育」という概念について説明できる。
③教育学において探究されてきた「知識」や「学力」という概念について説明ができる。
④学習を促す条件や環境について事例を用いて説明できる。
⑤指導計画の立案、評価、改善における留意点を述べることができる。
⑥人が学習しやすい空間や環境づくりの留意点を述べることができる。
⑦生涯学習をめぐる近年の議論および専門職の職能発達について説明できる。
⑧日本の学校制度の変遷とその特徴を説明できる。
⑨学校と職業との接続に関する近年の議論を説明できる。
⑩授業で得た教育学の知見をどのように看護に活かすか、自分の考えを述べることができる。
（看護学科ＤＰ　２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

・授業計画を読んでうえで各回の授業に参加すること（予習10分程度）。授業内で得た知識を自分なりに深めることを重視するため、復習（1時間程度）に重きを置いて欲しい。
・グループワークを頻繁に行う。積極的な参加を期待する。

【４】　関連科目

看護学、特に臨地実習関連

【５】　評価方法

毎回の授業時に作成するコメントペーパーの内容（40%）、授業内で作成するワークシートの内容（30%）、コース終了時に課す最終レポート（30%）の合計で評価する。
コメントペーパーの内容は、毎回の授業のはじめに全体で共有する。

【６】　教科書

毎回の授業で資料を配付する。

【７】　参考書

井藤元編『ワークで学ぶ教育学』ナカニシヤ出版、2015
木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ』有斐閣、2009

【８】　オフィスアワー・連絡方法

金曜4限（授業終了後）、その他の場合は事前に担当者に連絡のうえ予約をとること。
連絡先：mihoko.yagi@sci.toho-u.ac.jp

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	教育学の特徴	教育学とはどのようなことを探究する学問か、その方法や内容の概要を知り、教育学を学ぶ意義を理解する。 キーワード：教育学を成り立たせているもの、教育というものの性格、教育学の構成	八木
2	教育とは何か	「教育」という概念についてこれまで教育学で考察されてきた内容を知り、自分なりに「教育」という営みを再検討する。 キーワード：「子ども」の誕生、人間形成、成長、発達、教える－学ぶ	八木
3	学習とはどのような営みなのか？	学習するとはどういうことか。複数の条件や環境を事例に、そのメカニズムを考える。 キーワード：知識、学力、適時性、教材化、構成的知識、正統的周辺参加	八木
4	「教える－学ぶ」の計画と実践、改善と継続	「教える」ことはどのように計画され、マネジメントされているのか。学校での授業を支える教育方法学、カリキュラム論等の基本的な概念を知る。 キーワード：カリキュラム、スコープとシーケンス、ガイダンス、教育評価、PDCA	八木
5	学びを促し、支える環境づくり	学校の校舎と病院の建物は、しばしば同じように批判の対象となってきた。人が学び、癒やされ、活き活きと生活できる環境とはどのようなものかを考える。 キーワード：学習環境、監視システム、オープンプラン、クラスタープラン	八木
6	専門職として学習し続けるために－生涯学習の基礎と専門職の職能発達	教師も看護師も共に専門職と呼ばれる職業である。生涯学習に関する近年の議論を知り、専門職の職能発達について考える。 キーワード：生涯教育から生涯学習へ、アンドラゴジー、ポスト・アンドラゴジー、省察的実践家、協働	八木
7	日本の学校制度	日本ではなぜ小学校と中学校は義務教育なのか、なぜ6年－3年－3年で区切れるのか、など日本の学校制度の成り立ちを知り、日本の学校制度における人づくりの意図を理解する。 キーワード：初等教育、中等教育、高等教育、義務教育、学校教育、職業教育	八木
8	まとめ　大学で看護師の資格をとるということ	日本の学校制度を踏まえつつ、学校と職業との接続について考える。 キーワード：学校と職業の接続、学校教育の職業的意義、キャリア教育	八木

科目名称	**組織論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Organization Theory	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	赤尾充哉					
科目担当者	赤尾充哉					

【１】　授業概要

組織の機能、組織文化、リーダーシップなどの概論、組織の構成メンバーの意思疎通、組織の目標達成までの過程を学習し、組織論の視点から身近な組織を理解する。本科目は、将来チーム医療、管理職業務、在宅ステーション経営などにつながる基礎知識となる。

【２】　学修目標（到達目標）

・資料を参照しながら、組織の役割とは何かを説明できる。
・資料を参照しながら、組織においてどのような問題が生じるかを具体的に３つ以上説明できる。
・具体例として提示された組織における問題に対し、資料を参照しながら理論的に説明できる。
・具体例として提示された組織における問題に対し、資料を参照しながら解決策を提言できる。
（看護学科ＤＰ　２，３，４）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

復習において、1）講義内容を自ら再度説明できるようにする、2）　学んだ理論が現実のどのような場面にどう対応しているかを自ら推察する、という２点が求められる。
この授業は、学んだ学説を現実と照らし合わせて理解するために、復習１時間程度を費やします。
【学習上の留意点】
講義のノートテイキングと理解を怠らないこと。

【４】　関連科目

コミュニケーション論、公衆衛生看護学概論、看護安全論、看護管理論、チーム活動論

【５】　評価方法

定期試験70%＋平常点（授業内レポート）30%
授業中のレポート：結果を返却する。

【６】　教科書

板書を中心に講義する。資料は都度配布する。

【７】　参考書

金井壽宏『経営組織』日本経済新聞社、1999年
沼上幹『組織デザイン』日本経済新聞社、2004年

【８】　オフィスアワー・連絡方法

メールでの問い合わせに限る

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	イントロダクション	組織における諸問題 講義 予習：特に必要としない。 復習：自分の身の回りの問題と照らし合わせて理解する。 キーワード：組織、組織の諸問題	赤尾
2	官僚制組織の功罪	官僚制組織とその逆機能 講義 予習：特に必要としない。 復習：実際例と照らし合わせる。 キーワード：規則の明文化、文書による伝達、合理性・効率性、適応能力の阻害、専門能力の活用の阻害、医療福祉の行政組織	赤尾
3	生産管理としての組織論	テイラーの科学的管理法 予習：特に必要としない。 復習：分業の設計について、身近な例と照らし合わせる。 キーワード：職能別職長制度時間研究・動作研究、課業、差別的出来高制度講義	赤尾
4	経営の役割	バーナードの理論 講義 予習：特に必要としない。 復習：なぜ経営が必要となるかを、実際の組織の例と照らし合わせる。 キーワード：道徳的リーダーシップ、能率と有効性、権限受容説	赤尾
5	組織と意思決定	・マーチ＝サイモンの理論 予習：特に必要としない。 復習：組織の意思決定がどのように行われるかを、実際の例と照らし合わせて理解する。 キーワード：限定合理性、満足化原理、価値前提・事実前提、組織メンバーの相互作用	赤尾
6	組織文化	組織文化が及ぼす影響 講義 予習：特に必要としない。 復習：どのような組織文化があるか、それがどのように影響するかを実際の例と照らし合わせる。 キーワード：共通認識、行動の制約、同調圧力、組織構造の安定化、組織の独自性、社会化	赤尾
7	モチベーション	働くということ・組織メンバーを動機づけるにはどうしたらよいか 講義 予習：特に必要としない。 復習：どのような時に動機づけられるかを身近な例と照らし合わせる。 キーワード：自己実現、能動性、達成欲求、報酬の主観的評価、組織人、キャリア、動機づけ理論	赤尾
8	リーダーシップ	リーダーはどのような行動をとるべきか 組織のあり方について考察 講義 予習：特に必要としない。 復習：リーダーがメンバーに及ぼす影響を身近な例と照らし合わせる。 キーワード：リーダー論、職務志向と人間関係志向、状況好意性、部下の成熟度、仕事、組織倫理	赤尾

科目名称	経済学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Economics	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	山方竜二					
科目担当者	山方竜二					

【１】　授業概要

医療・介護等に関わる社会政策と、経済の関係を理解するための手掛かりとして、現代経済学の問題意識と基本的な枠組み、そこに登場する有用な概念を学ぶ。現在わが国が直面する様々な問題とも絡めつつ、ミクロ／マクロ両面について経済学的な思考力を涵養する。

【２】　学修目標（到達目標）

１．需要曲線の性質について説明できる。
２．供給曲線の性質について説明できる。
３．市場均衡について説明できる。
４．前提となる条件が変化したとき、市場均衡がどのように変化するか説明できる。
５．競争市場の効率性について説明できる。
６．独占市場と競争市場の違いについて説明できる。
７．市場の失敗を、医療・介護等のサービスと関連させて説明できる。
８．市場における情報の非対称性の存在が、医療・介護等のサービスに与える影響について説明できる。
９．ＧＤＰ統計について説明できる。
１０．経済政策が景気に与える影響について説明できる。
（看護学科ＤＰ　３，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

受講上、高校での政治・経済の知識は必要としません。この授業では、教科書を指定しないため、準備学習としては復習が中心となります。また、簡単な予習課題を課すこともあります。復習では、学んだ内容を自分で改めて説明できるように、授業ノートに書き込みを行いながら理解を深めてください。また、その際、疑問に思ったことを次回授業で質問してください。予習０．５時間程度、復習１．５時間程度を費やします。
授業中は、授業進行に関係なく、疑問点はすぐに質問することを心がけてください。復習では、学んだ内容を自分で改めて説明できるように、授業ノートに書き込みを行いながら理解を深めてください。その際、疑問に思ったことは次回授業やオフィスアワーを利用して質問してください。また、日頃からニュースなどに触れ、社会に対する関心を養ってください。

【４】　関連科目

医療経済学

【５】　評価方法

定期試験(60%)，日々の学習状況(40%)，定期試験以外の課題については日々の学習状況の一部としてカウントする。
試験に対して履修者全体ができていなかった点や、改善点に関する講評を行う。

【６】　教科書

資料を授業の時に配布する。

【７】　参考書

角田由佳（２００７）看護師の働き方を経済学から読み解く　看護のポリティカル・エコノミー　他
授業内で適宜紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

理学部4号館3階4330内4332室　経済学教室　月曜 16:30-17:30　金曜 11:00-12:00
その他は事前に連絡のこと。

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	経済学とは	講義： 経済の基本問題 科学としての経済学 理論モデルの重要性	山方竜二
2	需要と供給	講義： 需要曲線 供給曲線 市場均衡 比較静学	山方竜二
3	競争と効率性	講義： 消費者余剰 生産者余剰 総余剰	山方竜二
4	独占	講義： 独占の非効率性 看護師の労働と需要独占	山方竜二
5	市場の失敗	講義： 外部性と政策	山方竜二
6	情報の経済学	講義： モラル・ハザード 逆選択と政策	山方竜二
7	GDPとは	講義： 実質ＧＤＰ 名目ＧＤＰ 物価	山方竜二
8	景気と経済政策	講義： 財政政策 金融政策	山方竜二

科目名称	社会学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Sociology	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	島村賢一					
科目担当者	島村賢一					

【１】　授業概要

社会学の理論など基礎的な知識をもとに、自分や家族などのライフサイクルと関連づけて事象を社会学的な視点で読み解く能力を身につける。また、医療は医療者と患者間の個人的営為であるとともに社会的な営為であるため、医療社会学の視点も学習する。

【２】　学修目標（到達目標）

医療行為が社会的な相互行為であることを理解し、患者や他の医療者とのコミュニケーション能力の向上ができる。
自己と他者における家族の役割と意味を客観的に考察できるようになる。
ジェンダー平等の意味を理解し、平等意識を身につけ、患者や他の医療者に接することができるようになる。
グローバルな視点を獲得し、現代社会に対して広い視野から、様々な問題を考察できるようにする。
（看護学科ＤＰ　２，３）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

この授業は内容理解のために予習を1時間程度、復讐を1時間程度必要とする。授業中に指摘した重要点に留意しながら、配布したプリントを読み返すこと。

【４】　関連科目

研究方法の基礎

【５】　評価方法

定期試験(40%)、課題レポート1題(30%)、日々の学習状況（30%）
次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。

【６】　教科書

授業時に随時プリントを配布する。

【７】　参考書

松田健『テキスト現代社会学[第3版]』、ミネルヴァ書房、2016

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業時に随時、指示をする。

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	医療者が社会学を学ぶ意義	社会学を学ぶ意義を講義し、グループワークによる討論でその意義を自ら考え、発表する。復習は授業時に配布したプリントを再読すること。	島村賢一
2	家族と社会化	人生における家族の位置づけを講義し、グループによる討論を行う。	島村賢一
3	ジェンダーと社会	ジェンダーの基礎論を講義し、医療にとって特にどういうことが重要なのかグループによる討論を行う。	島村賢一
4	少子高齢社会	少子高齢社会の現状と趨勢を講義し、医療にとってどのようなことが問題になるかをグループによる討論を行う。	島村賢一
5	民族問題と移民の社会学	民族問題と移民についての基礎論を講義し、医療者にとってどのような意味をもつかグループによる討論を行う。	島村賢一
6	グローバル化とは何か	グローバル化の基礎論を講義し、医療とグローバル化との関連をグループで討論する。	島村賢一
7	リスク社会としての現代	リスク論の視点から現代社会の問題を講義し、グループワークによる討論を行う。	島村賢一
8	医療と社会	これまでの総復習を講義で行い、グループ討議の後に質疑応答をする。	島村賢一

科目名称	文学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Literature	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	西田一豊					
科目担当者	西田一豊					

【１】　授業概要

様々な日本の文学作品の精読を通して、文学作品の成立に広義の科学技術が影響を与えてきたことを知る。また、精読を通して、文学作品が現代にも届く普遍的な問題を扱っていることを学ぶ。

【２】　学修目標（到達目標）

①明治時代から現代までの代表的文学作品の講義を通じて、日本の近代文学の流れ（文学史）を理解し、学生自身が具体的に説明することができる。
②文学作品に描かれた当時の社会・文化の有り様、特に科学技術と文学の関連および文学が社会に与えた影響、社会が文学作品に及ぼした影響について理解し、自らの研究課題と関連づけて考察することができる。
（看護学科ＤＰ　２）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

毎回講義では特定の作家、文学作品を扱うため、事前に次回取り扱う作家、文学作品について読んでいることが望ましい。また授業後、配布された資料を読み込み、また受講者自身が実際に文学作品を読むことが求められるため、予習1時間、復習１時間程度費やす。

【４】　関連科目

社会学、人類学、哲学、倫理学、看護学の人間理解に関する

【５】　評価方法

評価方法：授業内容に対するコメントシートの提出（40%）。レポートの提出（60%）。
フィードバック方法：提出されたコメントシートの内、特徴的な見解や誤解については次回授業で解説を行う。また提出されたレポートについては評価結果を返却する。

【６】　教科書

使用する資料は授業の際に配布する。

【７】　参考書

十川信介『近代日本文学案内』（2008年3月、岩波文庫）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

メールでの問い合わせに限る。

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス 寺田寅彦「科学と文学」	講義内容のガイダンスを行い、基礎的文献となる寺田寅彦の「科学と文学」について解説を行う。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
2	明治① 夏目漱石『三四郎』	夏目漱石の『三四郎』の精読を通じて、明治時代の文化的背景、時代状況を解説する。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
3	明治② 森鴎外『青年』	医学者でもあった森鴎外について解説を行い、明治時代の文化的背景、時代状況を『青年』の精読を通じて講義する。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
4	大正 芥川龍之介「歯車」	芥川龍之介の活躍した大正時代を、芥川の作家活動を通じて読み取り、「歯車」を精読する。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
5	昭和① 横光利一「機械」	昭和モダニズムについて、横光利一の作家活動とともに概観し、東京を中心とした都市文化の有り様を「機械」その他の作品を通じて講義する。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
6	昭和② 松本清張『点と線』	昭和三〇年代、都市化・機械化の進む日本の文化的状況を松本清張『点と線』を精読し講義を行う。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
7	現代① 安部公房 『第四間氷期』	科学技術の発展のもたらす危機的状況を、独自の想像力で描き出した安部公房の『第四間氷期』その他の作品を精読することで講義を行う。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊
8	まとめ　現代② 村上春樹 『スプートニクの恋人』	情報化社会の進展とコミュニケーションの問題の機制について村上春樹『スプートニクの恋人』をもとに講義を行い、また授業全体のまとめを行う。 復習：講義で配布された資料を読む。	西田一豊

科目名称	**人類学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Anthropolpgy	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	市田雅崇					
科目担当者	市田雅崇					

【１】　授業概要

人類学の基礎知識と方法を学習し、世界の様々な国・地域の生活の多様性から人間文化の共通性や一般性を知り、人間の理解を深めていく。

【２】　学修目標（到達目標）

文化の多様性と共通性、文化の相対主義的な視点を説明できる。
自分とは異なる価値観を持つ他者と対話し、尊重しあうことができる。
（看護学科ＤＰ　２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

準備学習：（予習）あらかじめ配布された資料に目を通し、関心がある事柄をまとめる（30分）。
（復習）授業を受けて、自分の立場との共通点・違いをまとめる（30分）。
学習上の留意点：世界情勢や文化的なことに関する時事問題を新聞等で目を通しておく。

【４】　関連科目

社会学、経済学、文学、哲学、倫理学、心理学、教育学、組織論、自然科学概論、看護学の概論

【５】　評価方法

平常点100％（課題をリアクションペーパーとしてまとめる。課題は授業内で指示するが、グループディスカッションを課題とする場合もある。）
授業で特徴的な見解や誤解についてコメントする。

【６】　教科書

特に用いない。必要に応じて資料を配布する。

【７】　参考書

日本文化人類学会編『文化人類学事典』（丸善出版、2009年）
国立民族学博物館編『世界民族百科事典』（丸善出版、2014年）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

月曜日午後、またはメール

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	イントロダクション	授業の進め方、文化人類学を概観 授業方法：講義 キーワード：文化人類学、フィールドワーク、民族誌	市田
2	神話と呪術の世界	南太平洋の海洋民の世界を紹介し、多様な生活のあり方を考える。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：海洋民の世界、神話と呪術、贈与と互酬性	市田
3	神話とアート	北米先住民の神話的世界観を紹介し、伝統文化の現代的あり方を考える。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：北米先住民の世界、文化資源、アメリカの文化人類学史	市田
4	婚姻	アフリカの牧畜民の世界を紹介し、多様な婚姻のあり方を考える。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：牧畜民の世界、婚姻	市田
5	通過儀礼	通過儀礼を通じてジェンダーが構築されていくあり方について紹介する。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：通過儀礼、ジェンダーと文化、女性婚	市田
6	女神の信仰	女神信仰について紹介し、文化により多様な女性のあり方を考える。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：ネパールの女神信仰、クマリ	市田
7	第3の性	第3の性について紹介し、文化により多様なジェンダーを考える。 授業方法：講義 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：第3の性、ヒジュラ、ファアファフィネ	市田
8	まとめ	講義内容について受講者が抱いた関心、疑問点を各自発表しディスカッションする。 授業方法：講義、ディスカッション 予習・復習：前述【３】を参照 キーワード：文化とはなにか	市田

科目名称	哲学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Philosophy	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	清水将吾					
科目担当者	清水将吾					

【１】　授業概要

哲学の基本的な学説と歴史的な経緯を学び、人間の理解を深め、哲学的なものの見方･考え方を学習する。哲理を用いて身の回りの事象を読み解く能力を養う。本科目は、看護実践の拠り所となる看護観の涵養や、看護哲学の理解に必要な基礎知識として直接つながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

・哲学の根本的な問題をめぐる主要な学説を理解できるようになる。
・哲学の根本的な問題について、哲学的思考を展開し、表現できるようになる。
・看護実践を志す自分自身の問題について、哲学的思考を展開し、表現できるようになる。
（看護学科ＤＰ　２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

それまでの授業を自分でふり返ることが重要となります。学説などの知識を復習で覚えるだけでなく、講義・グループワーク・ディスカッションなどで考えたことを自分自身で発展させていくことが不可欠です。そのようにして自分で発展させた考えを、書くということが強く推奨されます。自主的に書いたものの提出を高く評価します。毎回の復習（ふり返って書くこと）に必要な時間は１時間程度です。

【４】　関連科目

看護哲学、看護倫理学

【５】　評価方法

最終授業での論述（60%）、授業内の提出物（20%）、授業への貢献・自主的な提出物（20%）
提出物はコメントを付けて提出する。また、次回の授業で、特徴的な見解や誤解などについてコメントする。

【６】　教科書

資料をその都度配布します。

【７】　参考書

授業で参考文献を紹介します

【８】　オフィスアワー・連絡方法

木曜日の昼休み・メール連絡。

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	ガイダンス	授業の概要と進め方の説明。	清水将吾
2	世界とは何か？	西洋の世界観の歴史を概観し、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
3	私とは何か？	パスカル『パンセ』の抜粋を読み、解説し、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
4	真理とは何か？	デカルト『省察』の抜粋を読み、解説し、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
5	自由とは何か？	自由・選択といった問題ついての哲学説を紹介し、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
6	言葉とは何か？	言語についての現代における問題提起を紹介し、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
7	命とは何か？	命・意識・身体などをめぐる問題について哲学説を紹介し、ドキュメンタリー映像を観たうえで、グループワークとディスカッションを行う。	清水将吾
8	看護とは何か？	看護をテーマにしたディスカッションを行い、受講者が各自の論述を行う	清水将吾

科目名称	**倫理学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Ethics	選択	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	南孝典					
科目担当者	南孝典					

【1】　授業概要

倫理学の基本的な理論、社会における様々な規範の根拠について学習する。また、自身の規範的判断の理由を他者に判るよう説明できる能力を養う。本科目は、倫理ことはじめからつながり、看護実践の基盤となる倫理観の涵養や、看護倫理の理解に必要な基礎知識と直接つながる科目である。

【2】　学修目標（到達目標）

倫理学説の歴史的変遷について説明できる。
主要な思想家の倫理思想の違いについて述べることができる。
応用倫理学の扱う諸問題について、その問題の背景や構造を踏まえて自分の意見を表明することができる。
（看護学科ＤＰ　２，３，４）

【3】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

倫理学とは「善く生きるとは何か」、「個人の自由を尊重する社会のあり方はどのようなものか」といった根本問題を正面から考察した格闘の歴史です。それは、看護の専門科目とは違って、医療現場で直接役立つようなものではありません。それでも倫理の学説史を学ぶことは、看護実践の基礎となる看護観を形成する上で重要な作業に違いないので、そのつもりで能動的に受講するようにしてください。

倫理学の学説史にまったく触れたことのない人は、参考図書にあげた図書やそれ以外のものでもいいので読んでおいてください。また最終的な定期試験では、重要な思想家やその思想を説明した文章を読んでその人物名や概念を答える問題を予定しているので、授業後に1時間程度の復習の時間を設けるようにしてください。

講義の後半にはさまざまな応用倫理について解説した上で、こちらの提示する具体的な倫理問題について自分の考えを時間内に表明してもらいます。そのため、授業の前に該当する応用倫理の分野について自分が関心のある問題やそれについての考えを1時間程度の予習時間を設けて簡単にまとめておいてください。なお、意見の全体的な傾向や特徴的なコメントなどについては、次の授業の冒頭で解説します。また最終的な定期試験では、倫理問題についての記述試験も予定しているので、応用倫理の授業で取り上げた思想や問題について理解を深めるための1時間程度の復習時間を設けるようにしてください。

【4】　関連科目

哲学、社会学、文化人類学、看護哲学、看護倫理学

【5】　評価方法

応用倫理の授業内で書いてもらう四つの小レポート（20%）と定期試験（80%）をもとに総合的に判断し、60点以上を合格とする。なお授業内で作成してもらう小レポートは、次の講義の冒頭で、全体の主要な意見や特に気になった問題点などについてコメントする。

【6】　教科書

講義毎にプリント資料を配布する。

【7】　参考書

A.ピーパー『倫理学入門』文化書房博文社
宇都宮芳明編著『倫理学を学ぶ人のために』世界思想社
柘植尚則『入門・倫理学の歴史 24人の思想家』梓出版社
加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫
和辻哲郎『人間の学としての倫理学』岩波文庫
アリストテレス『ニコマコス倫理学 上・下』岩波文庫
R.ハーストハウス『徳倫理学について』知泉書館
加藤尚武編『徳倫理学基本論文集』勁草書房
関嘉彦編『世界の名著49 ベンサム / J.S.ミル』中央公論社
J.S.ミル『功利主義論集』京都大学学術出版会
I.カント『道徳形而上学原論』岩波文庫
I.カント『実践理性批判』岩波文庫
加藤尚武『環境倫理学のすすめ』丸善ライブラリー
鬼頭秀一『自然保護を問い直す』ちくま新書
P.シンガー『動物の解放』（技術と人間）
T.レーガン「動物の権利の擁護論」、小原秀雄監修『環境思想の系譜３』（東海大学出版会）所収
伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
今井道夫『生命倫理学入門』産業図書
伊藤晴夫『生殖医療の何が問題か』緑風出版
T.ビーチャム、J.チルドレス『生命医学倫理』成文堂
T.ホープ『医療倫理』岩波書店
H.クーゼ『ケアリング 看護・女性・倫理』メディカ出版
M.S.ローチ『アクト・オブ・ケアリング』ゆみる出版

【8】　オフィスアワー・連絡方法

火曜日の講義前後の空き時間はC館2階の講師控室にいます。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	倫理学1倫理学とは何か	哲学の一学科として古くから存在している倫理学をその起源から考察し、この学問の考察対象と倫理学内の理論区分について理解する。授業の進め方は、主にPowerPointを使って、配付資料に直接重要な語句を記入してもらう形で進めていく。	南 孝典
2	倫理学2 徳倫理学	規範倫理学の中でも最も古い徳倫理学について、古代ギリシアのアリストテレスから現代の徳倫理学に至るまでの議論を概観し、他の倫理学が主に人間の行為に焦点をあててきたのに対して、「善く生きる」とは何かを考察してきた徳倫理学独自の射程を理解する。授業の進め方は、主にPowerPointを使って、配付資料に直接重要な語句を記入してもらう形で進めていく。	南 孝典
3	倫理学3 功利主義	規範倫理学の中でも最も影響力を持つ功利主義について、J.ベンサムやJ.S.ミルの理論を中心に、彼らの人間観やこの思想が登場してきた背景にも注意しつつ、この倫理思想の意義を理解する。授業の進め方は、主にPowerPointを使って、配付資料に直接重要な語句を記入してもらう形で進めていく。	南 孝典
4	倫理学4 義務論	規範倫理学の中でも最も難解でありながら功利主義と同様の影響力を持つ義務論について、I.カントの議論を中心に、この倫理思想の重要な前提である「人格」や「尊厳」概念にも注意しつつ、この倫理思想の意義を理解する。授業の進め方は、主にPowerPointを使って、配付資料に直接重要な語句を記入してもらう形で進めていく。	南 孝典
5	応用倫理１　環境倫理	応用倫理の中でも最もよく知られたものの一つである環境倫理について、公害問題や自然保護運動などを端緒とするその登場の歴史的背景や、「世代間倫理」などの独自な倫理を示してきたこの倫理思想の意義を理解する。授業の進め方は、配付資料を使って倫理思想の解説をした上で、こちらが提示する具体的な環境問題について自分の考えを説明してもらいます。	南 孝典
6	応用倫理2 生命倫理	応用倫理の中でも既存の倫理学の枠組みでは対応できない問題があることを示してきた生命倫理について、主に動物倫理の問題と生殖医療の進歩に起因する倫理的問題を中心に、この倫理思想が格闘する問題を理解する。授業の進め方は、配付資料を使って倫理思想の解説をした上で、こちらが提示する具体的な生命倫理の問題について自分の考えを説明してもらいます。	南 孝典
7	応用倫理3 医療倫理	応用倫理の中でも看護と直接関係する医療倫理について、医療倫理の四原則や、「ヘルシンキ宣言」および「リスボン宣言」などの世界医師会による重要な医療倫理の宣言の意義を理解する。授業の進め方は、配付資料を使って倫理思想の解説をした上で、こちらが提示する具体的な医療倫理の問題について自分の考えを説明してもらいます。	南 孝典
8	応用倫理4 現代社会と倫理学	医療技術や資源の分配の問題を、正義や社会的公正性の側面から理解する。またこうした普遍的な道徳原則を追求する倫理学と対峙する形で登場してきたケアの倫理学の重要性も理解する。授業の進め方は、配付資料を使って関連するさまざまな問題の解説をした上で、こちらが提示する社会的公正性やケア・ケアリングの問題について自分の考えを説明してもらいます。	南 孝典

専門基礎教育科目

科目名称	人体の構造と機能Ⅰ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Structure and Function of Human BodyⅠ	必修	講義	1年･春	2単位	30時間
科目責任者	内ヶ﨑西作					
科目担当者	内ヶ﨑西作					

【1】 授業概要

人体の基本的な構造と機能を系統的に学ぶとともに、ホメオシタシスや生体を防御するしくみ、生命をつなぐ生殖、生物の証である個体の老化などについて学び、人間の身体内部で繰り広げられている生命活動、健康問題要因を理解する。
運動器：筋・骨格系（２回）／呼吸器（４回）／循環器（５回）／神経：中枢神経の構造・高次神経機能・運動系（４回）

【2】 学修目標（到達目標）

１）細胞や組織、臓器、人体の関連を説明できる。
２）主要な骨の名称や筋肉とそれらの関係、構造と機能について説明できる。
３）呼吸器系臓器の名称や構造と機能について説明できる。
４）血液の成分の名称と構造、機能について説明できる。
５）循環器系臓器の名称や機能と構造について説明できる。
（看護学科ＤＰ　１，２，４，５）

【3】 準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

予　習：指定教科書の当該学習箇所を読み、理解できない箇所をリストアップしておくこと。
講　義：講義では主に教科書の内容を扱い、授業計画に沿って進行する（進行具合により、内容が前後することあり）。教科書を持参すること。講義終了時には、その日の講義内容に関するリアクションペーパーを提出する。また初回を除き、講義開始時に前回の講義の内容についての5分程度の小テストを行う（小テスト開始に間に合わない場合には受験できない）。
復　習：理解できないところについては、質問したり各種参考書で確認し、疑問は必ず早期に解決しておくこと。
学習上の留意点：この講義で学ぶ内容は、看護・医療を学ぶ上での基礎となるものです。後にまとめて勉強しようとしてもなかなか難しいので、日々の予習・復習が非常に大切です（それぞれ１～２時間程度が必要です）。なお、人の身体の構造・機能を学ぶ上で、実際の人体・臓器を基に学ぶことは理解を深める上でとても重要です。講義の中では実際の解剖の写真を提示しながら進行します。例え写真であっても、人として、医療者を目指す者として、亡くなった方への礼や畏敬の念を忘れてはなりません。遺族が不快な思いをするようなことも慎まねばなりません（備考参照）。従って、いかなる理由であっても、講義の録画や講義中に提示した写真等の写真撮影をしてはなりませんし、これが理解できない学生は医療者として不適格です。録画・写真撮影が発覚した場合には、定期試験を受験できません。

【4】 関連科目

生物学、化学、健康科学概論、生化学、微生物学、疾病と治療、薬理学、看護専門科目

【5】 評価方法

定期試験（70%）、小テスト（20%）、講義への取り組み（出席・リアクションペーパー：10%）を総合的に評価する（パーセンテージはあくまでも目安）。
小テストについては講義の中で解説し、リアクションペーパーは次回の講義でコメントを付して返却する。

【6】 教科書

系統看護学講座　人体の構造と機能［１］解剖生理学　医学書院

【7】 参考書

○「コアテキスト 1　人体の構造と機能　第2版」下 正宗、前田 環 他 編　医学書院
○「カラー図解　人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版」坂井建男、河原克雅 編　日本医事新報社
○「やさしい生理学 改訂第6版」彼末一之、能勢 博 編　南江堂
「超カラー図解　看護自己学習　解剖生理学」渡辺正仁　森 禎章　金芳堂
「イラストでまなぶ解剖学」　松村 譲児　医学書院
「ポケットチューター 体表からわかる人体解剖学」南山堂
「プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版」医学書院
「カラー基本解剖アトラス」西村書店
「ぜんぶわかる人体解剖図 ― 系統別・部位別にわかりやすくビジュアル解説」坂井 建雄、 橋本 尚詞　成美堂出版
「世界一簡単にわかる人体解剖図鑑」坂井 建雄　宝島社
「解いてわかる解剖生理学　テキスト・問題集」（医学教育出版）　ほか解剖学・生理学に関する各種出版物
○印は、人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲ共通の参考図書

【8】 オフィスアワー・連絡方法

講義の前後。それ以外はメールに限る。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	導入・解剖生理学の基礎	内　　容：導入・解剖生理学の基礎 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p2～52を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：遺伝子・DNA・細胞・組織・臓器・人体・ホメオスタシス	内ヶ崎
2	運動器：筋・骨格系（１）	内　　容：運動器：筋・骨格系 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p299～308（可能ならそれ以降も）,525～530を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：骨格・骨の構造・骨の名称・関節	内ヶ崎
3	運動器：筋・骨格系（２）	内　　容：運動器：筋・骨格系 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p309～359（可能ならそれ以降も）, 525～530を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：骨格筋・体幹部・上肢・下肢	内ヶ崎
4	運動器：筋・骨格系（３）	内　　容：運動器：筋・骨格系 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p359～372を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：筋肉の構造・横紋筋・平滑筋	内ヶ崎
5	呼吸器（１）	内　　容：呼吸器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p99～106を読む（可能ならそれ以降も） 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：呼吸・上気道・下気道	内ヶ崎
6	呼吸器（２）	内　　容：呼吸器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p106～111（可能ならそれ以降も）,524～525を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：肺・区域・胸膜・縦隔	内ヶ崎
7	呼吸器（３）	内　　容：呼吸器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p111～120を読む（可能ならそれ以降も） 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：呼吸生理	内ヶ崎
8	呼吸器（４）	内　　容：呼吸器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p120～131を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：呼吸と血液・肺循環	内ヶ崎
9	血　液（１）	内　　容：血　液 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p131～148を読む（可能ならそれ以降も） 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：血液の組成・血球・血清・血餅・血漿	内ヶ崎
10	血　液（２）	内　　容：血　液 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p148～155を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：血液凝固・線容系・血液型	内ヶ崎

11	循環器（１）	内　　容：循環器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p158～165を読む（可能ならそれ以降も） 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：体循環・心臓・心房・心室・冠動脈	内ヶ崎
12	循環器（２）	内　　容：循環器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p165～182を読む（可能ならそれ以降も） 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：心拍動・刺激伝導系・心電図	内ヶ崎
13	循環器（３）	内　　容：循環器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p182～194（可能ならそれ以降も）,530～532を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：脈管・動脈・毛細血管・静脈	内ヶ崎
14	循環器（４）	内　　容：循環器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p194～215（可能ならそれ以降も）,531～532を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：血圧・チアノーゼ・低血圧・心不全	内ヶ崎
15	循環器（５）	内　　容：循環器 授業方法：講義（講義中に示すスライドから画像を除いたものを講義プリントとして配付する予定） 予　　習：教科書p215～218を読む 復　　習：各自のノートや講義プリントを見直し、教科書や参考書を読み直して、知識の習得に努めること。 キーワード：リンパ・リンパ管・浮腫	内ヶ崎

科目名称	人体の構造と機能Ⅱ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Structure and Function of Human BodyⅡ	必修	講義	1年･秋	2単位	30時間
科目責任者	熊澤武志					
科目担当者	熊澤武志					

【１】　授業概要

人体の基本的な構造と機能を系統的に学ぶとともに、ホメオシタシスや生体を防御するしくみ、生命をつなぐ生殖、生物の証である個体の老化などについて学び、人間の身体内部で繰り広げられている生命活動、健康問題要因を理解する。
　神経：末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（５回）／消化器：口腔から肛門（５回）／消化器：胆・肝・膵（３回）／生殖器（２回）

【２】　学修目標（到達目標）

1. 神経系の構造と機能について説明できる。
2. 自律神経系の構造と機能について説明できる。
3. 末梢神経の構造と機能について説明できる。
4. 感覚器の構造と機能について説明できる。
5. 皮膚の構造と機能を説明できる。
6. 生体の防御機構について説明できる。
7. 体温とその調節機構について説明できる。
8. ホルモンの種類・作用・調節機構について説明できる。
9. 中枢神経系の構造と機能について説明できる。
10. 脳の高次機能について説明できる。
11. 運動と感覚機能の伝導路について説明できる。

（看護学科ＤＰ　１，２，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

授業内容は多岐にわたりますが、小テスト、リアクションペーパー作成等に参加して、内容の整理・理解に努めて下さい。また、授業の中で補足資料を配付したり、次回の授業で取り扱う資料を事前に配付したりしますので、予習・復習を行う際に活用して下さい。なお、この授業で学ぶ内容は、看護を学ぶ上での基礎となるものです。小テストの勉強も含めて、予習1時間程度、復習2時間程度を費やします。

【４】　関連科目

生物学、化学、生化学、疾病と治療、薬理学、看護専門科目

【５】　評価方法

定期試験（60%）、小テスト（30%）、授業への取り組み（10%）を総合的に評価します。

【６】　教科書

系統看護学講座　人体の構造と機能［１］解剖生理学　　医学書院

【７】　参考書

「カラー図解　人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版」坂井建男、河原克雅 編，日本医事新報社
「トートラ人体解剖生理学」原書9版，佐伯由香，細谷安彦，高橋研一，桑木共之　訳編，丸善出版
「グレイ解剖学」原著第3版，Richard L. Drake 他 編，塩田浩平，秋田恵一 監修・監訳，エルセビア

【８】　オフィスアワー・連絡方法

質問は授業終了後あるいは随時電子メールで受け付けます。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（1）	内容：神経系の構造と機能 授業方法：講義 予習：テキストp.374～p.384を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：神経細胞、シナプス、興奮の伝導	熊澤
2	末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（2）	内容：自律神経系の構造と機能 授業方法：講義 予習：テキストp.250～p.260を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：交感神経、副交感神経、神経伝達物質、受容体	熊澤
3	末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（3）	内容：脊髄神経と脳神経の構造と機能 授業方法：講義 予習：テキストp.400～p.408を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：脊髄神経、脳神経	熊澤
4	末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（4）	内容：眼の構造と視覚 授業方法：講義 予習：テキストp.425～p.437を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：眼球、視細胞、視覚、眼筋	熊澤
5	末梢神経の構造・自律神経機能・感覚系（5）	内容：耳の構造と聴覚・平衡覚、味覚と嗅覚、疼痛 授業方法：講義 予習：テキストp.437～p.450を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：耳小骨、内耳、蝸牛、平衡覚、味蕾、嗅細胞、痛覚	熊澤
6	免疫（1）	内容：皮膚の構造と機能、生体の防御機構 授業方法：講義 予習：テキストp.452～p.466を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：皮膚、非特異的防御機構、特異的防御機構、胸腺	熊澤
7	免疫（2）	内容：生体の防御機構、体温とその調節 授業方法：講義 予習：テキストp.467～p.477を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：液性免疫、細胞性免疫、熱産生、熱放散、発熱	熊澤
8	内分泌（1）	内容：内分泌とホルモン、ホルモンの分泌機構 授業方法：講義 予習：テキストp.260～p.270を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：内分泌、ホルモン、視床下部、下垂体	熊澤
9	内分泌（2）	内容：ホルモンの分泌機構、甲状腺と副甲状腺、膵臓 授業方法：講義 予習：テキストp.270～p.278を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：甲状腺ホルモン、パラソルモン、インスリン、グルカゴン	熊澤
10	内分泌（3）	内容：副腎、性腺、その他の内分泌腺 授業方法：講義 予習：テキストp.278～p.288を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：カテコールアミン、糖質コルチコイド、電解質コルチコイド、性ホルモン	熊澤
11	内分泌（4）	内容：ホルモン分泌の調節、ホルモンによる代謝の調節 授業方法：講義 予習：テキストp.288～p.295を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：フィードバック、糖代謝、カルシウム代謝、ストレス	熊澤
12	中枢神経の構造・高次神経機能・運動系（1）	内容：脊髄の構造と機能、脳の構造と機能 授業方法：講義 予習：テキストp.385～p.391を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：脊髄、脊髄反射、脳幹、小脳	熊澤
13	中枢神経の構造・高次神経機能・運動系（2）	内容：脳の構造と機能 授業方法：講義 予習：テキストp.391～p.399を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：間脳、大脳、大脳皮質、脳脊髄液	熊澤
14	中枢神経の構造・高次神経機能・運動系（3）	内容：脳の高次機能 授業方法：講義 予習：テキストp.409～p.419を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理し、小テストの勉強をする キーワード：脳波、睡眠、記憶、本能、情動	熊澤

15	中枢神経の構造・高次神経機能・運動系（4）	内容：運動と感覚機能の伝導路 授業方法：講義 予習：テキストp. 419～p. 425を読む 復習：プリントとテキストを用いて整理する キーワード：錐体路、錐体外路、視覚伝導路、聴覚伝導路、体性感覚伝導路	熊澤

科目名称	生化学	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Biochemistry	必修	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	成末憲治					
科目担当者	成末憲治					

【１】　授業概要

生化学は、生物の生命現象を化学的手法により探究する学問である。生命現象を担う分子の構造・性質などの基本事項を習得する。生物の基本となる生体高分子（核酸・タンパク質〔酵素〕・糖質・脂質）や、その構成単位（ヌクレオチド、アミノ酸、単糖、脂肪酸など）の基本構造・性質、及び細胞内の遺伝情報の流れ（複製、転写、翻訳）について学ぶ。本科目は、生理学や疾患の理解、及び臨床栄養学へとつながる科目である。

【２】　学修目標（到達目標）

代表的な単糖、二糖、多糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。
解糖系、クエン酸回路、電子伝達系について説明できる。
代表的な脂質の種類、構造、性質、役割を説明できる。
脂肪酸の生合成とβ酸化について説明できる。
アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。
タンパク質の構造（一次、二次、三次、四次構造）と性質を説明できる。
多彩な機能をもつタンパク質（酵素、受容体、構造タンパク質、輸送タンパク質など）を列挙し概説できる。
酵素反応の特性を説明できる。
ヌクレオチドと核酸（DNA、RNA）の種類、構造、性質を説明できる。
DNAの複製の過程について説明できる。
DNAからRNAへの転写の過程について説明できる。
RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。
（看護学科ＤＰ　１，２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

講義前に授業スケジュールを確認し、教科書の該当部分を30分程度読む。小テストと定期試験に向けて、教科書と講義中に作成したノートを使って授業ごとに１時間程度復習する。必要に応じて、メディアセンターの参考書を用いて不足内容について知識を補う。

【４】　関連科目

生物学、人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

【５】　評価方法

定期試験（80%）、小テスト（20%）。小テストは授業中に行い、結果を返却する。

【６】　教科書

≪系統看護学講座≫生化学　人体の構造と機能２、三輪一智・中　恵一（医学書院）2014年

【７】　参考書

習志野メディアセンターには生化学の基礎から専門までの多くの書籍があるので参考にしてください。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

原則として随時（事前に連絡することが望ましい）。薬学部D館４階　D－420。narusue@phar.toho-u.ac.jp

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	糖質（1）	講義：単糖、二糖、多糖の種類、構造、性質、役割 予習：教科書の該当部分を読む。復習：教科書とノートを見返す。 キーワード：糖質、単糖	成末憲治
2	糖質（2）	講義：解糖系、クエン酸回路、電子伝達系 予習：教科書の該当部分を読む。復習：配布された小テストを解く。 キーワード：糖質代謝、グルコースの分解	成末憲治
3	脂質（1）	講義：脂質の種類、構造、性質、役割 予習：教科書の該当部分を読む。復習：教科書とノートを見返す。 キーワード：脂質、脂肪酸	成末憲治
4	脂質（2）	講義：脂肪酸の生合成とβ酸化 予習：教科書の該当部分を読む。復習：配布された小テストを解く。 キーワード：脂質代謝、脂肪酸の分解	成末憲治
5	タンパク質（1）	講義：アミノ酸の種類、構造、性質、役割、タンパク質の構造 予習：教科書の該当部分を読む。復習：教科書とノートを見返す。 キーワード：タンパク質、アミノ酸	成末憲治
6	タンパク質（2）	講義：多彩な機能をもつタンパク質、酵素反応の特性 予習：教科書の該当部分を読む。復習：配布された小テストを解く。 キーワード：酵素反応	成末憲治
7	核酸（1）	講義：核酸の材料としてのヌクレオチドの構造、DNAの基本構造と立体構造 予習：教科書の該当部分を読む。復習：教科書とノートを見返す。 キーワード：核酸、ヌクレオチド	成末憲治
8	核酸（2）	講義：DNA複製の基本的メカニズム、転写調節機構、タンパク質合成の概要 予習：教科書の該当部分を読む。復習：配布された小テストを解く。 キーワード：DNAの複製、転写、翻訳	成末憲治

科目名称	**微生物学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Microbiology	必修	演習	1年･秋	1単位	30時間
科目責任者	安齊洋次郎					
科目担当者	安齊洋次郎・五郎丸美智子					

【１】　授業概要

微生物学とは、真菌、細菌や藍藻類などの原核生物やウィルスなどの微少な生物を対象とし、主に生化学的な解析により微生物の構造や生態、他の生物への影響などを明らかにする学問である。微生物学の基礎知識、感染のメカニズム、病原微生物の特徴、生体防御機構、病原微生物の制御などについて理解する。さらに、グラム染色の方法、手指衛生に関する細菌学的検証などに関しては、実験方法を学び、感染予防対策の有効性の判断視点を深める。

【２】　学修目標（到達目標）

１．生物界における微生物の位置について理解し、説明できる。
２．人体と微生物との関わりについて説明できる。
３．微生物学の歴史について理解し、説明できる。
４．微生物の取り扱いについて理解し、説明できる。
５．微生物の種類と分類について理解し、説明できる。
６．微生物の細胞構造について理解し、説明できる。
７．微生物の増殖について理解し、説明できる。
８．微生物の遺伝について理解し、説明できる。
９．病原微生物の感染の成立（感染源、感染経路、侵入門戸など）について説明できる。
１０．病原微生物の病原因子について説明できる。
１１．主な微生物感染症およびその治療と予防について説明できる。
１２．微生物の基本的な取り扱い方法を説明、実施できる。
１３．滅菌、消毒および殺菌、静菌の概念を説明できる。
１４．グラム染色を実施できる。
１５．顕微鏡による観察が実施できる。
（看護学科ＤＰ　１，２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
この授業は、講義形式と実習形式で行います。講義については、予習１時間程度、復習１時間程度を費やします。実習については、予習は１時間程度を費やし、復習はレポートの作成となります。
【学習上の留意点】
事前に配布された講義資料や実習テキストなどをもとに、参考書を利用し、授業の内容について理解を深めること。更に食中毒や感染症等の微生物に由来する疾病やその他微生物についての新聞報道等に関心を持って接すること。

【４】　関連科目

生物学、薬理学、疫学と公衆衛生、感染看護

【５】　評価方法

定期試験（70%）、実習レポート（25%）、日々の学習状況（5%）
＊ただし、実習は原則として全日出席しなければならない。
フィードバック：実習レポートはコメントを記入し、後日返却する。定期試験は実施後に採点のポイントを掲示する。

【６】　教科書

講義では資料を配布する。実習では実習テキストを配布し、『系統看護学　専門基礎分野　薬理学（第１３版）』（医学書院）を使う。

【７】　参考書

加藤文男・西川朱實編　『薬科微生物学（第６版）』（丸善出版）
平松啓一監修　『標準微生物学（第１１版）』（医学書院）
松本哲哉・舘田一博監訳　リッピンコットシリーズ『イラストレイテッド微生物学（原書３版）』（丸善出版）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

問い合わせ先は原則として安齊（講義）および五郎丸（実習）とする。
安齊：原則として毎日。薬学部 微生物学教室
五郎丸：原則メールで連絡。michiko@phar.toho-u.ac.jp　薬学部総合実験部門　E113
その他の教員の所属　黒田、西口：薬学部総合実験部門、福本、飯坂：薬学部 微生物学教室

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	微生物とは	【授業内容】生物界における微生物の位置、生態系における微生物の分布と役割、人体と微生物との関わりについて 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】生命の起源、分解者、細菌叢	安齊
2	微生物学の歴史	【授業内容】自然発生説の否定、疾病との戦いについて 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】自然発生説の否定、レーウェンフック、パスツール、コッホ、ワクチン、化学療法剤	安齊
3	微生物の種類と分類	【授業内容】真菌、細菌、ウイルスの種類と分類について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】真菌、細菌、ウイルス	安齊
4	微生物の細胞構造と増殖	【授業内容】真核細胞（ヒト細胞、真菌細胞）、原核細胞（細菌細胞）、ウイルスの構造と増殖の相違について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】真核細胞、原核細胞、ウイルス粒子、分裂増殖、細胞寄生性	安齊
5	細菌細胞の構造と機能	【授業内容】グラム陽性細菌とグラム陰性細菌の違い、細胞表層の構造・機能・役割、細菌細胞質膜の機能について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】グラム陽性細菌、グラム陰性細菌、細胞表層構造、細胞壁、細胞質膜	安齊
6	細菌の増殖	【授業内容】細菌の増殖パターンならびに細菌の増殖条件について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】栄養増殖、増殖曲線、エネルギー源、栄養源、温度、ｐH、酸素分圧、VBNC	安齊
7	細菌の遺伝	【授業内容】細菌細胞間での遺伝情報の水平伝達について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】接合、形質転換、形質導入	安齊
8	感染と発症	【授業内容】感染と共生、病原微生物の病原因子について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】正常細菌叢、内因感染、外因感染、顕性感染、不顕性感染、感染経路、病原性、ビルレンス因子	安齊
9	細菌感染症	【授業内容】主な細菌感染症とその治療と予防について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】食中毒、肺炎、化膿、抗細菌薬、ワクチン	安齊
10	真菌・寄生虫感染症	【授業内容】主な真菌・寄生虫感染症とその治療と予防について 【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】真菌感染症、原虫感染症、寄生虫感染症、抗真菌薬、抗マラリア薬、駆虫薬	安齊
11	ウイルス感染症	【授業内容】主なウイルス感染症とその治療と予防【授業方法】講義 【予習】事前に配布された講義資料を読む 【復習】参考書を利用し、授業の内容について理解を深める 【キーワード】風邪症候群、後天性免疫不全症候群、ウイルス性肝炎、ウイルス性胃腸炎、抗ウイルス薬、ワクチン	安齊
12	微生物の実験方法、常在菌と手指衛生	【授業内容】顕微鏡の使い方、細菌の培養法、滅菌と消毒、常在菌と手指の消毒について 【授業方法】実習 【予習】事前に配布された実習テキストを読む 【復習】教科書や参考書を利用し、実習の内容をレポートにまとめる 【キーワード】滅菌、消毒、培養手指消毒の効果、細菌の培養、常在菌	安齊、五郎丸、黒田、福本、西口、飯坂
13	微生物の実験方法、常在菌と手指衛生	上記と同じ	上記と同じ

14	細菌の観察、抗菌薬の効果	【授業内容】手指の消毒の判定、グラム染色、薬剤感受性試験について 【授業方法】実習 【予習】事前に配布された実習テキストを読む 【復習】教科書や参考書を利用し、実習の内容をレポートにまとめる 【キーワード】グラム染色、抗細菌薬、抗菌スペクトラム	安齊、五郎丸、黒田、福本、西口、飯坂
15	細菌の観察、抗菌薬の効果	上記と同じ	上記と同じ

科目名称	**疾病と治療Ⅰ**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Pathophysiology and Treatment Ⅰ	必修	講義	1年･秋	2単位	30時間
科目責任者	蛭田啓之					
科目担当者	近藤元就・蛭田啓之・南木敏宏					

【1】 授業概要

疾患のなりたちを理解するうえで重要な基本的病変と生体防御機構について学ぶ。さらにこれらの基礎的事項を踏まえ、代表的疾患における病因・病態･診断･治療を理解する。疾病と治療Ⅰでは、病気の理解の基礎づくりのために病理学と免疫学を学習する。
（蛭田啓之／８回）病理学：概論、各論（先天異常、代謝異常、循環障害、炎症と免疫、感染症、腫瘍、老化と死）
（近藤元就／５回）（南木敏宏／２回）免疫学：概論、各論（抗原･抗体反応、炎症物質、免疫不全、アレルギー反応、自己免疫、ウィルス）

【2】 学修目標（到達目標）

Ⅰ．病理学（蛭田）
病理学とは「疾病の成り立ち(本質)を解明しようとする基礎医学」と「診断・治療を主体とした臨床医学」にまたがる科目である。ヒトの疾患を分類・整理するためには，病理学の修得が必須である．病理学の理解は，全臨床医学の理解の礎となる。
・病理学とは何かを自分の言葉で説明できる。
・臓器・組織の正常と病的状態について説明できる。
・種々の病的医学用語や病名に慣れ，病名について総論的に説明できる。
・疾病の成り立ちとその形態的・機能的変化を総論的・各論的に説明できる。
・循環障害の概念について代表的な疾患を挙げて説明できる。
・炎症の概念について代表的な疾患を挙げて説明できる。
・代謝障害の概念について代表的な疾患を挙げて説明できる。
・腫瘍の概念，発生機序，良悪性の鑑別，命名法について代表的な疾患を挙げて説明できる。
Ⅱ．免疫学（近藤）
・自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。
・抗原・抗体反応を説明できる。
・抗原受容体の多様性の成立機序を説明できる。
・予防接種の意義を説明できる。
・臓器移植時に起きる免疫反応を説明できる。（あと、炎症、免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患について）
Ⅲ．自己免疫疾患（南木）
・自己免疫疾患について説明できる。
・臓器特異的、及び全身性の自己免疫疾患の概略が説明できる。
（看護学科ＤＰ　１，２，５）

【3】 準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

本授業は疾病学・治療学の基本的な知識を習得し看護実践の基盤とすることをねらっているため、関連内容について予習に1時間程度、復習に1～2時間程度を必要とする。
Ⅰ．病理学（蛭田）
範囲が非常に広く，全臓器・多くの疾患が対象となっており，臨床各科の講義の基礎となる．事前に解剖・生理学で正常構造・機能を確認しておき，復習にあたっては，各疾患の診断・治療学に関連付けることを心がける。
Ⅱ．免疫学（近藤）
（免疫部分の）最初の講義前に遺伝子（対立遺伝子の理解）、及び遺伝子発現機構(分子生物学の遺伝子発現における　セントラルドグマ)についてあらかじめ確認をしておくこと（１時間程度)。各講義後には教科書、あるいは参考書　を参照し、知識の整理をすること（２時間程度）。
Ⅲ．自己免疫疾患（南木）
自己免疫疾患に関して理解するため、予習1時間程度、復習1時間程度を費やします。

【4】 関連科目

Ⅰ．病理学（蛭田）
解剖学・生理学・生化学・免疫学など，正常構造・機能を把握しておくこと。
Ⅱ．免疫学（近藤）
生化学（分子生物学の遺伝子発現におけるセントラルドグマなど）、遺伝学（対立遺伝子の理解など）の基礎的な知識を持っていることが望ましい。
Ⅲ．自己免疫疾患（南木）
自己免疫疾患を理解するためには、免疫学一般の知識が必要である。

【5】 評価方法

定期試験70%、小テスト・ミニッツ・ペーパー30%。小テストおよびミニッツ・ペーパーは、フィードバックする。

【6】 教科書

Ⅰ．病理学
系統看護学講座 専門基礎分野：疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学(第5版)，2015，医学書院
教科書以外に，講義の時に配布する資料を使用する。
Ⅱ．免疫学、Ⅲ．自己免疫疾患
看護学テキストNiCE 疾病と治療I　全身性／呼吸器系／循環器系／感染症／中毒／救急　2010　南江堂
看護学テキストNiCE 疾病と治療II　消化器系／代謝・内分泌系／血液・造血器系／アレルギー／膠原病　2010　南江堂

【7】　参考書

Ⅰ．病理学
豊國，高橋監訳；ロビンス 基礎病理学 原書第９版：丸善出版，東京，2014
坂本，北川，仁木編；標準病理学 第4版：医学書院，東京，2010
深山，小田，坂本他 編；組織病理アトラス 第６版：文光堂，東京，2015
深山編；病理組織マップ&ガイド:文光堂，2014
坂本，北川，菅野著；組織病理カラーアトラス 第2版：医学書院，東京，2015
Ⅱ．免疫学
休み時間の免疫学　第２版　齋藤紀先著　講談社　2012年
リッピンコットシリーズ　イラストレイテッド免疫学　原書２版　矢田、高橋監訳　丸善出版　2013年
エッセンシャル免疫学　第３版　笹月健彦監訳　メディカルサイエンスインターナショナル　2016年
Ⅲ．自己免疫疾患（南木）
自己免疫疾患を理解するためには、免疫学一般の知識が必要である。

【8】　オフィスアワー・連絡方法

蛭田：講義終了時もしくはメールでの問い合わせ
近藤：講義終了時もしくはメールでの問い合わせ
南木：メールでの連絡をお願いします。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	病理学序論・病因論	授業方法：講義．1～8は全てスライド(PowerPoint)と配布資料によって行われる． 内容：細胞傷害，適応と変性，修復を含む． キーワード：病理，病因，細胞障害，肥大・過形成・化生，変性・壊死，肉芽・瘢痕	蛭田
2	腫瘍1	授業方法：講義 内容：腫瘍総論を主体に，臓器ごとの各論をまじえておこなう． キーワード：腫瘍の病理・病態，腫瘍の病因・疫学，病理診断・治療．	蛭田
3	腫瘍2	授業方法：講義 内容：同上 キーワード：同上	蛭田
4	腫瘍3	授業方法：講義 内容：同上 キーワード：同上	蛭田
5	循環障害1	授業方法：講義 内容：循環障害総論を主体に，循環器疾患各論・病因と病態をまじえておこなう． キーワード：循環障害，血栓・塞栓，虚血・梗塞，出血	蛭田
6	循環障害2	授業方法：講義 内容：同上 キーワード：同上	蛭田
7	炎症・免疫・感染症	授業方法：講義 内容：自己免疫性疾患以外の各臓器の炎症性・感染性疾患． キーワード：炎症，感染症	蛭田
8	代謝障害・その他	授業方法：講義 内容：代謝性疾患と炎症． キーワード：代謝障害	蛭田
9	免疫学序論	授業方法：講義 内容：自然免疫と獲得免疫について概説する。また、予防接種の意義を例示する。 予習：遺伝子、及び遺伝子発現機構についてあらかじめ確認をしておくこと。 キーワード：抗原―抗体反応、遺伝子再構成	近藤
10	抗原と抗体	授業方法：講義 内容：獲得免疫の中の液性免疫について概説する。 キーワード：サイトカイン、ケモカイン、ホーミング	近藤
11	細菌感染免疫反応	授業方法：講義 内容：細菌感染時に生じる炎症、好中球等の炎症部位への動員の仕組みを中心として生体防御の実際を概説する。 キーワード：抗原提示、TCR、細胞傷害性T細胞	近藤
12	ウイルス感染に対する免疫反応	授業方法：講義 内容：ウイルス感染に対する生体防御反応の実際を、T細胞を中心として概説する。 キーワード：MHC、急性拒絶反応、慢性拒絶反応、免疫抑制剤	近藤
13	移植と免疫	授業方法：講義 内容：輸血、あるいは臓器移植時に起こる免疫反応、および治療として用いる免疫抑制剤について解説する。 キーワード：	近藤
14	自己免疫疾患（臓器特異的）	授業方法：講義 内容：自己免疫疾患の概略、臓器特異的自己免疫疾患の概略 キーワード：臓器特異的自己免疫疾患	南木
15	自己免疫疾患（全身性）	授業方法：講義 内容：全身性自己免疫疾患の概略 キーワード：全身性自己免疫疾患	南木

科目名称	**薬理学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Pharmacology	必修	講義	1年･秋	2単位	30時間
科目責任者	田中芳夫					
科目担当者	田中芳夫・宮内正二					

【１】　授業概要

薬物療法は多用される治療方法のひとつであり、薬物の特徴、作用機序、人体への影響について理解することは重要である。そこで本科目では、薬物の作用（薬理作用）、作用機序、作用点や薬効発現あるいは相互作用の要因となる吸収、分布、代謝、排泄など、薬理学の基礎的な知識を学ぶ。また、治療戦略（治療効果）、薬の副作用や禁忌などの薬物治療学的知識を習得する。
（田中芳夫／１１回）薬理学総論、末梢神経系作用薬、中枢神経系作用薬、心臓・血管系作用薬、血管造血系作用薬、呼吸器・消化器・生殖器系作用薬、物質代謝作用薬、抗アレルギー・抗炎症薬、抗感染症薬、抗がん薬、免疫治療薬など
（宮内正二／４回）薬物の体内動態（吸収・分布・代謝・排泄）、薬物相互作用

【２】　学修目標（到達目標）

1. 薬物治療の意義（有益性）と問題点（危険性）を説明できる。
2. 薬物の作用点を分類し、その構造的及び機能的な特徴を説明できる。
3. 代表的な疾患に適用される薬物の薬理作用、作用機序、副作用について説明できる。
4. 代表的な薬物相互作用について具体例を挙げて説明できる。
5. 薬物の吸収･分布･代謝･排泄および薬効に影響する因子について説明できる。

（看護学科ＤＰ　１，２，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

・薬理学では、薬物治療の基礎と応用を幅広く学びます。また、化学、生物学、解剖学、生理学、病理学など他の学問領域とも密接に関連しています。従って、基本的な知識や考え方を効果的かつ体系的に身につけるためには、講義には必ず出席してこれを上手く活用することが必要です。
・講義を受講する前には、学習する範囲を予め教科書で調べておきアウトラインを知っておくことが必要です。予習には1～2時間を費やします。
・受講後は必ず復習を行い、学んだ知識や考え方の確認をするとともに、講義の受講だけでは理解が不十分だった項目を教科書や参考書を使って疑問点を解消することが大切です。そのための復習には1～2時間を費やします。

【４】　関連科目

・予め学んでおくと良い科目：「生物学」、「化学」、「人体の構造と機能」
・この科目に続く内容の科目：「病態と治療」

【５】　評価方法

・MCQ（多項選択式問題）による試験を行います。評価は、試験結果、受講態度、レポート、出欠・遅刻状況を考慮して総合的に行います。
田中芳夫：70％分を定期試験、受講態度等を考慮して評価する。
宮内正二：30％分を主に定期試験で評価するが、受講態度等も評価に含まれる。
フィードバック方法：正答と簡単な講評を公表する。

【６】　教科書

・「系統看護学講座 専門基礎 疾病のなりたちと回復の促進［3］薬理学 第13版」吉岡充弘・泉剛・井関健（医学書院　2016年）

【７】　参考書

・「パートナー薬理学（改訂2版）」重信弘毅　監修；石井邦雄・栗原順一　編（南江堂）
・「NEW 薬理学（改訂6版）」田中千賀子・加藤隆一　編（南江堂）
・「図解薬理学」鍋島俊隆・井上和秀　編（南江堂）
・「集中講義 薬理学（改訂2 版）」渡邊康裕　編集（メジカルビュー）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

・講義担当教員にメールで事前に連絡してください。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	薬理学総論	【内容】薬物の使用目的、薬の作用点、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律 【授業方法】講義 【予習】教科書p.03～p.13、p.15～p.22、p.46～p.58を読む 【復習】章末問題（p.13、p.52）を解く。 【キーワード】薬、薬理学、薬物療法、受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター、作動薬、拮抗薬、用量反応曲線、主作用、副作用、耐性、薬物依存、治験、ヘルシンキ宣言、二重盲検法	田中芳夫
2	末梢神経系作用薬	【内容】交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.131～p.150を読む 【復習】章末問題（p.150）を解く。 【キーワード】交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	田中芳夫
3	中枢神経系作用薬（1）	【内容】全身麻酔薬、睡眠薬・抗不安薬、抗精神病薬、 【授業方法】講義 【予習】教科書p.151～p.169を読む 【復習】章末問題（p.181～182）を解く。 【キーワード】全身麻酔薬、ベンゾジアゼピン系薬、GABA受容体、定型薬、非定型薬、	田中芳夫
4	中枢神経系作用薬（2）	【内容】抗うつ薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.169～p.182を読む 【復習】章末問題（p.182）を解く。 【キーワード】SSRI、レボドパ、バルプロ酸、アヘンアルカロイド	田中芳夫
5	心臓・血管系に作用する薬物（1）	【内容】抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.183～p.206を読む 【復習】章末問題（p.219）を解く。 【キーワード】カルシウム拮抗薬、ACE阻害薬、ARB、強心薬	田中芳夫
6	心臓・血管系に作用する薬物（2）	【内容】抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物 【授業方法】講義 【予習】教科書p.207～p.220を読む 【復習】章末問題（p.220）を解く。 【キーワード】ボーン=ウィリアムズ分類、ループ利尿薬、スタチン系薬、貧血治療薬、造血因子関連薬、白血病治療薬、抗血液凝固薬、血栓溶解薬、抗血小板薬、止血薬	田中芳夫
7	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	【内容】呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、生殖器系に作用する薬物 【授業方法】講義 【予習】教科書p.222～p.240を読む 【復習】章末問題（p.239～240）を解く。 【キーワード】気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬、性ホルモン代用薬、排尿障害治療薬、前立腺肥大治療薬	田中芳夫
8	物質代謝に作用する薬物 皮膚科用薬・眼科用薬	【内容】ホルモンとホルモン拮抗薬、皮膚に使用する薬物、眼科外用薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.241～p.256、p.257～p.268を読む 【復習】章末問題（p.256、p.268）を解く。 【キーワード】糖尿病治療薬、抗甲状腺薬、視床下部ホルモン、脳下垂体ホルモン、骨粗鬆症治療薬、ビタミン製剤、皮膚疾患治療薬、緑内障治療薬	田中芳夫
9	抗アレルギー薬・抗炎症薬	【内容】抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.113～p.129を読む 【復習】章末問題（p.129）を解く。 【キーワード】H1受容体遮断薬、抗アレルギー薬、NSAIDs、副腎皮質ステロイド薬、抗リウマチ薬、分子標的薬、尿酸生成抑制薬、尿酸排泄促進薬、片頭痛治療薬	田中芳夫
10	抗感染症薬	【内容】感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.61～p.88を読む 【復習】章末問題（p.87～p.88）を解く。 【キーワード】βラクタム系抗菌薬、アミノグリコシド系抗菌薬、テトラサイクリン系抗菌薬、マクロライド系抗菌薬、ニューキノロン系抗菌薬、サルファ薬、抗結核薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬	田中芳夫

11	抗がん薬・免疫治療薬	【内容】抗がん薬各論、免疫治療薬、予防接種薬 【授業方法】講義 【予習】教科書p.89～p.100、p.101～p.112を読む 【復習】章末問題（p.100、p.112）を解く。 【キーワード】アルキル化薬、代謝拮抗薬、抗生物質、植物アルカロイド、性ホルモン代用薬及び性ホルモン拮抗薬、分子標的薬、免疫抑制薬、免疫増強薬、予防接種薬	田中芳夫
12	薬の体内の挙動（１）	【内容】薬物の投与経路、薬物の吸収、薬物の分布 【授業方法】講義 【予習】教科書p.22～p.30を読む。 【復習】章末問題（p.38）を解く。 【キーワード】ADME、投与経路、受動拡散、トランスポーター、初回通過効果、バイオアベイラビリティ、タンパク結合、血中濃度時間曲線下面積（AUC)、	宮内正二
13	薬の体内の挙動（２）	【内容】薬物の代謝と排泄 【授業方法】講義 【予習】教科書p.31～p.34を読む。 【復習】章末問題（p.38）を解く。 【キーワード】１次反応速度論、肝代謝、シトクロムP450、遺伝子多型、胆汁排泄、尿中排泄、糸球体濾過	宮内正二
14	薬の体内の挙動（３）	【内容】治療において重要となる薬物動態の指標（動態学的パラメータ） 【授業方法】講義 【予習】教科書p.34～p.38を読む。 【復習】章末問題（p.38）を解く。 【キーワード】分布容積、全身クリアランス、生物学的半減期、定常状態血中濃度、TDM	宮内正二
15	薬の体内の挙動（４）	【内容】薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子 【授業方法】講義 【予習】教科書p.38～p.46を読む 【復習】章末問題（p.41、p.46）を解く。 【キーワード】薬物動態学的相互作用、遺伝子多型、薬力学的相互作用、	宮内正二

科目名称	**薬剤学**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Pharmaceutical Sciences	必修	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	石井敏浩					
科目担当者	石井敏浩・野口修治					

【1】 授業概要

薬物が人体に適切かつ有効に作用するためには、その目的に合った形状と機能を満たす“製剤”にする必要がある。そこで本科目では、固形剤、半固形剤、液剤などの剤形とその特徴について学び、薬物療法の有効性，安全性，信頼性の根拠となることを理解する。また、薬害問題や治験などを学び、最適な薬物療法と患者のQOLについて考える契機とする。
（野口修治／4回）処方箋と医薬品の剤形、薬物の取り扱いなど
（石井敏浩／4回）薬害問題、治験、新薬とジェネリックなど

【2】 学修目標（到達目標）

1. 代表的な固形製剤について説明できる。
2. 代表的な液剤、半固形剤、およびDDS技術について説明できる。
3. 剤形の違いによる薬物取扱いの特徴について説明できる。
4. 薬害の定義について説明できる。
5. 代表的な薬害の具体例を2つ以上説明できる。
6. 薬害防止対策について2つ以上説明できる。
7. 治験を含む臨床研究など、人間を被験者とする医学系研究に係る倫理規範の変遷について3つのキーワードを用いて説明できる。
8. 医薬品開発の2段階（非臨床試験、臨床試験）について説明できる。
9. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の社会的意義について2つ以上説明できる。
10. 後発医薬品（ジェネリック医薬品）と先発医薬品の違いについて2つ以上説明できる。

（看護学科ＤＰ　１，２，５）

【3】 準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

シラバスに記載した項目を予習してくること。この授業は薬物療法について幅広く理解するよう構成しているため、予習30分程度、復習30分程度を費やします。
事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通してくること。
授業で得た知識をもって医薬品に関わる社会的事柄を自ら考え、看護師として求められる知識・技能・態度の修得に向けて意識を高めること。

【4】 関連科目

薬理学、微生物学、生化学、看護の基本技術Ⅲ

【5】 評価方法

定期試験（70%）、課題（20%）、日々の学習状況・ミニッツペーパー（10%）。
授業中の小テスト・レポートは、次回の授業で、解答ならびに課題の中の特徴的な見解についてコメントする。

【6】 教科書

講義資料（ハンドアウト）をWeb掲示板に掲載する。また、資料を授業の時に配布する。

【7】 参考書

なし

【8】 オフィスアワー・連絡方法

石井敏浩：随時（事前にメールで連絡のこと）
野口修治：随時（事前にメールで連絡のこと）

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	製剤(1)	経口固形製剤の基礎・薬物の固体物性 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：粉体、結晶、塩、粒子径	野口
2	製剤(2)	経口固形製剤の製造・評価方法および取扱い 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：錠剤、散剤、カプセル剤、	野口
3	製剤(3)	液体および半固形製剤の基礎 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：pH、 浸透圧、化学的安定性、配合変化	野口
4	製剤(4)	液体および半固形製剤の製造・評価方法および取扱い 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：注射剤、クリーム、点眼剤, 抗体医薬品、Drug delivery system	野口
5	薬害	薬害の定義と代表的な薬害例の原因・薬害防止対策 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：薬害、非加熱血液製剤	石井
6	治験	人間を被験者とする医学系研究に係る倫理規範 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：ニュールンベルク綱領、ヘルシンキ宣言、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	石井
7	新薬の開発	医薬品（新薬）が世に出るまで 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：新薬、GCP	石井
8	後発医薬品（ジェネリック医薬品）	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の意義と課題 講義 予習：事前にWeb掲示板に掲載された講義資料に目を通すこと。 復習：適宜、配布された問題（時にレポート）を解いてくる。 キーワード：生物学的同等性	石井

専門教育科目

科目ナンバリング：NN201
トランスレーショナル看護領域　（授業コード：82240）

科目名称	**看護学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Nursing	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	遠藤英子					
科目担当者	浅野美知恵・遠藤英子					

【１】　授業概要

看護学の主要な概念である人間、健康、環境、社会、看護、擁護に関連する基本的な考え方、看護独自の機能と役割、活動方法など看護学の基礎知識を学ぶ。さらに、看護の歴史的変遷から看護の本質と展望について考察する。
（遠藤英子／６回）健康の概念、人間の健康生活と環境／社会との関係、人間の概念、看護独自の機能と役割、保健医療福祉システム
（浅野美知恵／２回）看護の歴史的変遷、保健医療チームにおける看護職の役割、看護の本質と展望

【２】　学修目標（到達目標）

①看護の歴史について説明できる。
②先人の看護の理論家にみる看護の定義を述べることができる。
③「健康」について述べることができる。
④看護の機能と役割について
a. 「看護ケア」について述べることができる。
b. 看護実践と質基準について述べることができる。
c. 現代社会における疾病構造の変化と看護について述べることができる。
d. 看護活動について述べることができる。
⑤看護の継続性と情報共有について
a. 入院にまつわる情報共有について述べることができる。
b. 保健医療チームの連携について述べることができる。
c. 在宅療養を可能にする連携について述べることができる。
⑥看護の対象理解
a. 人体の構造と機能・病態との関連について述べることができる。
b. 人間の危機理論について述べることができる。
c. コーピング理論について述べることができる。
d. 人間のニードに関する理論（マズローの欲求階層）を述べることができる。
e. 発達し続ける存在としての人間について述べることができる（身体・心理・社会）。
f. 生活者としての人間、看護の対象者としての集団・地域との関連について述べることができる。
⑦看護の本質と社会環境の観点から看護学の発展について考察を記述することがでる。
⑧看護の提供者について述べることができる。
⑨看護ケアにおける倫理的配慮について述べることができる。
（看護学科ＤＰ　１，２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

１回ごとの授業の時間は密度が高くなります。看護学全般に関連する科目であることから、毎回の授業の内容整理を復習とし、さらに疑問点をキーワードから検索し予習とする。これらに費やす時間は各学生により異なりますので、学修目標の達成を目指して努力してください。

【４】　関連科目

健康科学概論、看護学に関する科目全般

【５】　評価方法

定期試験70％、授業の中での課題への取り組み30％
試験の解答提示、レポートに関してはコメントにてフィードバックする。

【６】　教科書

松木光子　著：看護学概論　ヌーヴェルヒロカワ
ヴァージニア・ヘンダーソン著　湯槙ます訳：『看護の基本となるもの』
Florence Nightingale　著　湯槙ます訳：『看護覚え書』　現代社

【７】　参考書

杉田暉道　著：系統看護学講座　別巻　看護史　　医学書院
アブラハムHマスロー著　上田吉一訳：『完全なる人間』　誠心書房

【８】　オフィスアワー・連絡方法

事前にメールあるいは授業終了後連絡のこと。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	看護とは	内容： 1.健康の概念 2.看護の定義（理論家・看護職能団体） 3.社会の変化と健康観 4.看護職と法 方法：講義 キーワード：健康観、健康の段階、看護とは（法的側面、定義）、成長、発達、行動様式、	遠藤
2	看護の歴史	内容： 1. 看護専門職の始まりと発展 2. 看護の質保証の取りくみの変遷 3. 看護学の発展 方法：講義、グループワーク 予習：授業内容に関連の書籍を読む。 復習：授業内容の整理。作成した問いについて提出。 キーワード：看護の機能、社会、環境、職業人、専門職、ナイチンゲール、看護活動、看護学、実践の科学、教育方法、基本技術、法、施策、科学的、エビデンス、看護研究	浅野
3	看護の対象（1）	内容： 1. 人と環境 2. 発達しつづける存在としての対象 3. 人々の健康状態 方法：講義 キーワード：エリクソン、ピアジェ、 生活統合体としての人、発達段階、発達課題、生活、基本的欲求、マスローの欲求階層、人口構造、疾病構造	遠藤
4	看護の対象（2）	内容： 1. 患者の心理 2. 環境の変化と対処機制 方法：講義・グループワーク キーワード：ホメオスターシス、防衛機制、コーピング	遠藤
5	看護の機能と役割（1）	内容： 1. 看護ケアと倫理 2. 医療専門職の倫理規定 3. 保健医療福祉システムと看護 方法：講義・グループワーク キーワード：、守秘義務の遵守、基本的人権の擁護（インフォームドコンセント・ノーマライゼーション・自己決定権・個人情報の保護）、看護の倫理綱領、福祉制度、包括的保健医療提供システム	遠藤
6	看護の機能と役割（2）	内容： 1. 看護診断の共通言語 2. 看護診断過程 3. 看護と経済性 方法：講義 キーワード：看護の共通言語、看護研究と実践、看護活動、看護アセスメント、看護実践過程、看護記録	遠藤
7	看護の展望	内容： 1. 保健医療チームにおける看護職の役割 2. 看護の本質と展望 方法：講義、グループワーク・発表・討議 予習：課題について3分間の発表ができるようにグループで準備する。 復習：授業内容の整理。作成した問いに対する解答の提出。 キーワード：看護活動、保健医療、チーム活動、継続看護、地域包括、価値観の多様性、人口構造の変化、グローバル化	浅野
8	看護管理	内容： 1. 看護管理の目的と過程 2. 医療安全 3. 看護関連の制度 4. サービスとしての看護 方法：グループワーク、発表、全体討議　　講義（まとめ） キーワード：職業倫理、サービス、診療報酬、看護業務の特性と医療事故、教育制度、医療保険制度、介護保険制度、看護政策、医療提供体制	遠藤

科目名称	**臨床看護学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Clinical Nursing	必修	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	長谷川真美					
科目担当者	長谷川真美					

【１】　授業概要

臨床看護は、看護が提供される場（臨床）において行われる看護実践を意味し、看護の専門領域の実践の基盤ともなる。本科目では、臨床における看護の対象である人々（主に成人期にある人）の特徴、看護職の役割、看護の主要な理論・概念、健康問題に応じた看護、機能障害のある人への看護について、基礎知識と援助方法について学ぶ。

【２】　学修目標（到達目標）

1. 成人期にある人の特徴が説明できる。
2. 青年期の健康問題が3つ以上あげられる。
3. 壮年期の健康問題が3つ以上あげられる。
4. 向老期の健康問題が3つ以上あげられる。
5. 臨床看護における職の役割が説明できる。
6. 健康をおびやかす要因が5つ以上あげられる。
7. ヘルスプロモーションのための看護のポイントがあげられる。
8. 生活の破綻から回復を促す看護のポイントがあげられる。
9. 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護のポイントがあげられる。
10. 障害がある人の生活とリハビリテーションの看護のポイントがあげられる。
11. 人生最後の時を支える看護のポイントがあげられる。

（看護学科ＤＰ　１，２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

予習には60分程度、復習には60分程度を要する。この授業は主に成人期にある人の健康について学ぶ科目である。成人期には講義に参加する学生やその家族の方々の多くが含まれる。講義に参加するにあたっては単純に知識を学習するのでなく自分の回りにいる多くの方々の生活をイメージしながら健康問題を考えることを期待している。

【４】　関連科目

看護学概論　トランスレーショナルへの挑戦　看護理論　機能障害のある患者への看護　周手術期・急性重症患者看護　がん看護・緩和ケア　発達看護論

【５】　評価方法

定期試験　70％　課題レポート　20％　日々の学習状況　10％
次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。

【６】　教科書

小松浩子ほか：系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論,　医学書院

【７】　参考書

適宜提示する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

講義日、事前に予約を取ること。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	成人期にある人の特徴	内容： 大人であることの意味 成人の生活と労働 成人の生活と家族 臨床看護における看護師の役割 予習：大人であることの条件についての情報収集 復習：学習課題を提示する キーワード：大人　生活　労働　家族　看護職の役割	長谷川
2	成人各期の特徴と健康問題（1）	内容： 青年期の健康問題 青年期の健康支援 予習：国民衛生の動向から青年期の健康問題についてのデータ検索 復習：学習課題を提示する キーワード：発達課題、死因、受療率、学校保健	長谷川
3	成人各期の特徴と健康問題（2）	内容： 壮年期・向老期の健康問題 労働者の保険 予習：国民衛生の動向から壮年期・向老期の健康問題についてのデータ検索 復習：学習課題を提示する キーワード：発達課題、死因、受療率、労働保健、	長谷川
4	看護アプローチの基本	内容： おとなの健康行動と健康問題へのプローチ 看護におけるマネジメントと倫理的判断 意思決定支援 家族支援 予習：教科書当該部分を読み疑問点を取り出す、意思決定支援についてデータ検索 復習：学習課題を提示する キーワード：健康行動　患者看護師関係　集団　チームアプローチ　リスクマネジメント　倫理的判断　意思決定支援　家族アセスメント　家族支援	長谷川
5	健康レベルに応じた看護（1）	内容： ヘルスプロモーションと看護 健康をおびやかす要因と看護 予習：教科書当該部分を読み疑問点を取り出す、自分の生活習慣について改善すべき点を見つける 復習：学習課題を提示する キーワード：ヘルスプロモーション　健康づくり　健康バランス要因　生活習慣病　ストレス　飲酒・喫煙　肥満　生活環境　感染症	長谷川
6	健康レベルに応じた看護（2）	内容： 生活の破綻から回復を促す看護 治療過程と看護援助 予習：教科書当該部分を読み疑問点を取り出す、危機モデルについて調べる 復習：学習課題を提示する キーワード：生命危機　危機介入　合併症　急性疼痛　疼痛コントロール　合併症予防　モニタリング　ボディイメージ　予期的悲嘆　ソーシャルサポート	長谷川
7	健康レベルに応じた看護（3）	内容： 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護 障害がある人の生活とリハビリテーションの看護 学習者である患者への支援 退院支援 予習：教科書当該部分を読み疑問点を取り出す、オレムのセルフケアおよびバンデューラの自己効力感について調べる 復習：学習課題を提示する キーワード：病みの軌跡　セルフケア　セルフマネジメント　エンパワーメント　　障害　リハビリテーション　症状マネジメント　IASMエンパワーメント・エデュケーション　コンプライアンス	長谷川
8	健康レベルに応じた看護（4）	内容： 人生最後の時を支える看護 症状マネジメント 新たな治療法と看護 病気との共生を促す看護 予習：教科書当該部分を読み疑問点を取り出す、トータルペインについて調べる 復習：学習課題を提示する キーワード：緩和ケア　ホスピス　死の判定　トータルペイン　デス・エデュケーション　退院支援　ヘルスリテラシー　がんとの共生　低侵襲性医療　先端医療	長谷川

科目名称	**看護理論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Nursing Theory	必修	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	浅野美知恵					
科目担当者	浅野美知恵・林ひろみ・臼井雅美・近藤陽子					

【１】　授業概要

看護実践の基盤となる主要な看護理論について、理論の分類、ニード理論、人間関係論、セルフケア理論などの主要な看護理論の歴史的変遷、特徴、背景、構成要素、看護の主要概念（人間、健康、環境／社会、看護）との関連、実践への適用と課題などを分析的に学び、看護理論の理解を深める。
（浅野美知恵／２回）看護理論についての概説
（近藤陽子／２回）ニード論などの概説と実践への展望
（林ひろみ／２回）人間関係論などの概説と実践への展望
（臼井雅美／２回）セルフケア論などの概説と実践への展望

【２】　学修目標（到達目標）

①看護理論の定義と分類を説明できる。
②ナイチンゲール看護論について看護の主要概念を用いて説明できる。
③ニード論の特徴と実践への適用方法を具体的に説明できる。
④ヘンダーソン看護論について具体的に説明できる。
⑤ケアリング論の特徴を具体的に説明できる。
⑥人間関係論の特徴と実践への適用方法を具体的に説明できる。
⑦ペプロー看護理論について具体的に説明できる。
⑧システム論の特徴と実践への適用方法を具体的に説明できる。
⑨キング看護理論について具体的に説明できる。
⑩セルフケア論の特徴と実践への適用方法を具体的に説明できる。
⑪オレム看護理論について具体的に説明できる。
⑫適応論の特徴と実践への適用方法を具体的に説明できる。
⑬ロイ看護理論について具体的に説明できる。
⑭各理論の相違について、理論の構成要素と実践への適用の観点から論述できる。
⑮看護理論の実践への適用における倫理的課題と対応について論述できる。
（看護学科ＤＰ　１，２）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
本授業は看護理論を理解することをとおして看護を探究し自らの看護観を深めることをねらっているため、看護理論の関連内容について予習に1時間程度、復習に1.5時間程度必要である。
看護理論に関しては、関連の書籍を活用して予習・復習をして臨むこと。
【学習上の留意点】
看護理論について、各理論の書籍を活用して理解を深める。

【４】　関連科目

哲学、心理学、社会学、看護学概論、専門教育科目全般、臨地実習科目全般

【５】　評価方法

定期試験80%、課題レポート20%
定期試験は、特徴的な見解や誤解についてコメントする。レポートは、結果を返却する。

【６】　教科書

筒井真優美編：看護学テキストNiCE､看護理論、改訂第2版、看護理論20の理解と実践への応用、南江堂､2015
V.ヘンダーソン（湯槙ます　ほか、　看護の基本となるもの　　日本看護協会出版

【７】　参考書

授業時にその他の関連文献を紹介する。
太田喜久子、筒井真優美監訳：フォーセット看護理論の分析と評価、新改訂版、医学書院、2008
中木高夫、川崎修一訳：看護における理論構築の方法、医学書院、2008
Fawcett Jacqueline(1984): Analysis and evaluation of Conceptual Models of Nursing. F. A. Dav
小島操子監訳：看護モデルの理解―分析と評価、医学書院、1990
筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価、医学書院、2015
池田　明子他訳：ペプロウ看護論　看護実践における対人関係理論, 医学書院, 1996
黒田裕子監修：ケースを通してやさしく学ぶ看護理論　改訂3版, 日総研, 2008
竹尾恵子監修：新訂版　超入門　事例で学ぶ看護理論, Gakken, 2015.
Dorothea E. Orem／小野寺杜紀訳：オレム看護論　看護実践における基本概念　第4版、医学書院、2005.
Connie M. Dennis／小野寺杜紀監訳：オレム看護論入門 セルフケア不足看護理論、医学書院、1999.
小田正枝編：ロイ適応看護理論の理解と実践　第2版、医学書院、2016.
Sister Callista Roy／松木光子監訳：ザ・ロイ適応看護モデル　第2版、医学書院、2010.

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業開講日、事前にメールで連絡のこと。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	看護理論:概説(1)	内容 1.看護理論の歴史的変遷 2.看護理論の分類と特徴 方法：講義 予習：看護理論に関する文献を読む。 復習：授業内容について資料、関連文献等で整理する。 キーワード：理論、概念、定義、看護モデル、体系的、看護の現象、看護理論の範囲、看護理論家、構成要素、主要概念（人間、健康、環境／社会、看護）	浅野美知恵
2	看護理論:概説(2)	内容 1.ナイチンゲール看護論の分析 2.看護理論の実践への適用と課題 方法：講義 予習：ナイチンゲール看護論について概略を調べる。 復習：授業内容について資料、関連文献等で整理する。 キーワード：患者中心の看護、看護の探求、臨床看護の本質、理論活用と倫理的課題	浅野美知恵
3	看護理論：各論(1)	内容 1.ニード論の概説 2.ヘンダーソンの看護理論について分析 3.ヘンダーソン看護理論の実践への適用方法 4.ニード論の実践への展望 方法：講義 予習：看護の基本となるものを読んでくる 復習：課題レポート「看護とは何か」 キーワード：ニード、欲求の階層、動機づけ、自己実現、患者中心の看護、マズロー、ヘンダーソン、アブデラ	近藤陽子
4	看護理論：各論(2)	内容 1.ケアリング論の概説 2.ワトソンの看護理論について分析 3.ワトソン看護理論の実践への適用方法 4.ケアリング論の実践への展望 方法：講義 予習：なし 復習：課題レポート「看護師の役割とは何か」 キーワード：ケア、ケアリング、ワトソン、レイニンガー、	近藤陽子
5	看護理論：各論(3)	内容 1.人間関係論（看護師―患者関係）の概説 2.ペプローの看護理論について分析 3.ペプロー看護理論の実践への適用方法 4.人間関係論の実践への展望 方法：講義 予習：ペプローの看護理論について参考書に目を通しておく 復習：ペプローの看護理論で学んだことを基に、援助的人間関係構築のための看護師の役割についてレポートにまとめる キーワード：相互作用、患者-看護者関係、臨床看護の本質、人間対人間、ペプロー、ウィーデンバック、トラベルビー、	林ひろみ
6	看護理論：各論(4)	内容 1.システム論の概説 2.キングの看護理論について分析 3.キング看護理論の実践への適用方法 4.システム論の実践への展望 方法：講義 予習：キングの看護理論について参考書に目を通しておく 復習：キングの看護理論で学んだことを基に、患者の目標を達成するための看護師の役割についてレポートにまとめるキーワード：システム、行動システム、目標達成、ロジャーズ、ジョンソン、キング、ニューマン	林ひろみ
7	看護理論：各論(5)	内容 1.セルフケア論の概説 2.オレムの看護理論について分析 3.オレムの看護理論の実践への適用方法 4.セルフケア論の実践への展望 方法：講義 予習：オレムの看護論について概略を調べてくる。 復習：授業内容について資料、関連文献等で振り返る。 キーワード：セルフケア、依存的ケア、セルフケア行動、セルフケア要件、セルフケア不足看護理論	臼井雅美

8	看護理論：各論(6)	内容 1. 適応論の概説 2. ロイの看護理論について分析 3. ロイの看護理論の実践への適用方法 4. 適応論の実践への展望 方法：講義 予習：ロイの看護理論について概略を調べてくる。 復習：授業内容について資料、関連文献等で振り返る。 キーワード：適応、適応システム、適用様式、対処プロセス、適応レベル、刺激	臼井雅美

科目名称	トランスレーショナルへの挑戦	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Challenge to Translational Method	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	浅野美知恵					
科目担当者	浅野美知恵・田中美穂・近藤陽子・蜂ヶ崎令子（オムニバス方式＋共同）					

【１】　授業概要

本学科の教育の特徴であるトランスレーショナルの概念、方法、看護学における活用などについて基礎知識を学ぶ。理論、エビデンスとなる論文、フィジカル面の生理学的データなどを用い、臨床で起こる事象を読み解く視点を学習する。さらに、体験などの参加型授業を通して、看護学の根拠ある実践活動における科学的思考力を養う。
（オムニバス／全８回）
（浅野美知恵／２回）看護学におけるトランスレーショナルについて概説、がん看護を題材に考察
（近藤陽子／３回）感染予防・微生物などのエビデンスとなる論文を題材に考察
（田中（鈴木）美穂／３回・ 蜂ヶ崎令子／３回）（共同／３回）
健康生活に関わるフィジカル面の生理学的データを題材に考察

【２】　学修目標（到達目標）

①トランスレーショナルの概念について説明できる。
②トランスレーショナルの方法と留意点について具体的に説明できる。
③看護における理論の有効活用と課題について説明できる。
④看護における論文の有効活用と課題について説明できる。
⑤身体情報を関連学問の知識に基づいて解釈し記述できる。
⑥身体情報を看護援助に活用するアイデアについて文献を用いて述べられる。
⑦看護における根拠のある実践について説明できる。
⑧看護実践の根拠を生み出す方法について説明できる。
⑨看護学を発展させるトランスレーショナルについて考察できる。
⑩トランスレーショナルにおける主な倫理的課題３つとその対応について述べることができる。
⑪トランスレーショナル活用に関する自己の学習課題を明確にできる。
（看護学科ＤＰ　１，２，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
本授業は、トランスレーショナルの概要を理解し、看護学の根拠ある実践活動における科学的思考の基盤作りをすることをねらっているため、関連内容について予習に1時間程度、復習に1.5時間程度必要である。
【学習上の留意点】
授業は学び方の方法を学ぶ場ともなるため、主体的に学習する態度で臨むこと。

【４】　関連科目

授業科目全般

【５】　評価方法

レポート80%、プレゼンテーション・学習の取組み20%
次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。レポートは、結果を返却する。

【６】　教科書

授業時に資料を配布する。

【７】　参考書

資料を授業時に配布する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業開講日、事前に予約をとること。随時(事前にメールで連絡のこと）。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	トランスレーショナル概説	内容 1. トランスレーショナルの概念 2. トランスレーショナルの方法 3. トランスレーショナルの実際と留意点 方法：講義 予習：特に必要としない。 復習：配布資料に記載の課題を整理する。 キーワード：知識の移転、技術の移転、学習の転移、基礎、臨床、関連学問、看護の事象、現象、トランスレーショナルリサーチ、トランスレーショナルサイエンス、科学的思考、ケア技術の開発、倫理	浅野美知恵
2	身体情報活用のトランスレーショナル（1）	内容 1. 看護における身体情報の有効活用について 2. 身体情報の計測（トレーニング前） 3. トレーニング方法の説明 方法：講義、計測 予習：特になし 復習：3群に分かれトレーニングを実施する キーワード：健康と活動、実験データの臨床活用、筋力、トレーニング	田中美穂 蜂ヶ崎令子
3	論文活用のトランスレーショナル（1）	内容 1. 微生物と感染 2. 日常生活でよく見る感染症 3. 微生物と感染経路 方法：講義・体験（検体採取） 予習：なし 復習：各微生物の生育条件を考える キーワード：感染・微生物・感染経路	近藤陽子
4	論文活用のトランスレーショナル（2）	内容 1. ナイチンゲールが実施した感染対策 2. 療養環境の感染リスク評価 3. 感染に関するデータ理解 方法：講義・体験（観察） 予習：日常生活における感染リスクを考えてくる 復習：分離菌観察レポートを提出 キーワード：感染・統計・環境・リスク	近藤陽子
5	身体情報活用のトランスレーショナル（2）	内容 1. 身体情報の計測（トレーニング後） 2. 身体情報をグループで解釈する 方法：計測、グループワーク 予習：前回の講義を復習しておく 復習：実験ワークシートへの記述 キーワード：計測データの解釈、知識の移転、学習の転移	田中美穂 蜂ヶ崎令子
6	論文活用のトランスレーショナル（3）	内容 1. エビデンスに基づく感染対策 2. ガイドラインの看護実践への活用 3. 看護実践と感染リスク 方法：講義・発表 予習：感染リスクの評価シート作成する 復習：論文を読んで課題レポート提出 キーワード：エビデンス・ガイドライン・看護実践	近藤陽子
7	身体情報活用のトランスレーショナル（3）	内容 1. 身体情報の解釈（グループごとのプレゼンテーション） 2. 実験データの看護実践への活用 方法：プレゼンテーション、講義 予習：実験ワークシートに記述した見解を各自が説明できる様にしておく 復習：課題レポートの提出 キーワード：転倒予防、廃用症候群、反射、実験データの看護実践への活用、学習の転移、トランスレーショナルとは何か？	田中美穂 蜂ヶ崎令子
8	理論活用のトランスレーショナル	内容 1. 臨床における看護の事象 2. 看護の視点から読み解く理論活用の方法 3. がん看護を題材に理論活用について考察 4. 科学的思考とトランスレーショナル 方法：講義、グループワーク 予習：事前に配布された資料の課題をする。 復習：課題レポートを提出する。 キーワード：理論の適用、理論の開発、観察、科学的思考、課題の区別、分析、総合、リテラシー、探究、学問	浅野美知恵

科目名称	**看護の基本技術Ⅰ**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Fundamental Nursing Skills Ⅰ	必修	演習	1年･秋	1単位	30時間
科目責任者	近藤陽子					
科目担当者	長谷川真美・近藤陽子・蜂ヶ崎令子・松浦麻子（共同）					

【1】　授業概要

看護実践における基本的な技術の考え方・具体的方法・援助のプロセス･態度を学習する。基本技術Ⅰでは、看護の基本をなす対象とのコミュニケーション、健康状態を把握するための観察の技術（安楽と安全、呼吸と循環、体温と環境）、フィジカルアセスメントの方法を学び、援助に必要な基本技術を習得する。

【2】　学修目標（到達目標）

1．看護技術について意義、目的、要素が説明できる。
2．援助者としての役割を説明できる。
3．真摯な態度で看護技術が提供できる。
4．対象と良好な関係を築くために、コミュニケーション技術がわかる。
5．人体の構造や機能に基づいた看護技術の原理・原則の根拠が説明できる。
6．対象の療養環境について評価し、適切な療養環境を作成できる。
7．対象の健康状態を理解するために、対象の心身を観察できる。
8．体温・呼吸・脈拍・血圧が正確に測定できる（フィジカル・アセスメントⅠレベル）。
（看護学科ＤＰ　１，２，４，５）

【3】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

1．準備学習
　本授業は予習に1時間、ワークシートの記入に1時間程度の復習を要する。また、技術習得のための自己練習の時間を要する。
予習：各回の学習内容に関する部分について、必ず教科書を読んでから受講すること。
　　事前配布された課題（ワークシート）をやってくること。
復習：ミニッツペーパーやワークシートなどを完成させて提出すること。
　　学習した技術は、自己学習をして習得しておくこと。
2．学習上の留意点
　本科目で学習する内容は、今後の学習の基盤となる基本的技術である。そのため、学習する技術をすべて習得することが求められる。しかし技術の習得は、授業で得た知識だけでは不充分であり、自己学習を繰返して練習することが必須である。学生には積極的に練習を行うことが望まれる。

【4】　関連科目

健康科学概論、看護学概論、看護理論、人体の構造と機能、看護理論、看護のための物理学、看護入門実習Ⅰ、Ⅱ

【5】　評価方法

成績：定期試験（50%）、ミニテスト（30%）、課題レポート・ワークシート（20%）ただし、ミニテストが60点に満たない場合は、評価対象としない。
フィードバック：ワークシートは演習終了後に提出、添削後に返却する。ミニッツペーパーへの回答は、次の演習前に口頭またはデモンストレーションにて確認をする。

【6】　教科書

統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ(第16版)，有田清子 他，医学書院，2015

【7】　参考書

写真でわかる看護技術シリーズ「写真でわかる実習で使える看護技術」(東邦webサイトの電子ブック

【8】　オフィスアワー・連絡方法

事前にメール等で連絡をしてから、研究室までお越しください。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	オリエンテーション看護技術	授業方法：講義・演習 内容：看護技術とは何か 科目の進め方、予習・復習内容、レポート課題 技術評価、評価項目 復習：ミニッツペーパー提出 Keyword：看護技術、観察、援助	全員（近藤）
2	コミュニケーションと観察	授業方法：講義、演習 内容：看護技術としてのコミュニケーション 傾聴技術・観察技術 予習：課題資料を読んで、ワークシートに必要な内容を記入する 復習：ワークシートの提出 Keyword：コミュニケーション、傾聴、観察	全員（近藤）
3	療養環境の調整う	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：良好な療養環境 療養環境の評価 安全・快適な療養環境を整える 予習：「看護の覚書」を読んで、ナイチンゲールは良好な療養環境について、はどのように言っているかまとめる 復習：ワークシートの提出 Keyword：療養環境、評価、安全性、快適さ、	全員（近藤）
4	ボディメカニクス	授業方法：講義・演習 内容：ボディメカニクスの原理と活用 予習：課題資料を読んで、物理・力学の復習をしておく 復習：ワークシートの提出 Keyword：ボディメカニクス、トルク、ベクトル、原理	全員（蜂ヶ崎）
5	体位・良肢位・体位変換	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：良肢位とは何か 安楽な体位と体位変換 予習：課題資料およびDVDを観て、ワークシートの事前課題部分を記入する 復習：ワークシートの提出 Keyword：体位、良肢位、体位変換、安全、安楽	全員（蜂ヶ崎）
6	ベッドメ-キング	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：ベッドメーキング 予習：ベッドメーキングについてテキストを読み、指定のDVDを視聴する 復習：ワークシートの提出 Keyword：ベッドメーキング	全員（松浦）
7	ベッドメ-キング	ミニテスト	全員（松浦）
8	ベッドメ-キング	ミニテスト	全員（松浦）
9	フィジカル･アセスメント Level 1、フィジカル･アセスメントの概要①問診	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：フィジカル・アセスメントの目的・方法 予習：フィジカル・アセスメントについて事前課題を記入してくる 復習：ワークシートの提出 Keyword：フィジカル・アセスメント、問診	全員（近藤）
10	フィジカル・アセスメント Level 1②視診・触診	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：身体の観察、触診 予習：視診・触診のワークシートを作成する 復習：ワークシートの提出 Keyword：フィジカル・アセスメント、視診、触診	全員（近藤）
11	フィジカル・アセスメント Level 1③呼吸・循環	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：呼吸のメカニズムと呼吸測定 血液循環のメカニズムと脈拍測定 予習：テキストを学習し、他者の呼吸および脈拍測定を体験しておく 復習：ワークシートの提出 Keyword：フィジカル・アセスメント、視診、触診	全員（近藤）
12	フィジカル・アセスメント Level 1 ④血圧測定	授業方法：ミニ・レクチャー、演習 内容：血圧測定の原理と測定方法 予習：資料を読んで血圧のメカニズムを学習しておく 復習：血圧の変動因子と測定時の注意点 Keyword：血圧測定、原理、変動因子	全員（近藤）
13	フィジカル・アセスメント Level 1総合演習	授業方法；講義、全体演習 内容：バイタルサイン測定 予習：バイタルサインの測定方法・観察ポイントを学習しておくこと 復習：バイタルサインが正確に測定できるように自己演習をしておくこと Keyword：バイタルサイン測定、自己学習	全員（近藤）
14	フィジカル・アセスメント Level 1チェック	ミニテスト	全員（近藤）
15	フィジカル・アセスメント Level 1チェック	ミニテスト	全員（近藤）

科目名称	**看護入門実習Ⅱ**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Practicum of Introduction to Nursing Ⅱ	必修	実験･実習	1年･秋	1単位	45時間
科目責任者	近藤陽子					
科目担当者	浅野美知恵・遠藤英子・田中（鈴木）美穂・近藤陽子・蜂ヶ崎令子・松浦麻子（共同）					

【1】　授業概要

入院患者、看護師との関わりを通して、看護の主要概念（人間、健康、環境、看護、擁護、倫理）の理解を深める。さらに、入院している患者の健康生活支援について、看護学の立場から考察する。

【2】　学修目標（到達目標）

1．看護の対象が、さまざまな健康レベルにある人間であることがわかる。
2．看護の対象の生活の場を知ることができる。
3．他職種との連携と、看護の役割を知ることができる。
4．看護学生として、責任のある行動をとることができる。
（看護学科ＤＰ　1，2，3，4，5）

【3】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

予習：健康科学概論、コミュニケーション論を復習しておく。
復習：実習を終えて、自己の体験をまとめ、課題を明確化しておく。
本科目の履修においては、下記の関連科目の復習を含め、事前学習として2時間程度の学習が必要である。また、学習内容の復習として1時間程度、考察をまとまる時間が必要となる。

【4】　関連科目

健康科学概論、看護学概論、看護理論、コミュニケーション論、倫理学、心理学、社会学

【5】　評価方法

1．成績：実習記録（40%）、実習内容（40%）、グループ討議（20%）により総合的に評価する。
　＊実習内容には、学習者としての態度、コミュニケーション力の評価を含まれる。
2．フィードバック：毎日の実習終了時に学びの共有を行い、疑問や意見への回答を行う。
3．実習記録（レポートを含む）は実習が終了した翌週の水曜日17:00までに提出する。

【6】　教科書

特になし

【7】　参考書

適宜、紹介する。

【8】　オフィスアワー・連絡方法

事前にメール等で連絡の上、研究室まで

【9】　**授業計画**

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
	オリエンテーション	詳細な学修内容は、看護入門実習の実習要項に示します。 1）実習の具体的な内容については、夏季休業までにオリエンテーションを実施する。 2）各病院の概要については、実習初日に臨地にてオリエンテーションを実施する。	全員
	実習方法	1）グループ（1グループ8名程度）毎に1つの病棟で1週間の臨地実習を行う。 2）実習時間は、各病院と調整し決定する。 3）1人の看護師に1-2名の学生を配置、シャドーイングを通して患者への看護の実際を学ぶ。 4）毎日、病棟実習終了後に各病院単位で学びの共有を行う。 5）中間および臨地実習最終日は、臨床指導者を含めてカンファレンスを行い、学びを深める。 7）最終日、実習全体を通して学びを振り返り、グループ毎に自分たちの学びを発表する。 8）実習の学びをまとめ、実習記録を提出する。	全員
	スケジュールの概要	＜実習初日＞ 午前：オリエンテーション、院内見学 午後：病棟実習、学びの共有 ＜実習2日目＞病棟実習、学びの共有 ＜実習3日目＞ 午前：病棟実習 午後：学内学習、中間カンファレンス ＜実習4日目＞病棟実習、学びの共有 ＜実習5日目＞ 午前：病棟実習、最終カンファレンス 午後：実習のまとめ、個人面接 ＜実習6日目＞ 午前：学内学習、全体討議・発表 午後：学内学習 【実習場所】 東邦大学医療センター佐倉病院 千葉県済生会習志野病院	
		【予習・復習・キーワード】 看護、人間、健康レベル、生活の場、環境、他職種との連携、看護の役割、看護学生としての責任のある行動、倫理	

科目名称	**コミュニティヘルス看護概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Community Health Nursing	必修	講義	1年･秋	1単位	15時間
科目責任者	美ノ谷新子					
科目担当者	佐瀬真粧美・長谷川真美・林ひろみ・臼井雅美・美ノ谷新子・上地賢					

【１】　授業概要

人間の生活の場である地域社会、地域共同体の健康をコミュニティヘルスとして捉える。高齢社会の日本において高齢者の健康は社会の健康として捉え、コミュニティヘルスに包含する。本科目では、看護の対象としてのコミュニティ／地域の特徴、健康や生老病死が地域に及ぼす影響、コミュニティヘルスにおける看護の役割と機能、主な理論・基本的概念、地域の健康を支える仕組み、活動方法など基礎知識を理解する。さらに、コミュニティヘルスを支える看護、健康な地域づくりなどについて考察する。
（美ノ谷新子／２回）コミュニティヘルス看護の基礎知識の概説
（上地賢／１回）公衆衛生の立場から捉えるコミュニティヘルス
（林ひろみ／１回）妊婦・新生児・乳幼児の立場から捉えるコミュニティヘルス
（臼井雅美／１回）子どもの立場から捉えるコミュニティヘルス
（長谷川真美／１回）成人の立場から捉えるコミュニティヘルス
（佐瀬真粧美／２回）高齢者の立場から捉えるコミュニティヘルス、在宅療養者を支える地域づくり活動事例

【２】　学修目標（到達目標）

①看護の対象となる「コミュニティ」の定義を説明することができる。
②個人の健康を支える地域の仕組みについて、関係職種と地域の資源を挙げて説明することができる。
③個人の健康と個人を取り巻く環境との交互作用について例を示し、公衆衛生上の看護の役割をその限界も含めて論述することができる。
④妊婦、新生児、乳幼児を取り巻くコミュニティの健康課題を例に挙げ、対応する看護の役割・機能をその限界も含めて論述することができる。
⑤子どもを取り巻くコミュニティの健康課題を例に挙げ、対応する看護の役割・機能をその限界も含めて論述することができる。
⑥成人を取り巻くコミュニティの健康課題を例に挙げ、対応する看護の役割・機能をその限界も含めて論述することができる。
⑦高齢者、在宅療養者を取り巻くコミュニティの健康課題を例に挙げ、対応する看護の役割・機能をその限界も含めて論述することができる。
（看護学科ＤＰ　１，２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
看護入門実習Ⅰで得られた看護の役割や知識、技術、態度を振り返るとより理解が容易となる。
この授業は、各ライフステージの健康課題から看護の役割・機能を学ぶことから既習科目から出される予習ワークシートの学習のために予習1時間程度、新たな学びのまとめとして復習1時間程度を費やします。
【学習上の留意点】
各ライフステージにおいて必要な看護の役割、機能を学ぶ導入となるため、学習への積極的な参加が求められる。

【４】　関連科目

看護学入門実習Ⅰの学びを基礎とする。法学、疫学と公衆衛生、公衆衛生看護学など看護学全般。

【５】　評価方法

定期試験(70%)、課題レポート(20%)、ミニッツペーパー（10%）
授業中の小テストおよびレポートの結果を返却する．ミニッツペーパーでの課題や疑問について適宜コメントする。

【６】　教科書

必要な資料は講義の際に配布する。

【７】　参考書

厚生の指標　国民衛生の動向　厚生労働統計協会

【８】　オフィスアワー・連絡方法

メール等で各教員へ随時連絡を取ることができる。連絡先は講義時に提示する。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	コミュニティヘルス看護の基礎(1)	コミュニティヘルスの概念・コミュニティヘルス活動の基盤となる主な理論・基本的概念 講義 予習：看護学入門実習Ⅰの学習内容 復習：　ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティ、人口動態、暮らし、生老病死、共同性、コミュニティヘルス、健康な地域づくり、健康を支える地域の仕組み、社会福祉	美ノ谷
2	コミュニティヘルス看護の各論(1)	公衆衛生の立場から捉えるコミュニティヘルス ・段階的予防活動・個人の健康と集団の健康を満たす種々のアプローチ・課題レポートの説明 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、エンパワーメント、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチ、１次予防、２次予防	上地
3	コミュニティヘルス看護の各論(2)	妊婦・新生児・乳幼児の立場から捉えるコミュニティヘルス ・妊婦・新生児・乳幼児を取り巻くコミュニティの健康課題・子育てのある暮らしの健康支援活動と看護の展望 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティヘルス、助け合い、暮らしやすさ、親、家族の構成と役割の変化、妊娠・出産による身体・精神面の変化、子育て	林
4	コミュニティヘルス看護の各論(3)	子どもの立場から捉えるコミュニティヘルス ・子どもを取り巻くコミュニティの健康課題・子どもが健全に育つ家庭環境の支援活動と看護の展望・児童生徒が健全に育つ地域環境の支援活動と看護の展望 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティヘルス、支え合い、家庭、児童生徒の発達、集団心理、支援制度、学校保健、いじめ、虐待、不慮の事故、栄養と嗜好品（酒、たばこ）	臼井
5	コミュニティヘルス看護の各論(4)	成人の立場から捉えるコミュニティヘルス（２） ・成人を取り巻くコミュニティの健康課題・成人の健康生活を支えるコミュニティヘルス活動のつながり、リーダーシップと看護の役割 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティヘルス、つながり、成人の発達、社会的存在、保健システム、ワークライフバランス、メンタルヘルス、リーダーシップ、チームワーク、地域の多職種連携・協働	長谷川
6	コミュニティヘルス看護の各論(5)	高齢者の立場から捉えるコミュニティヘルス ・高齢者を取り巻くコミュニティの健康課題・コミュニティヘルス活動における主体的なコミュニティ作りと看護の役割 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティヘルス、主体的なコミュニティづくり、老年の発達、社会的存在、暮らしやすさ、家族、人間の一生と社会、生き抜く支援システム	佐瀬
7	コミュニティヘルス看護の各論(6)	在宅療養者を支える地域づくり活動事例 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：コミュニティヘルス、地域づくり、在宅療養	佐瀬
8	コミュニティヘルス看護の基礎(2)	コミュニティヘルスにおける看護の役割と機能 講義 予習：予習ワークシートの提出 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：地域包括ケア、関係職種、専門性、チーム活動、看護職	美ノ谷

科目名称	**老年看護学概論**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Gerontological Nursing	必修	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	佐瀬真粧美					
科目担当者	佐瀬真粧美、美ノ谷新子					

【１】　授業概要

高齢者の特徴について、身体的、心理・精神的、社会的側面から理解し、高齢者の健康状況と生活との関連、それを支える我が国のシステム、制度について理解し、高齢者とその家族の生活の現状と課題について考える。
（佐瀬真粧美／６回）老年看護学における老いの捉え方と看護、老化の生活への影響と看護、多様な健康状態の生活への影響と看護、老いを生きるこころと看護、高齢者の療養生活と看護、老年看護の役割と展望
（美ノ谷新子／２回）高齢者を取り巻く社会と看護、老年看護における倫理的課題

【２】　学修目標（到達目標）

・日本の高齢社会の現状と高齢者を支える、保健医療福祉システムについて述べることができる。
・高齢者の身体的、心理・精神的特徴を理解し、生活への影響と看護について述べることができる。
・老年看護における倫理的課題について述べることができる。
・自己の高齢者観を振り返り、老年看護の課題と展望について論述することができる。
（看護学科ＤＰ　１，２，３，４，５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【準備学習】
提示される予習の課題に必ず取り組んでくる。課題を用い授業を進めるので、やっていないと、進められなくなります。課題と復習に各々1時間程度かかります。
【学習上の留意点】
各々の授業内容は、つながりがあります。欠席してしまうとそのつながりがわからなくなるので、授業への出席を重視します。

【４】　関連科目

学んでおく科目：看護学概論
継続する科目：コミュニティヘルス看護概論、倫理学、看護入門実習Ⅰ、看護の基本技術Ⅶ、

【５】　評価方法

定期試験（70%）、ミニッツペーパー（30%）
ミニッツペーパーの内容を踏まえ、次回の授業の中で不十分な理解や誤解についてコメントする。

【６】　教科書

授業時に資料を配布する。

【７】　参考書

授業時に提示する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

随時（可能な限りメール等で連絡すること）

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	老年看護学における老いの捉え方と看護	・老年看護の理念・老いの捉え方・老化理論・老年看護に活用できる理論・看護の役割 講義 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：自我発達、老化理論、高齢者観、看護者	佐瀬
2	老化の生活への影響と看護	・身体的、生理的な老化・諸機能の変化による生活への影響・身体症状とアセスメント・高齢者自身の対処と支援 講義 予習：どんな身体的・生理的な変化が起こっているか、地域の人たちを観察してくる。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：諸機能の変化、生活機能、コミュニケーション、リスクマネジメント	佐瀬
3	多様な健康状態の生活への影響と看護	・高齢者の多様な健康状態・高齢者の特徴的な疾患と生活への影響・身体症状とアセスメント・高齢者自身の対処と支援 講義 予習：高齢者の特徴的な疾患について調べてくる。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：　　疾患を持つ高齢者の特徴、治療を受ける高齢者の特徴	佐瀬
4	老いを生きるこころと看護	・生きてきた時代や背景と価値観・高齢者と家族の関係・介護を受けるということ・高齢者へのかかわり、関係づくり 講義 予習：高齢者が生きてきた「昭和」について、祖父母、父母に話を聞いたり、調べてくる。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：生活史、価値観、社会的役割、家族機能の変化、介護受容	佐瀬
5	高齢者をとりまく社会と看護	・日本の高齢社会の現状と保健医療福祉のシステム・さまざまな生活と治療の場と暮らし・さまざまな生活・治療の場における看護の役割 講義 予習：高齢者に関かかわる制度にはどのようなものがあるか調べてくる。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：老年人口、介護保険法、老人福祉法、地域包括ケアシステム	美ノ谷
6	高齢者の療養生活と看護	・高齢者の全体像の把握・高齢者看護の目標 講義・グループワーク 予習：テキストの該当箇所を一読する。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：全体像、目標設定	佐瀬
7	老年看護における倫理的課題	・高齢者差別（エイジズム）・高齢者の権利擁護と制度・高齢者に対する虐待・高齢者の終末期における課題 講義 予習：高齢者を差別している言葉、こと、気持ちについて、できるだけたくさんみつけてくる。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：エイジズム、権利擁護、虐待、身体拘束	美ノ谷
8	老年看護の役割と展望	・高齢者を理解すること・尊厳ある生活と看取り・老年看護の役割と展望・高齢者の援助にかかわるチーム 講義 予習：テキストの該当箇所を一読する。 復習：ミニッツペーパーの提出 キーワード：尊厳、チーム、	佐瀬

科目名称	**看護入門実習Ⅰ**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Practicum of Introduction to Nursing Ⅰ	必修	実験･実習	1年･秋	1単位	45時間
科目責任者	佐瀬真粧美					
科目担当者	佐瀬真粧美・上地賢・松浦麻子（共同）					

【1】　授業概要

地域で生活する人々、特に高齢者を支える機関・施設を利用しながら生活している人々との関わりを通して、様々な職種の活動、連携・協働システムの実際について知り、地域における看護の役割、看護の主要概念（人間、健康、環境、看護、擁護、倫理）の理解を深める。さらに、地域で生活する人の健康生活支援について、看護学の立場から考察する。

【2】　学修目標（到達目標）

①地域で生活する人、地域で高齢者を支えている人との関わりをとおして、看護の主要概念(人間、健康、環境、看護／擁護、倫理)の述べることができる。
②地域で生活する人の健康生活支援について、看護学の立場から自分の考えを論理的に述べることができる。
（看護学科ＤＰ　１，２，３，４，５）

【3】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

学内で学習した知識や看護入門実習Ⅱで学んだことをもとに、「看護とは」について、自分なりの考えをまとめ、実習目標を理解した上で臨むために1時間程度の予習時間がかかる。実習中は、経験、体験できるものには、積極的に参加していく。実習後は、レポート作成のため、1.5時間程度の時間を要する。

【4】　関連科目

倫理ことはじめ、倫理学、健康科学概論、コミュニケーション論、看護学概論、老年看護学概論等

【5】　評価方法

実践内容（観察力、理解力、考察力、コミュニケーション力、記録）60%、学習者としての態度・高齢者にかかわる際の倫理的態度 20%、課題レポート 20%。学習内容についてコメントを返していく。

【6】　教科書

特に指定はしない。

【7】　参考書

適宜紹介。

【8】　オフィスアワー・連絡方法

随時。（事前にメールにて連絡のこと）

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
	オリエンテーション	詳細な学修内容は、看護入門実習の実習要項に示します。 7/3　実習前ガイダンス① 　　実習における注意事項 　　看護入門実習について 9/25　実習前ガイダンス②（午前：全体、午後：グループ別） 　　看護入門実習Ⅰについて	全員
	実習	<実習1日目～4日目> 以下の４つの流れで、配置された施設において実習を行う。 ①デイサービス等（2日間）　⇒　認知症グループホーム（1日間）⇒　地域包括支援センター（半日）/居宅介護事業所（半日） ②デイサービス等（2日間）　⇒　地域包括支援センター（半日）/居宅介護事業所（半日）　⇒　認知症グループホーム（1日間） ③認知症グループホーム（1日間）　⇒　地域包括支援センター（半日）/居宅介護事業所（半日）⇒　デイサービス等（2日間） ④地域包括支援センター（半日）/居宅介護事業所（半日）　⇒　認知症グループホーム（1日間）⇒　デイサービス等（2日間） <実習5日目> 午前：各グループで課題に添ってグループワークを行う。 午後：グループワークの成果の発表、まとめ	全員
		【予習・復習・キーワード】 予習：さまざまな実習施設にお世話になるため、指定された実習時間に遅れないよう、行き方を再度予習しておく。また、その日に伺う施設がどのような施設なのか、混乱しないようオリエンテーションで整理した内容をもう一度振返りしておく。 復習：各施設において、その日に、気づいたこと、感じたこと、学んだことをを記述する。 キーワード：地域、生活、高齢者、機関・施設、他職種、連携・協働、地域包括ケアシステム、看護の役割、看護の主要概念（人間、健康、環境、看護、擁護、倫理）	
	実習のまとめ	課題レポートの提出 ・実習時に、レポート作成方法について説明を行う	全員

自由科目

科目名称	生物学入門	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Biology	自由	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	小林芳郎					
科目担当者	小林芳郎					

【１】　授業概要

主に高等学校で生物学を履修していない学生を対象とし、大学教育の生物学を理解するために必要とされる、細胞の構造と機能、多細胞動・植物の仕組みと営み、遺伝子についてなどの基礎知識を学習する。（高校で生物学を履修した学生も受講可）

【２】　学修目標（到達目標）

皮膚や腸に常在する細菌の特徴を理解し、説明できる。
いくつかの動物細胞の特徴を理解し、説明できる。
ウイルス感染と免疫の関係を理解し、説明できる。
ヒトの進化を理解し、説明できる。
遺伝の様式を理解し、説明できる。
（看護学科ＤＰ　５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

授業の後、ノートと教科書で理解を深めてください。約１～２時間

【４】　関連科目

生物学

【５】　評価方法

レポート８０％、授業の取り組み・授業時のノート２０％
レポートとノートはコメントをつけて後日返却する。

【６】　教科書

スター　生物学　（八杉貞雄監訳）　東京化学同人（第１版；原著第４版）

【７】　参考書

特になし

【８】　オフィスアワー・連絡方法

授業後質問を受け付けます。連絡先：yoshiro@biomol.sc.toho-u.ac.jp

【９】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	身近な微生物	皮膚に住む微生物、腸内細菌（教科書１９章３節）	小林芳郎
2	身近な動物細胞	皮膚角化細胞、がん（教科書１８章４節）	小林芳郎
3	身近な動物細胞	赤血球、マクロファージ（教科書４章５、６節）	小林芳郎
4	ヒトの進化と人口増加	ヒトの進化、ヒトと感染症（教科書１４章７節、１５章５節）	小林芳郎
5	タバコモザイクウイルスとバクテリオファージ	ウイルスの定義、ハーシーとチェースの実験（教科書１３章４節）	小林芳郎
6	インフルエンザウイルスとHIV	ウイルスと感染症、免疫（教科書１３章４節、１９章６節）	小林芳郎
7	ヒトの血液型	身近な遺伝（教科書９章４節）、レポート課題提示	小林芳郎
8	まとめ	生物学入門から生物学へ レポート作成	小林芳郎

科目名称	化学入門	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Chemistry	自由	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	横田浩充					
科目担当者	横田浩充					

【１】　授業概要

主に高等学校で化学を履修していない学生を対象とし、大学教育の化学を理解するために必要とされる、原子の構造、元素の分類、化学結合、気体･液体･固体の性質、有機化学などの基礎知識を学習する。（高校で化学を履修した学生も受講可）

【２】　学修目標（到達目標）

化学基礎（高校）を復習することで、看護の実践に必要な化学を理解するための基礎知識を得る。
化学的思考で物質を理解する。
物質の構成・性質についての概要を説明できる。
物質の変化の概要を説明できる。
生命と化学物質の関係についてその概要を説明できる。
（看護学科ＤＰ　５）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

講義中に習熟状況の確認あるいは小テストを実施するため、教科書あるいは配布された講義資料について予習・復習を行うこと。

【４】　関連科目

化学

【５】　評価方法

予習・復習を含めた講義に対する姿勢（20%）、定期試験（50%）、小テスト（30%）で評価する。
各講義のおわりに知識の確認を行う。その結果は次回の講義で返却し、解説を行う。

【６】　教科書

コ・メディカル化学 「医療・看護系のための基礎化学」　齋藤勝裕、他.（裳華房）
ステップアップ　大学の総合化学　齋藤勝裕.（裳華房）

【７】　参考書

これだけ高校化学　杉山美次.（秀和システム）
看護に必要なやりなおし生物・化学　時政孝行.（照林社）
化学入門－日常に役立つ基礎知識－　大月穣.（東京化学同人）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

講義終了後に対応する。以後、適宜対応する。連絡方法：理学部1号館1402室、メール：hiromitsu.yokota@sci.toho-u.ac.jp

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	はじめに 看護と化学	内容：はじめに看護に化学が必要な理由を理解できるよう講義・グループディスカッションを行う。また、化学の基本用語・物質名、元素、周期表について講義する。 授業方法：講義・グループワーク 予習：看護と化学の関係を調べる。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：化学、生命、看護に化学が必要な理由	横田浩充
2	化学結合とは	内容：イオンと化学結合の関係を理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：化学結合について化学基礎（高校教科書）を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：イオン、イオン結合、共有結合、金属結合	横田浩充
3	物質量について	内容：原子量と分子量とは、看護に必要な物質量の計算を理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：物質量の計算について化学基礎を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：原子量、分子量、モル濃度、溶液の濃度	横田浩充
4	物質の変化（1）	内容：状態変化、気体の溶解度、浸透圧、化学反応について理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：溶解度、浸透圧、化学反応について化学基礎を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する キーワード：溶解度、浸透圧、化学反応	横田浩充
5	物質の変化（2）	内容：化学反応と化学反応式、化学平衡、酸と塩基、pH、塩の性質について理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：化学平衡、酸と塩基、pH、塩の性質について化学基礎を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：化学反応式、化学平衡、酸と塩基、塩の性質	横田浩充
6	物質の変化（3）	内容：中和反応と塩の生成、酸化と還元、酸化剤・還元剤について理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：中和反応と塩の生成、酸化と還元について化学基礎を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：中和反応、塩の生成、酸化・還元	横田浩充
7	医療と無機・有機化合物	内容：無機化合物・有機化合物の種類、医療との関係について理解できるよう講義する。 授業方法：講義 予習：無機化合物・有機化合物の種類について化学基礎を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：無機化合物、有機化合物	横田浩充
8	生命と化学（基礎編）	内容：生命体の維持に不可欠な物質（タンパク質・糖質・脂質、ホルモン、ビタミン、核酸）と体内の関連について、環境と化学の関係についてその概要を学ぶ事を目的に講義を行う。 授業方法：講義 予習：配布された資料を予習しておく。 復習：自身の講義ノート・資料を復習する。 キーワード：タンパク質、糖質、脂質、ホルモン、ビタミン、核酸、環境	横田浩充

科目名称	**文章表現入門**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Written Expression Methods	自由	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	田中美穂					
科目担当者	田中美穂・西田一豊					

【１】　授業概要

大学で学ぶために必要な基礎力である「伝わる（聴く･読む）、伝える（書く・話す）」能力を確認する。また、自己学習や研究に必要とされる「調べる」能力を体験により身につける。具体的な内容として、既習の国語表現のルールを確認・復習、レポート作成方法、論理的な文章構成、文献引用時のルールと倫理、表記方法、参考文献の検索方法などについて学習する。
（田中美穂／２回）文献引用のルールと倫理、参考文献の検索方法など
（西田一豊／６回）文章表現の基礎知識、論理的な文章とは、レポート作成の基本など

【２】　学修目標（到達目標）

①図書館および検索エンジンを利用し、的確かつ持続可能なレポート作成力、情報収集・整理力を習得し自ら準備することができる。
②文章作成や文献引用に関する基本的な倫理観を養う。
③日本語文章表現についての基本的な知識を身につけ記述することができる。
④レポート作成に必要な、テーマや課題を批判的に読み取る能力、課題分析力を身につけ自ら考察することができる。
⑤レポートを書くうえで必要な表記法（出典・参考文献等）を習得しレポート作成をすることができる。
（看護学科ＤＰ　３）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

本授業では、予習として事前に示された資料等を読むための1時間、復習として授業で行った演習課題の見なしに1時間程度要する。
田中：予習・復習：予習は特にない。復習として、授業で配布したワークシートを完成させ提出すること。
　　学習上の注意：パソコンを使って文献検索を実際に体験してもらう。楽しむのは構わないが、真剣に取り組んで欲しい。
西田：①事後学習として各回の授業が配布された資料に眼を通し、また授業で行った演習課題を見直す。
　　②宿題・課題が出た場合は積極的に取り組む。
　　③事前学習として授業で示された資料・テキストを読み、授業に臨む。

【４】　関連科目

プレゼンテーション論、コミュニケーション論、看護研究

【５】　評価方法

※ 1-2コマ（担当：田中）10%、3-8コマ（担当：西田）90%、合計100点で評価する。
田中：
評価方法：ワークシート40%、授業態度60%
フィードバック方法：ワークシートは評価を行い返却する。態度はその都度フィードバックする。
西田：
評価方法：小テスト３０%、小レポート３０%、期末レポート４０%
フィードバック方法：小テスト、レポート類は結果を返却する。

【６】　教科書

授業時に資料を配布する。

【７】　参考書

佐渡島沙織・吉野亜矢子『これから研究を書くひとのためのガイドブック』（2008年、ひつじ書房）
浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生・留学生のための論文ワークブック』（1997年、くろしお出版）

【８】　オフィスアワー・連絡方法

田中：開講日、事前に予約をとること。
西田：開講日、事前に予約をとること。

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	図書館の活用 文献とは	内容：図書館の施設･設備、図書館の役割 文献とは、文献がなぜ必要なのか 文献の検索方法、文献検索のツールについて 授業方法：講義、演習 予習･復習：特になし キーワード：パブリックサービス、情報サービス、テクニカルサービス、文献情報データベース、蔵書の検索、電子ジャーナル	田中美穂
2	文献引用と知的財産	内容：効果的な文献検索とは オンライン引用文献 文献引用のルールと倫理 授業方法：演習、講義 予習：特になし 復習：ワークシートの提出 キーワード： 知的財産、著作権、孫引き、倫理	田中美穂
3	レポート、論文とは	内容：レポート、学術論文とは何か 全体の構成や文章作法について 授業方法：講義、演習 予習：特になし 復習：授業で配布された資料を読む 演習課題の解き直し キーワード：レポート作成、学術論文の基礎、文章の構成、日本語文法	西田一豊
4	文と文章、語句の使い方	内容：句読点や記号の使い方 レポート、論文における表記規則について 授業方法：講義、演習 予習：特になし 復習：授業で配布された資料を読む 演習課題の解き直し キーワード：日本語文法、文章作法、文章記号	西田一豊
5	レポート、論文の文章表現	内容：読みやすい文章、レポート、論文における文章とはどのようなものか、 論点を整理し主張を行うための文章作法について 授業方法：講義、演習、小テスト 予習：事前資料を読む 復習：授業で配布された資料を読む、 演習課題の解き直し キーワード：レトリック、情報の発信、情報の進化発展	西田一豊
6	レポート、論文の構想	内容：レポート、論文におけるテーマの設定方法、 問題点の絞り方について。 授業方法：講義、演習 予習：特になし 復習：授業で配布された資料を読む キーワード：テーマ設定、情報の利用・応用	西田一豊
7	レポート、論文の決まりごと	内容：引用のしかたや参考文献の提示のしかたについて、また図や表の提示のしかたについて。 授業方法：講義、演習 予習：特になし 復習：授業で配布された資料を読む キーワード：文章作法、レポート表記法	西田一豊
8	まとめ	内容：レポート、論文での文章表現に関するまとめの講義を行い、また課題として設定された小レポートを授業内で実際に記述する。 授業方法：講義、演習、小レポート 予習：事前資料を読む 復習：授業で配布された資料を読む キーワード：レポート作成、文章作法、情報の発信	西田一豊

科目名称	**千葉県の地域医療**	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Local industory in Chiba	自由	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	佐瀬真粧美					
科目担当者	佐瀬真粧美・遠藤英子					

【１】　授業概要

本学部が設置されている千葉県の地理や歴史を学習し、地域貢献や地域の医療について理解を深め、考える契機とする。
（遠藤英子／４回）千葉県の医療と福祉について
（佐瀬真粧美／４回）千葉県の医療と看護について

【２】　学修目標（到達目標）

①千葉県の地理や産業、人口構造および歴史について説明することができる。
②千葉県で暮らしている人々の健康推進に関する施策について述べることができる。
③千葉県の医療・福祉を考えるための情報を収集・整理し、考察することができる。
（看護学科ＤＰ　２，３）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

【予習・復習等】）
予習として、千葉県の地理・歴史の特徴、医療・福祉の現状について情報収集し、授業で学修したことをふまえ、収集した情報から、到達目標に　向けて学びや考えをまとめていくため、予習、復習各々１時間程度の学習が必要になる。
【学習上の留意点】
資料等に書かれていること、話されたことをたんになぞるだけではなく、それをもとに興味・関心をもって自分の言葉で説明できるように心がける。

【４】　関連科目

保健医療福祉行政論、社会保障制度、保健統計と情報処理、疫学と公衆衛生、健康生活支援論、コミュニティヘルス看護概論、コミュニティヘルス看護展開論、看護研究入門Ⅰ、プレゼンテーション論、看護入門実習Ⅰ・Ⅱ

【５】　評価方法

評価：ピア評価10%、発表20%、課題レポート70%。
学生へのフィードバック：課題レポートについては、コメントにてフィードバックする。

【６】　教科書

なし。適宜資料配布。

【７】　参考書

講義の中で適宜紹介する。

【８】　オフィスアワー・連絡方法

随時（事前にメールで連絡のこと）

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	千葉県のくらしと健康①	・千葉県の地理・歴史などの文化的背景 ・千葉県の地理や産業、人口構造など、健康やくらし 授業方法：講義、グループワーク 予習：授業に関連する資料を読む 復習：グループで担当する地域の特徴についてまとめておく キーワード： グループづくり、千葉県の地理・歴史、千葉県の人口構造、地理、産業、健康やくらしにかかわる情報	佐瀬
2	千葉県のくらしと健康②	同上	佐瀬
3	千葉県の医療と福祉①	・高齢者の医療と福祉 授業方法：講義・グループワーク 予習：千葉県の高齢者の医療福祉に関する情報を集め読んでみる 復習：千葉県の高齢者の医療福祉について、自分が考えたことをまとめる キーワード：千葉県保健医療計画、地域包括ケアシステム	遠藤
4	千葉県の医療と福祉②	同上	遠藤
5	千葉県の医療と福祉③	・青少年の医療と福祉 ・乳幼児の医療と福祉 授業方法：講義・グループワーク 予習：千葉県の青少年、乳幼児の医療福祉に関する情報を集め読んでみる キーワード：地域医療、乳幼児、医療費、青少年の健康、学校保健	佐瀬
6	千葉県内の地域医療	・担当する地域における地域医療 授業方法：グループワーク 復習： 話し合ったことについて、効果的な発表のための方法を考える。 キーワード：地域医療、グループワーク	佐瀬
7	発表準備	・グループで話し合ってきたことを、5分でプレゼンテーションできるように、内容を考え、発表資料を作成する。 授業方法：グループワーク 予習：話し合ったことについて、どのように発表したら効果的か考える。 キーワード：プレゼンテーション方法	遠藤
8	発表	・千葉県内の地域医療の現状と看護の共有 授業方法：発表、討議 復習：各グループの発表をもとに、千葉県の地域医療・福祉について考察する。 キーワード：千葉県の地域医療	遠藤

科目名称	倫理ことはじめ	必選区分	授業区分	開講時期	単位数	時間数
英文名称	Introduction to Ethics	自由	講義	1年･春	1単位	15時間
科目責任者	林ひろみ					
科目担当者	林ひろみ・田中美穂・平田松吾					

【１】　授業概要

大学生として成すべき目的や集団生活及び学習上の守るべきルールを深く理解する。さらに、看護学を学ぶ学生として成すべき目的や対人関係を伴う学習（演習及び実習）上の守るべきルールを理解し、学習者としての自分の考えをまとめる。
（林ひろみ／３回）学問する人に必要な倫理や、求められる姿勢について
（田中（鈴木）美穂／２回）医療者を目指す人の倫理について
（平田松吾／３回）大学生活にまつわる道徳や対人関係の倫理について

【２】　学修目標（到達目標）

①大学生に求められる資質・能力について説明できる。
②大学で学ぶためのとりくみについて説明できる。
③本学の教育目標を説明できる。
④本学での学生生活のルールを説明できる。
⑤本学での授業・演習を受けるときのルールを説明できる。
⑥レポート作成・試験受験時に守らなければならないことを説明できる。
⑦倫理とは何かを自分なりにきちんと考え、その考えを言葉にできる。
⑧看護専門職としてとして守らなければならない倫理について、倫理原則を基に説明できる。
⑨看護学を学ぶ時の基本的姿勢について説明できる。
⑩なりたい看護師像と1年次の学習目標を説明できる。
（看護学科ＤＰ　４）

【３】　準備学習（予習・復習等）・学習上の留意点

[準備学習]
　健康学部看護学科の学生としてどのように学び、どのように行動するかという基本的な態度を理解することをねらっているため、授業内容を受け止め、自分の頭で考える姿勢で臨むこと。関連する内容について予習に1時間程度、復習としてこの時間に考えたことを記述していくことが必要である。
[学習上の留意点]
　倫理はたんに「知っている」だけではなく、実践することが大切である。看護学科の最初の授業として、主体的に学ぶために、受け身ではなく、考えたことを積極的に他者に伝えて意見を交わしながら体感し、身につけてほしい。

【４】　関連科目

本科目は、本学部学科の教育理念である「倫理観の涵養」に深くかかわる。また以降に学ぶ「倫理学」「哲学」などの教育科目や、すべての看護専門教育科目に関連している重要な科目である。

【５】　評価方法

学習状況（ミニッツペーパーの提出）20%，出席20%，レポート60%
課題レポートは返却する。返却時に講評を行う。ミニッツペーパーに記載された感想や質問に対して次の時間にフィードバックする。

【６】　教科書

・資料を授業の時に配布する
・学生ハンドブック・学生便覧

【７】　参考書

・前原澄子・遠藤俊子監修：看護学生のためのよくわかる大学での学び方，Kinpodo
・箕浦とき子・高橋恵著：看護職としての社会人基礎力の育て方，日本看護協会出版会
・永井均『倫理とは何か』（ちくま学芸文庫）、花沢健吾『アイアムアヒーロー』全22巻

【８】　オフィスアワー・連絡方法

・開講日（講義後に質問を受けつける）

【9】　授業計画

	項目	内容および授業方法 予習・復習・キーワード	担当教員
1	大学で学問するとは	１．大学で学ぶとは、生徒と学生の違い ２．大学生に求める資質・能力 ３．健康科学部が育成したい能力 ４．学生生活の道徳・倫理 ・学生生活におけるルール ５．授業・演習における徳・倫理 ・授業・演習（ゼミ）の受け方 ・プレゼンテーションの方法 ・ディスカッションの方法 ６．レポート作成・試験受験における徳・倫理 ・レポート作成時のルール ・試験受験時のルール 方法：講義 予習：健康科学部の教育目標および、学生ハンドブック・学生便覧に目を通しておく。 復習：主体的に学ぶということはどういうことか学んだことを整理し記述する。 キーワード：生徒と学生、大学生に求める資質・能力 健康科学部の教育目標、学生生活、授業・演習，プレゼンテーション、グループディスカッション、レポート作成、本試験、追試験、再試験、成績、GPA	林ひろみ
2	大学で学問するとは	グループワーク：自己紹介、本学を選んだ理由や大学で学びたいことについて発表し、大学で学ぶために取り組みたいことについてグループディスカッションを行う。グループでまとめたことを全体で発表する。 方法：グループワーク 予習：自己紹介、本学を選んだ理由や大学で学びたいことをあらかじめ考えておく。 復習：大学で学びたいこととそのための取り組みをシートに整理する。 キーワード：大学で学ぶこと。学ぶための取り組み。	林ひろみ
3	大学と倫理	倫理とは何かの導入 方法：講義	平田松吾
4	倫理と道徳（1）	倫理と道徳の違いを考える 方法：講義	平田松吾
5	倫理と道徳（2）	花沢健吾『アイアムアヒーロー』に見る倫理 方法：講義	平田松吾
6	医療人を目指す人の倫理 （１）職業にまつわる倫理	１．専門職業と倫理について ２．医療における倫理について ３．看護専門職に必要な能力について 方法：講義 予習：資料を読んでくる。 復習：ミニッツペーパーへの論述・提出 キーワード：倫理綱領、倫理の4原則、誠実、忠誠、知識、技術、態度、倫理的感受性	田中美穂
7	医療を目指す人の倫理 （２）看護大学生の倫理	１．医療の場における人間関係について ２．技術提供と倫理について ３．看護学を学ぶ上で必要となる倫理について 方法：講義 予習：本科目の2時限目を振り返っておくこと。 復習：ミニッツペーパーへの論述・提出 キーワード：援助的人間関係、身だしなみ、報告・連絡・相談、インシデント・アクシデント時の対応、看護技術の倫理、授業・実習の受け方	田中美穂
8	本学部で学ぶということ	１．ポートフォリオとその活用方法について説明 ２．なりたい看護師像を基に1年次の学習目標を設定する。 方法：講義・演習 予習：これまでの授業内容を振り返りながらなりたい看護師像と1年次の学習目標について考えておく。 復習：なりたい看護師像と1年次の学習目標、学習計画を作成する。 キーワード：ポートフォリオ，なりたい看護師像，学習目標	林ひろみ